

SEA-DOO®



2009

オペレーターズガイド

セーフティビークルおよびメ
ンテナンス情報を含みます

RXT™ iS™ 255
GTX† Limited iS™ 255

 警告

このガイドをよく読んでください。安全に関する重要な情報が載せられています。

運転者の推奨最低年齢：16歳。

船体からこの「オペレーターガイド」を持ち出さないでください。

2 1 9 7 0 1 4 5 1

警告

この『オペレーターズガイド』、『安全性DVD(SAFETY DVD)』および製品に添付されている安全性ラベルに記載されている安全のための注意や指示を無視すると、死亡の可能性を含む負傷の原因となる場合があります！

警告

このウォータークラフトは、過去に乗ったことがある他のボートの性能を超えています。新しいウォータークラフトに慣れるまで、十分に時間をかけてください。

カリフォルニア州「PROPOSITION 65」に基づく警告

警告

本製品は、ガンや先天性欠損症または他の生殖における危害を引き起こすことがカリフォルニア州に知られている化学製品を含んでいるか、発します。

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP)です。

米国の製品代理店は、BRP US Inc.です。

Knight's Spray-Nine⁺ は、Korkay System Ltdの商標です。

GTX⁺ は、Castrol Ltdの商標です。許諾のもとに使用されています。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社に帰属します：

4-TECTM

O.T.A.S.TM

T.O.P.S.TM

D.E.S.S.TM

Rotax[®]

VTTM

iBRTM

RXT[®]

XPTM

iControlTM

Sea-Doo[®]

iSTM

Sea-Doo LKTM

iTCTM

S³HullTM

前書き

新しいSea-Doo®パーソナル・ウォータークラフト(PWC)のご購入、おめでとうございます。本製品はBRPの保証および、お客様が必要とされる部品、サービスやアクセサリーを準備しているSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの認定ディーラーのネットワークによって支えられています。

ディーラーはお客様の満足を保証いたします。ディーラーは初期セットアップやウォータークラフトの点検を実施するためのトレーニングを受けており、お客様が本製品を所有される前の最終的な調整を完了してまいります。より詳細なサービス情報が必要な場合は、ディーラーまでお問い合わせください。

納入時に、お客様には保証範囲をお知らせし、新しいウォータークラフトがご満足いただけるものであることを保証するために**納入前チェックリスト(PREDELIVERY CHECK LIST)**にご署名を頂いております。

乗船前に確認すべきこと

お客様または他の乗員が負傷や死亡する危険を避ける方法を学ぶために、ウォータークラフトを操作する前に以下のセクションをよくお読みください。

- 安全に関する情報
- ボートについての情報。

ウォータークラフトに記載されている全てのラベルもよく読んで、理解し、**安全性DVD**をしっかりと見てください。

お客様が安全な航路をとるよう強く推奨いたします。お客様の地域のディーラーまたは地元の協会等にご確認ください。

場合によって、プレジャーボートの操縦にはオペレーター能力カードが必須です。

安全メッセージ

この『オペレーターズガイド』では、特定の情報を強調するために次のような警告記号と文章を用います。



警告

指示に従わなかった場合、**重傷事故や死亡事故**を招く潜在的な恐れがあることを示します。

注意 指示に従わなかった場合、**中度または軽度の負傷**を招く潜在的な恐れがあることを示します。

必ずお読みください 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの**構成部品**やその他に**重大な損傷**を招く恐れがあることを示します。

この『オペレーターズガイド』について

『オペレーターズガイド』は、このパーソナル・ウォータークラフトとそのさまざまな操作、メンテナンス、そして安全な乗船のための注意事項について、オーナー/オペレーターあるいは同乗者の方によく知っていただくために作成されています。

本ガイドは製品を正しく使用するために必要不可欠なものです。防水性の袋に入れて、常にウォータークラフトに搭載してください。

また本ガイドは各種言語に翻訳されており、内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

『オペレーターズガイド』の追加コピーの参照または印刷を希望される場合は、次のウェブサイト www.operatorsguide.brp.com にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および/または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、

設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

ウォータークラフトを売却する場合も、この『オペレーターズガイド』および安全性DVDは必ずウォータークラフトに搭載しておいてください。

目次

前書き	1
乗船前に確認すべきこと	1
安全メッセージ	1
この『オペレーターズガイド』について	1

安全に関する情報

一般的な注意	8
ー酸化炭素中毒の回避	8
ガソリンによる火事や他の危険の回避	8
高温部分による火傷の回避	8
アクセサリーと改変	8
特別な安全メッセージ	10
安全な運転に関して覚えておくこと	10
ウォータースポーツ	16
低体温	17
安全な航路	18
アクティブテクノロジー(iCONTROL)	19
はじめに	19
iTC(インテリジェントスロットルコントロール)	19
iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)	20
iS(インテリジェントサスペンション)	20
安全器材	21
必要な安全器材	21
追加で推奨される装置	23
航行規則	25
運航規則	25
燃料	27
給油の手順	27
推奨燃料	28
トレーラーによる運搬情報	29
重要なラベルの位置	30
乗船前の点検	34
ウォータークラフトを水に浮べる前に実施すべきこと	34
ウォータークラフトを水に浮べた後に実施すべきこと	38

ボートについての情報

コントロール	40
1) ハンドルバー	40
2) スロットルレバー	41
3) iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)レバー	42
4) D.E.S.S.ポスト	42
5) エンジンのスタート/ストップボタン	46

コントロール Japanese	
6) VTSボタン(可変トリムシステム).....	46
7) iS(インテリジェントサスペンション)ボタン.....	49
8) [モード]ボタンおよび[セット]ボタン.....	50
9) [上]および[下]矢印ボタン.....	51
10) クルーズボタン.....	51
インフォメーションセンター.....	54
1) スピードメーター.....	56
2) タコメーター.....	56
3) デジタル画面.....	56
4) インジケータランプ.....	56
5) 燃料レベル.....	57
6) VTSポジション.....	58
7) iSポジション.....	58
8) 数値表示.....	58
9) 多機能表示.....	59
10) 深度計インジケータ.....	60
11) 水温計表示.....	60
12) 時間メーター表示(HR).....	61
13) iBRポジション.....	61
14) コンパス.....	61
装備.....	63
1) グローブボックス.....	64
2) フロントストレージビン.....	64
3) リアストレージビン.....	66
4) 消火器ホルダー.....	67
5) シートラッチ.....	67
6) シートグラブハンドル.....	67
7) ボーディングステップ.....	67
8) ボーディングプラットフォーム.....	68
9) スピードタイ.....	69
10) フロントおよびリアのアイレット.....	71
11) 係船クリート.....	71
12) ビルジドレンプラグ.....	72
操作の説明.....	73
ウォータークラフトへの乗船.....	73
エンジンの始動方法.....	76
エンジンの停止方法.....	77
ウォータークラフトの操船方法.....	78
ニュートラルにする方法.....	79
前進にする方法.....	79
リバースの使用法.....	79
ブレーキの使用法.....	80
可変トリムシステム(VTS)の使用法.....	81
クルーズモードの使用法.....	82
低速モードの使用法.....	83
iS(インテリジェントサスペンション)の操作.....	83

操作の説明 Japanese	
一般的な推奨	86
特殊な手順	88
ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃	88
ウォータークラフトが転覆したとき	89
ウォータークラフトが水没したとき	89
エンジン内に水を吸い込んだとき	90
水上でのウォータークラフトの曳航	90

メンテナンス情報

メンテナンスのスケジュール	92
10時間点検	97
メンテナンスの手順	98
エンジンオイル	98
エンジン冷却液	100
エキゾーストシステム	101
ライドプレートとウォーターインテークプレート	102
ジェットポンプ、ノズルおよびiBRゲート	103
ボディと船体	105
ヒューズ	105
使用後のお手入れ	107
エキゾーストシステムの洗浄	107
泥水や塩水で使用了した場合の追加の手入れ	107
保管、シーズン前の準備	108
保管	108
シーズン前の準備	111

技術情報

ボートの識別	114
船体識別番号	114
エンジン識別番号	114
EPA適合ラベル	114
エンジンの排出ガスに関する情報	116
製造者の義務	116
ディーラーの義務	116
オーナーの義務	116
EPA排出ガス規制	116
仕様	117

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン	120
--------------------	------------

モニタリングシステム	124
故障コード.....	124
インジケータランプおよびメッセージ表示の情報.....	125
ブザーのコード情報.....	126

保証

BRP 限定保証 - 米国およびカナダ: 2009 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト	128
4-TEC® エンジン搭載の 2009 年モデル SEA-DOO® パーソナル・ウォータークラフトに対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定	132
BRP 国際限定保証: 2009 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト ...	136
欧州経済地域向け BRP 限定保証: 2009 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト.....	140

顧客情報

プライバシー保護に関する情報/放棄	146
住所と所有権の変更	147

安全に関する情報

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無臭、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなりますが、閉じ込められた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間ある一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ポートハウス、堤防または他のポートの付近のように換気が悪いが、部分的に閉じた地域では、決してウォータークラフトを運転しないでください。エンジン排気を通気量が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれ屋外でウォータークラフトを運転しないでください。
- エンジンが稼働している時は、決してウォータークラフトの後ろにいないでください。稼働しているエンジンの後に人が立つと、高濃度の排気ガスを吸い込む恐れがあります。一酸化炭素を含む排気ガスを高濃度で吸入すると、CO中毒、深刻な健康障害や死亡に至ることがあります。

ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉

や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- 給油セクションの指示は厳密に守ってください。
- エンジンコンパートメントにガソリンの液やガソリンの蒸気がある場合は、決してウォータークラフトを始動しないでください。
- 決して、燃料キャップが外れたまままで、エンジンを始動、運転しないでください。
- ウォータークラフトのフロントの貯蔵コンパートメントや他のどの場所であっても、ガソリン容器を運び込まないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医者にかかってください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹸と水で完全に洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の回避

ライドプレート、エキゾーストシステムやエンジンは運転中に高温になります。火傷を避けるために、運転中や運転直後は接触しないでください。

アクセサリーと改変

承認を受けていない改変や、BRPが認定していないアクセサリーの使用は止めてください。これらの改変はBRPによる試験を受けていないので、事故や負傷の危険性を高め、ウォータークラフトの水上での使用が不正となる場合があります。

ウォータークラフトで使用できるアクセサリーについては、認定Sea-Dooディーラーにご相談ください。


警告

ブレーキシステムを使わないで障害物を回避しようとするときは、スロットルを離さないでください。エンジンのパワーやジェットポンプの推進力がウォータークラフトの操船に必要です。

- iBRシステムのブレーキ機能によって、PWCが流れや風により漂うのを防ぐことはできません。後方への速度には制動効果はありません。また、ブレーキを使用するにはエンジンが稼動していなければならないことにも注意してください。
- ボートの乗員が適切に着席していない場合や人が近くの水にいる場合は、ウォータークラフトを始動または運転しないでください。
- ウォータークラフトのジェットラストで負傷する恐れがあります。ジェットポンプが漂積物を巻き上げて後方へ飛ばし、人が負傷したり、ジェットポンプや他の部分に損傷を与える場合があります。
- 全ての安全ラベルの指示に注意してください。それらの指示は、安全で楽しい運行のために記載されています。
- 特に保管用に設計されていない工リアには、何も保管しないでください。
- 同乗者を乗せたり、チューブ、水の上スキー、ウエイクボードを曳航するとPWCのハンドリングは変化する、より高い技量が求められます。
- 一部のPWCには水上スキー、チューブまたはウエイクボード用の引き綱を付けるのに使用できる曳航用アイレットあるいはスキーポールが装備されています。パラセイルや他の船舶を牽引するため、これらの固定ポイントやウォータークラフトの他のどの部分も使わないでください。人の負傷や重大な損傷に至る恐れがあります。
- 内燃エンジンの運転には空気が必要ですが、このPWCは完全防水にすることはできません。連続した急旋回、波を通して船首を激しく上下させたり、ウォータークラフトを転覆させると、吸気口の開口が水没し、水の吸入による重大なエンジントラブルの原因になることがあります。この原因は『オペレーターズガイド』に記載されている、「使用上の諸注意/セクションのウォータークラフトの操船方法」や「保証」セクションを参照してください。
- エンジン排気には一酸化炭素(CO)が含まれ、大量に吸入すると深刻な健康障害または死亡に至る場合があります。狭い場所でPWCを運転したり、係留中やラフティング中などは一酸化炭素場(CO)がPWCの周囲や閉じた場所などに溜まらないようにしてください。他のPWCの排気による一酸化炭素(CO)の危険性に注意してください。
- さらに、水域自体に関する知識も必要です。海流、潮汐、早瀬、航跡や波などが、安全な航行に影響します。波が荒い場合や悪天候でのウォータークラフトの使用は推奨できません。
- 水深の浅い場所では十分に注意を払って走行し、低速で急激な停止は避け、座礁や急激な停止は事故の原因となります。ウォータークラフトの損傷や、水底の砂や石を巻き上げ、後方へ飛ばされ、人や物に当たる恐れがあります。

- セーフティランヤードは常にオペレーターのPFDにつないでおくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレーターが転落した場合にエンジンを自動的に停止することができません。ライディングを始める前は、子供や他の人がエンジンを動かさず、ポストからD.E.S.S.™キーを外してください。セーフティランヤードを推奨通りにつなげていないと、オペレーターが転落してもウォータークラフトのエンジンが停止しません。
- 自身の限界と技量の範囲内での操船を心がけてください。

警告

制御不能、落水、衝突などのリスクを減らすため、急激な操作は避けてください。ウォータークラフトの性能を十分に理解し、無理をしないようにしてください。

- 常に責任と安全に留意して操船してください。常識と節度を心がけてください。
- 低速航行水域、環境およびその水域を利用する他の人々の権利に十分な注意を払ってください。PWCの「オペレーター」およびオーナーとして、PWCの航跡による他のウォータークラフトへの損害に責任を持たなければなりません。誰にも海中にゴミを投げ捨てないでください。
- ウォータークラフトは十分な高速性能を有していますが、高速走行は理想的な条件が整い、なおかつ高速走行が許されるような場合だけに速度が大きくなるほど高い技量が求められ、重大な事故が発生する可能性も高くなります。

- 旋回、波や航跡の通過、荒れた水面上での走行、ウォータークラフトからの転落などによってライダーの体にかかる力は、特に高速の場合、骨折あるいはそれ以上の重傷を招く恐れがあります。常に余裕のある走行を心がけ、急旋回は避けるようにしてください。
- また、PWCは夜間使用するには設計されていません。
- PWCにはインテリジェントサスペンションが装備されています。システムは垂直方向の力の一部を吸収し、身体への影響を低下させますが、完全に除くことはできません。あなたや同乗者が飛び降り出されないように、速度を落としてください。
- 波や航跡でジャンプしないでください。

警告

非常に波が荒い場合の乗船や、波や航跡でジャンプするなどの極端な操船は避けてください。

航行前に

- 安全上の理由と適切な整備のために、ウォータークラフトを使用する前に、必ず『オペレーターズガイド』に定める始業点検を行ってください。
- 定員プレートや仕様に記載されている、ウォータークラフトの積載量や定員を超過しないでください。過積載は操縦性、安定性、性能に悪影響を及ぼす可能性があります。なお、荒海の場合は積載能力が低下します。積載量や定員プレートは、常識や良好な判断の行使を怠る弁解にはなりません。
- PWC、船体、エンジン、安全器材や他の全てのボート用具を定期的に点検し、安全な作動状態に保ってください。
- 最低限必要な安全器材、PF Dや船旅に必要な全ての追加用具が揃っていることを確認してください。

- 消火器を含む全ての救命器材が安全な動作状態にあり、簡単に利用できることを確認してください。全員の乗員がPWCに保管されている安全器材の場所を示し、全員が使用方法を知っていることを確認してください。
- 天候に注意してください。出航前に地元の天気予報を確認してください。状況の変化に気を配ってください。
- 乗船中は航行域の正確で最新の水路図を保ってください。航行前に、予定している航行域の天候状況を確認してください。
- 予定している旅程に十分な燃料を保ってください。出航前や航行中は、常に燃料レベルを確認してください。燃料の1/3は目的地のため、1/3は帰還のため、残りの1/3は予備という原則を守ってください。逆の天気または他の遅れによる変化を考慮に入れてください。

オペレーターおよび同乗者が注意すべきこと

- PWCを操作する前に、Sea-Doo PWCの全ての安全ラベル、『オペレーターズガイド』、全ての他の安全関連資料をよく読んで理解し、安全性DVDを見てください。
- 適用される法律を遵守してください。

警告

ウォータークラフトを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法令を確認してください。地元の航行規則を学んでください。また、その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

- 太陽、風、疲労あるいは病気は判断力や反応時間を損なう場合があります。これを覚えておいてください。
- 決して飲酒操船はしないでください。

警告

アルコールや薬物の影響がある場合は、決して乗船しないでください。反応時間が低下し、判断を鈍らせます。

- 16才未満の人、あるいは視力、反応時間、判断力または制御操作に障害がある人による、このPWCの操作は推奨されません。
- ウォータークラフトを運行するときは、常にセーフティランヤードを使用し、全ての同乗者がその使用方法に精通していることを確認してください。
- オペレーターおよび同乗者が泳げること、水中からPWCに戻る方法を知っていることを確認してください。水深の深いところでウォータークラフトに乗るには、かなりの努力を要します。ウォータークラフトを使用したり、水深の深い場所に乗り入れたりする場合は、事前に胸の高さ程度の水深の場所で水中からウォータークラフトに戻る練習をしてください。同乗者が泳ぎ方を知らない場合は、同乗者が常にPFDを着用していることを確認し、十分な予防措置をとってください。
- 誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドバーを回さないでください。ステアリング用可動部品（ノズル、iBRゲート、リンケージ等）には人を近づけないでください。
- ウォータークラフトの後部付近に人がいるときは、決してエンジンを始動させないでください。

警告

付近の水中に人がいる場合は、決してウォータークラフトを始動、操作しないでください。

- エンジンの始動、停止の際やiBRレバーを使用するときは、iBRゲートの動きに気をつけてください。ゲートの自動的な動きによって、後部につかまっている人やPWCに乗っている人の指やつま先を挟み込むことがあります。
- ウォータークラフトの始動時や走行時はオペレーターも同乗者もシートに正しく座り、走行中はつねにその状態を保ってください。同乗者には、備え付けのグリップやシートストラップ、あるいは前の人やシートの腰につかまるようにさせてください。きちんと着席すれば、各々の同乗者は各自の両足を足下の平らな空間にしっかりと置けるはずです。
- ブレーキをかける場合、乗員は減速力に対して注意を払い、ウォータークラフト上で前に移動したり、バランスを失うのを防がなければなりません。
- 特に同乗者を乗せた状態でPWCを加速する場合は、発進時か走行中かに関わらず、徐々に加速するようにしてください。急加速を行うと同乗者がバランスを崩したり、ウォータークラフトの後方に落水する恐れがあります。急加速時には同乗者にその旨を知らせるか、同乗者が急加速を予測できるようにしてください。
- インテークグレートに近づかないでください。

警告

エンジンがかかっているときは、インテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣（PFD）のストラップなどが可動部分に絡むことがあります。

- ブレーキをかけている間にスロットルレバーを押し下げると、iBRシステムがユーザ-によるスロットルの指令を無効にします。スロットルレバーを押し下げたままiBRレバーを放すと、スロットルの指令が再び制御を取り戻し、短い遅延の後に加速が生じます。加速が不要なら、スロットルレバーを放してください。
- 落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。
- 再搭乗する場合は、エンジンがオフであり、D.E.S.S.キーを取り外してあることを確認してください。

警告

人がウォータークラフトに乗ろうとしている場合や近くにいる場合、あるいはインテークグレートから海草や異物を取り外す場合は、誤ってエンジンを始動してしまうことのないよう、必ずポストからD.E.S.S.キーを外してください。

- PWC使用時は、旋回半径を小さくするために足を水中に入れないでください。

未成年者による操縦

未成年者によるウォータークラフトの操縦は、常に成人が監視してください。最低年齢に関する法律や未成年者の免許に関する要件は、法域によって異なります。使用を考えている法域におけるPWCの合法的な操船に関する情報は、必ず地域の船舶運航に関する当局に問い合わせてください。

さい。BRPは、ウォータークラフトの操作は16才以上に限ることを推奨いたします。

アクセサリーの取り付けやウォータークラフトによる曳航

- ウォータークラフトの操縦性に影響するようないくつかのアクセサリーや装置を取り付けしないでください。
- 一部のPWCには水上スキー、チューブまたはウェイクボード、用いる引き綱を付けるのに使用できる曳航用アイレットがある場合は、スキーポールが装備されているか、装備可能です。パラセイルや他の船舶定速機を牽引するために、これらの固定部も使用しないでください。制御や安定性に影響を及ぼし、人が怪我を負ったり、重大な損傷の原因になることがあります。
- 同乗者を乗せたり、チューブ、水上スキー、ウェイクボードを曳航したりするとウォータークラフトのハンドリングが変化し、より高い操縦技量が求められます。
- 走行時は、同乗者、およびスキーやウェイクボードの利用者の安全と快適性を常に考慮してください。
- チューブ、水上スキー、ウェイクボードなどを曳航する場合は必ず監視役を乗せ、必要な速度を監視できないようにするとともに、監視役の指示に従って走行してください。
- 止むを得ない場合を除き、急な旋回やブレーキシステムの使用は避け、操縦性や停止機能が、高い操縦性や停止機能があります。牽引されている人が障害物や牽引しているPWCを避けられないことがあることを覚えておいてください。
- 例えIBRシステムが装備されていても、泳いでいる人、他のボートや固定された物体などに向かっていく場合には必ず見張り役を使ってください。早めに速度を低下させ、停止距離が足りない場合には方向を変えて障害物を回避してください。

- 曳航口は十分な長さで太さの適切な方法でしっかりとウォータークラフトに接続されていることを確認してください。特別製の曳航装置を取り付けることができる場合もありますが、PWCに曳航用ポールを取り付けることは避けてください。その上に人が倒れたりすると怪我をする恐れがあります。
- 急旋回中やサークルリング中に曳航口が弛むと、重大な負傷の原因になるおそれがあります。落水事故が巻きついて、重傷を伴う事故を招く恐れがあります。

薬物やアルコール

アルコールや薬物の影響がある場合は、決してPWCを操作しないでください。自動車の運転と同様に、ウォータークラフトの操縦には冷静で、注意深く、機敏であることが必要です。酔っている場合や、薬物の影響を受けている場合にウォータークラフトを操縦することは危険であるだけでなく、重大な罰則を伴う連邦法の違反にもなります。これらの法律は、厳しく適用されます。薬物やアルコールの使用は、単独であれ組み合わせられ、反応時間を低下させ、判断力を鈍らせ、視覚を損ねて、安全にウォータークラフトを操縦する能力を阻害します。

警告

アルコールとボートは別にお楽しみください！影響を受けて操縦することは、同乗者、他の船の乗員およびあなた自身の命を危険にさらします。連邦法は、アルコールまたは薬物の影響を受けてウォータークラフトを操縦することを禁止しています。

ウォータースポーツ

警告

怪我を避けてください！PWCはパラセイル、カイト、グライダーまたは離陸するような物体を牽引するように設計されていませんし、そのような用途で使用すべきではありません。ウォータークラフトは、設計の対象であるウォータースポーツのみ使用してください。

水上スキー、ウェイクボード、または膨らませて使う装置を牽引して乗ることなどが、ポピュラーなウォータースポーツの一例です。どんなウォータースポーツに参加する場合でも、参加者やウォータークラフトのオペレーターはより安全を認識する必要があります。今までにPWCの後に誰かを牽引した経験が無い場合は、観察者として数時間を過ごすのが良いアイデアであり、経験豊かなオペレーターから学びましょう。また、牽引される人のスキルや経験を意識することも重要です。

船上の別の人が牽引されている人を監視し、仲間の手信号を運転者に知らせるようにしてください。オペレーターは常にウォータークラフトの操縦と前方の水域に集中しなければなりません。

ウォータースポーツを楽しむ場合は、オペレーターと観察者は引き綱の位置を注視しなければなりません。緩んだ引き綱は、PWC上や水中で人や物体に絡むことがあり、急転したり、旋回する際に深刻な負傷を引き起こすことがあります。

ウォータースポーツに参加する人は、以下のガイドラインを守らなければなりません：

- チューブ、水上スキー、ウェイクボードを曳航する場合、積極的に活発なブレーキ操作で突然停止しようとするとは、牽引されている人が牽引しているPWCを避けられない可能性がある場合があります。これを使用するには、ブレーキの使用を必要とする最低限にとどめたり、観察者の指示に従ってください。
- 上手に泳げる人だけが、ウォータースポーツに参加できます。
- 常に、認定された救命胴衣（PFD）を着用してください。適切にデザインされたPFDを着用していれば、気絶したり意識を失っても水上に浮かんでいられます。
- 水域を共有する他の人達に十分配慮してください。
- どんなウォータースポーツであれ、人が高濃度の排気ガスを吸入してしまうような短い引き綱で人を牽引しないでください。一酸化炭素を含む排気ガスを高濃度で吸入すると、CO中毒、傷害や死亡に至ることがあります。
- 人が落下した場合には、直ちに注意してください。彼または彼女は単独で水中にいると弱りやすく、他のボートとも会わないかもしれません。
- 水中にいる人には、風下の側（風の方向の反対側に）から接近してください。人に接近する前に、モーターを切ってください。
- ウォータースポーツは安全な水域でのみお楽しみください。他のボート、航路、浜辺、制限区域、スイマーや航行量が多い水路や水中の障害物から離れてください。
- 泳ぐ場合は、事前にエンジンを停止し、ウォータークラフトを錨で固定してください。
- 泳いでも安全であると示されている水域でのみ泳いでください。通常は、遊泳域を示すブイでマークされています。一人で、あるいは夜間は、泳がないでください。

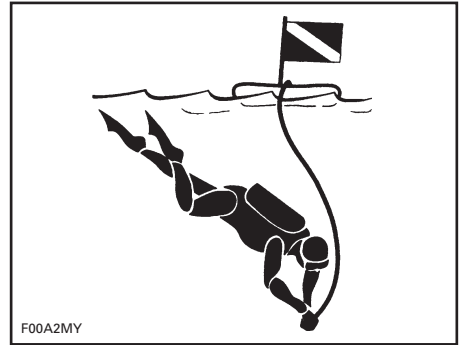


遊泳域を示すブイ

- 日没から日の出の間は水上スキーをしないでください。大部分の地域で違法です。
- 水上スキーヤー、チューブやウエイクボードに乗っている人のすぐ後でウォータークラフトを運転しないでください。40 km/h (25 MPH) の速度の場合、ウォータークラフトの前方60 m (197 ft) の場所で水に落ちた人を約5秒で追いついてしまいます。
- 近くの水中に人がいる場合は、エンジンを切って、D.E.S.S.™ キーをポスト(ランヤード)から取り外します。
- 潜水中のダイバーのフロートによって指定される水域からは、少なくとも45 m (148 ft) は離れてください。

警告

怪我を避けてください！ エンジンがオフであっても、ジェットポンプやインターグレートの近くには人が近寄らないようにしてください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大な怪我を負ったり、溺れたりするおそれがあります。浅瀬では、貝、砂、小石または他の物がジェットポンプに吸い込まれ、後方に吹き飛ばされる場合があります。



潜水中のダイバーのフロート

認定された合法で安全なウォータースポーツに関する詳細情報については、ウォータースポーツの実行を考えている地域の法的権限を持つ当局に問い合わせてください。

低体温

低体温、正常以下の体温にいたる体熱の損失は、ボートの事故における死亡の重要な原因です。人は低体温になると、意識を失い、溺れます。

PFDFは、その断熱効果により、生存可能時間を長くできます。

当然、水がより暖かければ、断熱はあまり必要ではありません。冷たい水中(4°C (40°F)以下)で動作する場合、ベストスタイルのPFDFより体を広くカバーするので、コートまたはジャケットスタイルのPFDFの着用を考慮してください。

低体温に対する保護について覚えておくべきポイント：

- 水中に浮いている間、近くのボート、仲間の生存者あるいは乗り出すか、登ることができる浮遊物に達するまでは、泳ごうとしないでください。不要に泳ぐと、体熱損失率を上昇させます。冷たい水中で、頭を水に入れることを必要とする水難救助法は推奨されません。頭は、常に水上に出しておいてください。これは、大いに体熱損失を少なくし、生存可能時間を長くします。

- 生存と救出について積極的な態度を保ってください。こうすることで、救出までの生存時間を長くさせる可能性を向上させます。あなたの生きる意志が違いを生じさせます！
- 水中に複数の方がいる場合は、一緒にいることが推奨されます。この行動は、熱損失の率を減らして、結果として生存時間を長くさせる傾向があります。
- 常にPFDを着用してください。水中にいるときに着用していないと、低体温症の影響を退けるのを助けてくれません。

安全な航路

多くの国が、安全なコースで航海することを推奨、要求しています。地元の所管官庁に相談してください。

ウォータークラフトを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法令を確認してください。地元の航行規則を学んでください。その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

アクティブテクノロジー(iCONTROL)

はじめに

iControl™(インテリジェント制御システム)は、ハンドルバーから手を放さなくてもオペレータが多くのレストランを制御できる環境を提供します。

オペレーターは指で全てを制御でき、ボタンを押すか、レバーを引くことによって起動します。このため、オペレータは水面に集中して操船を続けられます。

各々の制御は電子式であり、設定されたパラメータの範囲内でそのシステムの適切な動作を保証する機能を備えた電子モジュールに命令信号を提供します。

iControlの様々なシステムは次のようにグループ化されます。

- iTCTM(インテリジェントスロットルコントロール)
- iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)
- iSTM(インテリジェントサスペンション)
- O.T.A.S.(オフスロットルアシステッドステアリング)。

これらのシステムは協調して機能し、クルーズコントロール、低速モード、ブレーキ、オペレータの入力への応答の改良、操作性と制御の向上などの新しい機能を提供します。

オペレーターは、この『オペレーターズガイド』に記載されている全ての情報を読み、このウォータークラフト、そのシステム、制御、能力と制限を理解することが極めて重要です。

iTC(インテリジェントスロットルコントロール)

このシステムは、ECM(エンジンコントロールモジュール)への指令信号を提供する電子的スロットルコントロール(ETC)を使用しています。このシステムでは、従来型のスロットルケーブルは不要です。

iTCにより、クルーズコントロール、低速モードやO.T.A.S.™を含め、エンジンのパワーのより正確なコントロールなどの新しい機能が可能になります。

クルーズコントロール

クルーズコントロールを使用すると、オペレータは3800 RPM以上で動作している場合に希望する最高速度を設定できます。

クルーズコントロールは、ウォータークラフトの速度を制限しますが、一定の速度を維持するわけではありません。アクセルペダルを放しても一定の速度を維持する自動車のクルーズコントロールとは違って、オペレータは前進速度を維持するためにスロットルレバーを押し続けなければなりません。

一定の航行速度設定で前進し続けるので、スロットルレバーは一杯に押したままで、状況に関する注意力をよい状態で保ち続けます。

低速モード

低速モードとは、1.6 km/h - 8 km/h (1 MPH - 5 MPH)のウォータークラフト速度に対応するアイドル速度を調整、設定できるクルーズコントロール機能です。低速モードで動作している間は、スロットルレバーは押しはなりません。

O.T.A.S.™システム(オフスロットルアシステッドステアリング)

O.T.A.S.(オフスロットルアシステッドステアリング)システムは、オフスロットル状態での追加の操作性を提供します。O.T.A.S.システムは電子的に起動され、操船者が完全な回転を始めると、事前にプログラムされたRPMの下でわずかにエンジン速度を上げます。ハンドルバーがセンターポジションに戻ると、スロットルもアイドルリングに戻ります。

制限

O.T.A.S.システムは、いかなる状況においても制御の維持や衝突の回避を支援することはできません。

ラーニングキー

Sea-Doo™ラーニングキーはプログラム可能であり、ウォータークラフトの速度を制限して、初めて操縦する人や経験の浅いオペレーターが、不安を感じたりコントロールを失ったりせず、ウォータークラフトの操縦方法を学べるようにします。

制限

例えラーニングキーを使用しても、ウォータークラフトの操作が初心者有能力以上のものを必要とする場合があります。

iBR (インテリジェントブレーキおよびリバース)

このウォータークラフトでは、iBRシステム(インテリジェントブレーキおよびリバース)と呼ばれる電子的制御のブレーキおよびリバースのシステムを使用しています。

iBRモジュールは、iBRゲートのポジションを制御して、前進スラスト(推進力)、後退スラスト、ブレーキスラストおよびニュートラルを提供します。

オペレーターは、前進スラストの場合にはスロットルレバーを、ニュートラル、後退およびブレーキの場合にはiBRレバーを使用して、iBRゲートのポジションを制御します。

注: iBRレバーを使用してゲートのポジションを変更する指令が出せるのは、エンジンが稼動している間だけです。

直進、回転、高速または低速、あるいはドック入りの際のウォータークラフトの後退や非常に狭い場所での操船など、どんな場合でも使用できるので、iBRシステムの使用によってウォータークラフトの停止距離を短縮し、操作性を大きく向上できます。

理想的な条件下で、経験豊富なオペレーターであれば、iBRシステムを装備したウォータークラフトの初速80 km/h (50 MPH)からの停止距離を一定して約33%短縮できます。

制限

iBRシステムを装備していても、ウォータークラフトには陸上の乗り物のような能力はありません。

初速、荷重、風、水流、水面の状況やブレーキの量などにより、停止距離は大きく変化します。

iBRシステムは後方への動きには全く効果がありません。

ウォータークラフトが水流や風によって漂うのを防ぐことはできません。

iS (インテリジェントサスペンション)

このウォータークラフトのサスペンションシステムは、乗員が可動デッキとして座っているように設計されています。サスペンションシステムが有効であれば、可動デッキは通常は"アップ"ポジションにあります。これは、水面の航行中のウォータークラフトの上下動を吸収するのに十分な高さまで可動デッキが固定デッキから持ち上げられていることを意味します。

iSシステムは、ドックモード(DOCK MODE)と呼ばれる機能を組み込んでいます。手動または自動で起動されると、ウォータークラフトの重心を下げるために、ドックモードはサスペンションを下げます。転覆の可能性を少なくするので、ウォータークラフトの輸送、低速モードでの動作あるいはO.T.A.S.の起動時には、この機能は便利です。

制限

このシステムは乗船中の乗員に伝わる垂直方向の力の一部を吸収しますが、完全に除くことはできません。突然の衝撃で、サスペンションが床まで下がる場合もあります。

安全器材

必要な安全器材

オペレーターと同乗者には、PWCでの使用に適した認定の救命胴衣(PFD)の着用が義務付けられています。

オペレーターと乗員は、乗船状況や個人の好みに合わせて、シャッターブループのメガネを使用できるようにしておく必要があります。

風や水の飛沫、高速走行などによって水が目に入り、視界がぼやけてしまうことがあります。

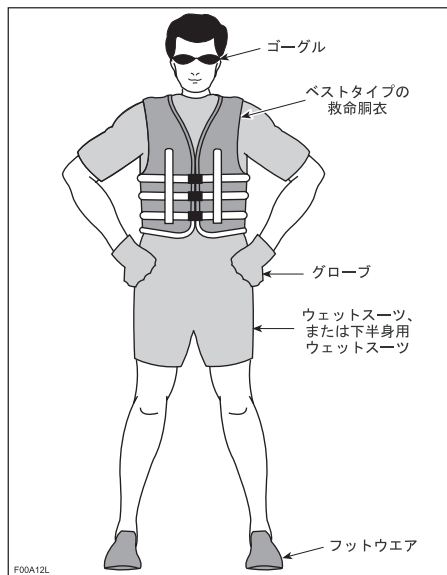
ウォータークラフトの所有者として、あなたには全ての必要な安全装備を、あなたに備える責任があります。さらに、あなた自身や同乗者の安全のためにも必要と思われる追加装備の用意も検討するべきです。必要な安全装備に関する国や地域の規制を確認してください。

規制によって要求される安全装備は必須です。地域の規制が追加の装備を要求する場合、それは所管官庁によって認定されたものでなければなりません。最低限度に必要な装備としては以下があります。

- 救命胴衣(PFD)
- 最低15m (50ft)の浮揚性のヒービングライン
- 防水懐中電灯または認定発炎筒
- 信号装置
- 音響発生装置(エアホーンまたはホイッスル)。

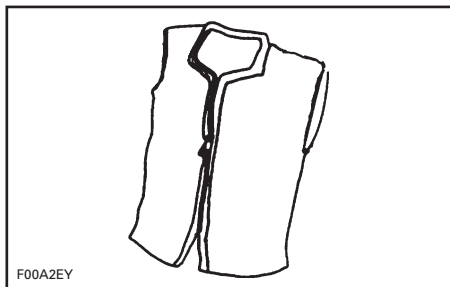
PWCのオペレーターと同乗者は、以下のような身体を保護できる衣服を必ず着用してください。

- ウェットスーツの下半身部分、あるいは織り目が細かく体に合っただるもの。同等の保護効果が期待できるもの。例えば、薄手の自転車用ショーツは適切ではありません。落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与えてくれる恐れがあります。通常の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。
- 靴、グローブ、安全ゴーグルまたはメガネの着用を推奨いたします。足にも軽量かつ柔軟な保護具を着用するようにしてください。これは、水中の鋭い岩などによる怪我の防止に役立ちます。



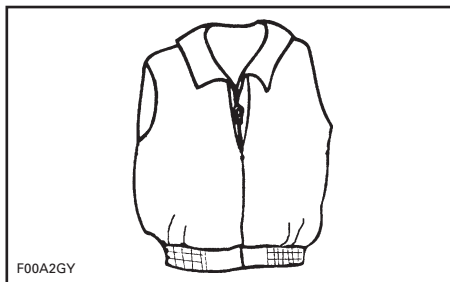
救命胴衣(PFD)

多くの国の規則は、レクリエーション用のウォータークラフトの各乗員が少なくとも1つの認定済み救命胴衣(PFD)を持っていることを要求し、ウォータークラフトが運行している



タイプ III—着用型

PFDタイプⅤ、着用型、着用しなければなりません。膨らますと、タイプⅠ、ⅡまたはⅢのPFDに相当する浮力を提供します。しかし、しぼんでいる場合は、人々をサポートできません。



タイプⅤ—着用型

ヘルメット

重要な注意点

ヘルメットは、頭部への衝撃を緩和できるように設計されています。ほとんどのモータースポーツにおいては、ヘルメットの着用がその欠点を補って余りあることは明らかです。しかし、パーソナルウォータークラフトなどのようなモーターウォータースポーツの場合、水上であるため、この特別なリスクがあるため、このような利点は必ずしもあてはまりません。

利点

ヘルメットは、衝突の際に相手のウォータークラフトに当たる場合など、頭部表面への衝撃による怪我の

リスクを低下させます。同様に、チンガードの付いたヘルメットは顔面、顎、歯などの負傷防止に役立ちます。

リスク

一方で、ウォータークラフトから転落した場合など一部の状況では、ヘルメットが“バケツ”のように水を捉え加わる恐れがあります。これは窒息、首や脊椎の重大な損傷や回復不能な損傷を招き、最悪の場合は死亡に至ります。

また、ヘルメットが周囲の視界や聴覚を妨げたり疲労をもたらすことによつて、衝突の危険が増す恐れもあります。

リスクと利点の兼ね合い

ヘルメットを着用すべきか否かの判断にあたって最も望ましいのは、具体的航行環境や個人的経験を考慮することです。交通の多い水域であるか？どのようなライディングスタイルか？、などです。

結論

どのような選択をした場合でも、ある種のリスク最小限に抑えることはできる一方、他のリスクは増大しかねません。従つてヘルメットを着用するかどうかは、具体的な状況に基づいてその都度判断を下す必要があります。

ヘルメットを着用することにした場合は、さらに、その状況にはどのタイプが最も適しているかを判断しなければなりません。ヘルメットはDOT規格またはスネル規格を満たすものを探し、可能であればモーターウォータースポーツ用に設計されたものを選んでください。

追加で推奨される装置

安全で、楽しい航行のために、追加の装置も入手することを推奨いたします。このリストは、すべては含んでいませんが、入手を検討すべきアイテムを含んでいます。

- 小さな工具キット
- 地域の地図

- 救急箱
- 曳航用ロープ
- 発炎筒
- 權（かい）
- 錨
- 係船コード。

また、防水バッグやコンテナに携帯電話を入れておくのも有用で、遭難した場合や陸上と連絡を取る場合に使用できる場合があります。

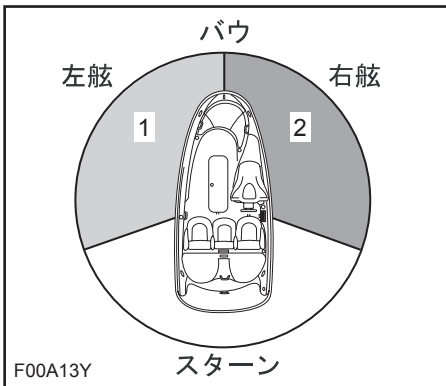
航行規則

運航規則

ウォータークラフトによる走行は、標識のない高速道路や道路上の走行に例えることができます。他の船舶との衝突の防止あるいは回避のために、運航規則には必ず従ってください。これは単なる常識ではなく、法令で定められています！

通常は右側を航行し、他のウォータークラフト、ボート、遊泳者や障害物との間に安全な距離を保ちながら回避します。

下の図は、方向の参照点として使われるボートの異なる部分を示しており、船首(バウ)がボートの正面です。ボートの左舷側(左側)は赤色灯によって、右舷の側(右側)は緑色灯によって視覚的に認識されます。



代表的な例

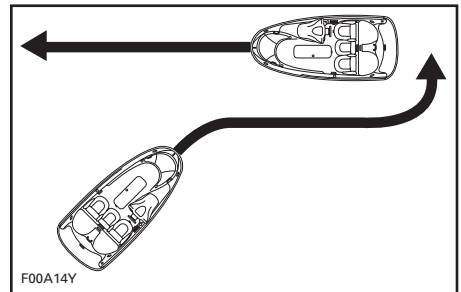
1. 赤色灯
2. 緑色灯 (回避方向)

灯の色を正しい側に関連付ける簡単な方法は、交通信号に結びつけることです。緑色灯側を通れば正しく(正しい側)、赤色灯側を通れば事故になります。

交差

前方の船舶に進路の権利を譲って、右側に回避します。決して船舶の前を横切らず、相手の赤色灯を見て、相手にはこちらの緑色灯が見えるようにします(相手側に進路の権利があります)。

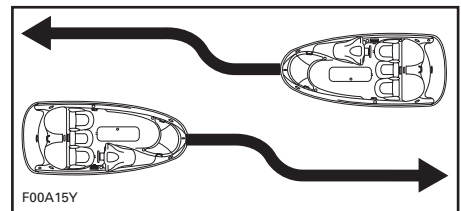
パーソナルウォータークラフト(PWC)にはこうした色灯はありませんが、規則は適用されます。



代表的な例

対向の場合

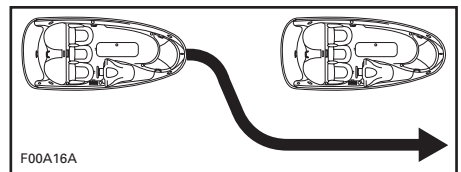
互いに右へ回避。



代表的な例

追い越し

他の船舶に進路を譲り、距離を保ちます。



代表的な例

航行システム

標識やブイなどの航行支援設備は、安全な水路の確認に役立ちます。ブイは、そのブイの右側(右舷)を通過すべきか左側(左舷)を通過すべきか、あるいは、どの水路を進むべきかを示します。ブイは、低速航行水

水域や減速水域などの制限水域や管理水域に入りつつあるかどうかを示し、また、危険や特別な航行情報を示すこともあります。標識は岸や水上に設置されています。これらも、速度制限、無動力船舶や無動力航行、停泊、その他の有効な情報を表わすことができ、各種標識は形状で、ある程度識別できます。

ウォータークラフト使用水域において水路に適用される航行システムをよく理解しておくようにしてください。

衝突回避

- スロットルを放して操船しないでください。

警告

ブレーキシステムを使わないで障害物を回避しようとするときは、スロットルを離さないでください。エンジンのパワーやジェットポンプの推進力がウォータークラフトの操船に必要です。

- 他の遊泳者、ボート、障害物などに対する見張りを常に怠らないでください。自分自身の視界が制限されたり、他の人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。
- レクリエーションを楽しむ他の人々や周囲の人々の権利を尊重し、常に他の船舶、ボート、人や障害物などから安全な距離を保ってください。
- 波や航跡でジャンプしないでください。

警告

航跡や波のジャンプ、波打ち際の走行、ウォータークラフトのしぶきを他の人にかける、といった行為は禁物です。ウォータークラフトの能力や自分自身の技量に関する判断を誤り、他のボートや人に衝突する恐れがあります。

- このウォータークラフトは他のボート類よりも小さな半径で旋回することができませんが、緊急の場合を除き高速での急旋回は行わないでください。このような操作は、第三者から見ただけの場合の回避や進路予測を困難にします。また、オペレーターも同乗者が落水してしまう恐れもあります。
- 大半の他のウォータークラフトとは異なり、このPWCにはブレーキシステムがあります。安全で、他の交通のない場所で停船や接岸の練習をして、さまざまな状況下でのウォータークラフトの停止距離の感覚を身につけてください。
- iBRを装備したウォータークラフトを操作する場合は、後続あるいは近くで動作している他のボートは同じように迅速には停止できないことに注意してください。
- 高速で航行して初めてブレーキをかけていると、ウォータークラフトの後方の空中に水柱が急上昇し、後続のウォータークラフトのオペレータが、あなたのPWCを見失うことがあります。
- 船団の形式で後続しようとしているウォータークラフトのオペレータには、あなたのPWCのブレーキや操船能力、水柱が示す意味、両者の間に十分な距離を保つべきであることを知らせておくことが重要です。

警告

停止距離は走行速度、積載荷重、風、水面の状況などによって異なります。

- 衝突を避けるには、速度を維持するか、場合によっては増速する必要があります。

燃料

給油の手順

警告

ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。常に換気の良い場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。

エンジンを止めます。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。

必ず全員がウォータークラフトから降りてください。

ウォータークラフトを給油用棧橋にしっかりと係留します。

手近なところに消火器を用意してください。



代表的な例 - 燃料タンクキャップ

外すためにラッチを指で引っ張るの
で、左手で軽くキャップを押さえつ
けてください。ばねの力によって押
し開けられ、キャップはポンと開き
ます。

警告

燃料タンクには圧力がかかっている
ので、ラッチを保持しているキャッ
プを外すときは燃料キャップの上
に片方の手を置いてください。

ガソリンポンプの噴出口をフィルター
ネットに挿入し、燃料タンクを満た
してください。

警告

燃料をこぼさないために、燃料タン
クから空気が逃げるようにゆっくり
と燃料タンクに注いでください。

ガソリンポンプのノズルハンドルが
リリースされたらただちに給油を止
めて、少し待ってから噴出口を抜き
ます。より多くの燃料を燃料タンク
に入れるために、ガスポンプのノズ
ルを引き込むことはしないでくださ
い。

警告

燃料を入れすぎたり、給油口ぎりぎ
りまでガソリンを入れたり、ウォー
タークラフトを日の当たる場所に長
時間置かないようにしてください。
温度の上昇と共にガソリンが膨張し
て、オーバーフローすることがあり
ます。

燃料タンクのキャップを締めて、正
しくラッチされていることを確認し
ます。

警告

給油時にこぼれた燃料は必ずウォー
タークラフトから拭き取ってくださ
い。

燃料補給後は、必ずシートを開けて、
ベンチレーションボックスを取り外
し、エンジンコンパートメントでガ
ソリンの蒸気の匂いがしないことを
確認してください。

警告

ガソリンの液やガソリンの蒸気の匂
いがある場合は、決してウォータ
ークラフトを始動しないでください。

推奨燃料

次のオクタン価の無鉛ガソリンを使用してください。

定格オクタン価	
北米内	
推奨	最低
91 (RON + MON)/2	87 (RON + MON)/2 ⁽¹⁾
⁽¹⁾ 最適なエンジン性能を得るには、プレミアム無鉛燃料を使用してください。	

定格オクタン価	
北米以外	
推奨	最低
95 RON	92 RON ⁽¹⁾
⁽¹⁾ 最適なエンジン性能を得るには、プレミアム無鉛燃料を使用してください。	

必ずお読みください これ以外の燃料や燃料混合液類を試さないでください。10%を超えるエタノールまたはメタノールを含む燃料は使用しないでください。推奨以外の燃料を使用すると、エンジン性能の低下、燃料システムやエンジンの重要な部品の損傷につながる可能性があります。

トレーラーによる運搬情報

必ずお読みください バンクの幅を含むトレーラーの木製バンクの幅は、船体の全長を支えられるように調整しなければなりません。木製バンクを、船体の階段部分の下に置いてはいけません。トレーラーの木製バンクの両方の端が、ウォータークラフトの長さを上回らなければならないというわけではありません。

ウォータークラフトの重量を適切に支えられるように、ウォータークラフトの重心が車輪の少し前に来るようにトレーラーの車輪の位置を確認してください。

警告

このウォータークラフトを立てて運搬するのはやめてください。通常の使用時の姿勢で運搬することを推奨いたします。

その地域におけるトレーラーの牽引に適用される法律や規制、特に次のような点を確認してください。

- ブレーキシステム
- 牽引車両の重量
- バックミラー。

ウォータークラフトを牽引トレーラーで運搬する場合は、次のような点に注意してください：

メーカーが推奨する、牽引車両の最大重量とタンク重量限度を遵守してください。

ウォータークラフトを前後（バウ/スターン）のアイレットを使って拘束し、トレーラーにしっかりと固定してください。必要があれば、さらに追加の固定ベルトを使用してください。

必ずお読みください それらの部分が完全に損傷するおそれがあるので、シートまたはグラブハンドルの上にロープや固定ベルトをかけないでください。ロープや固定ベルトがウォータークラフトのボディに触れる可能性のある場所では、布くずや同等のプロテクターなどでロープまたはベルトを包んでください。

燃料タンクのキャップ、前面のストレージコンパートメントのカバー、グローブボックスのカバー、ボーディングプラットフォームやシートなどが適切に固定されていることを確認してください。

警告

トレーラーで運搬する前に、必ずウォータークラフトの可動デッキがドックモードで下がっていることを確認してください。こうすることで重心が下がり、トレーラーの安定性が向上します。

Sea-Dooカバーを取り付けるとウォータークラフトを保護することができません。特に未舗装路を牽引する場合は、エアインテークからの埃の侵入を防ぎます。

トレーラー牽引の安全に関する注意事項を守ってください。

警告

ウォータークラフトをトレーラーで運搬する場合、決してウォータークラフトには装置を放置しないでください。輸送の間、何か飛び散り、付近にいる人が怪我をしたり、部品の損傷が発生するかもしれません。

重要なラベルの位置

ウォータークラフトには、以下のページに示すようなラベルが記載されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

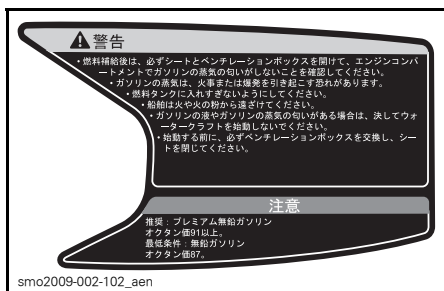
ウォータークラフトを操縦する前に、これらの各ラベルを注意深く読んでください。

注: 最初のウォータークラフトの図は、様々なラベルのおおよその位置を示しています。点線はそのラベルが外側の表面にはないことを示し、一部のシートまたはカバーは開けないとラベルが見えません。



smo2009-002-100_a

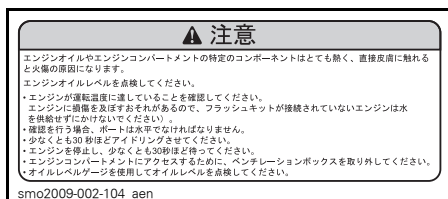
代表的な例



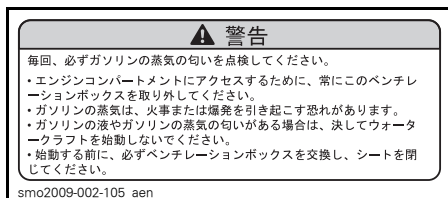
ラベル 1: 代表的な例



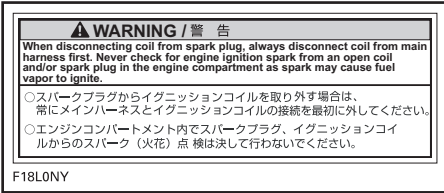
ラベル 2: 代表的な例



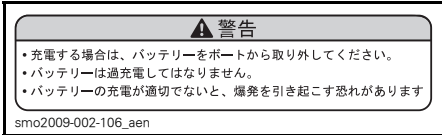
ラベル 3: 代表的な例



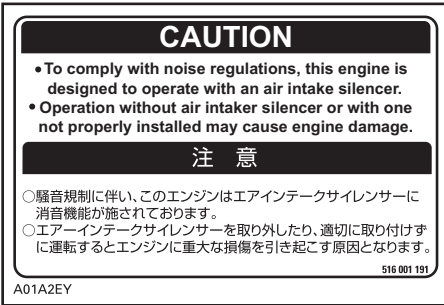
ラベル 4: 代表的な例



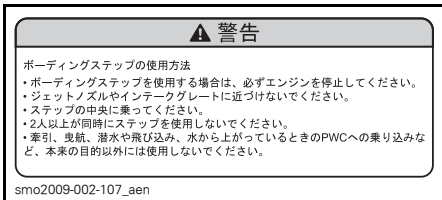
ラベル 5：代表的な例



ラベル 6：代表的な例



ラベル 7：代表的な例



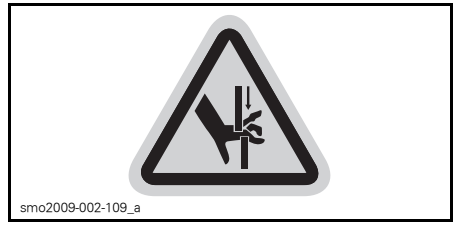
ラベル 8：代表的な例



ラベル 9：代表的な例



ラベル 10：代表的な例



ラベル 11：代表的な例



ラベル 12：代表的な例



ラベル 13：代表的な例



ラベル 14：代表的な例 (北米以外のウォータークラフト)

乗船前の点検

⚠ 警告

毎回の乗船前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために乗船前点検を実施します。乗船前点検により、問題になる前に磨耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減します。必要に応じてSea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

乗船前点検を実施する前に、コントロールのセクションを読んで、理解してください。

ウォータークラフトを水に浮べる前に実施すべきこと

⚠ 警告

次の各項目の確認を行うまではエンジンをかけず、必ずD.E.S.S.キーをポストから外しておいてください。全項目の点検を終え、正しく作動することを確認してから、ウォータークラフトを始動してください。

ウォータークラフトを水に浮べる前に、次のテーブルに一覧表示されている項目を点検してください。

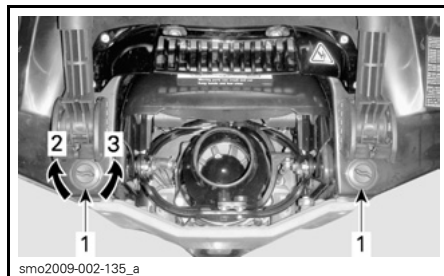
項目	作業内容	✓
船体（ハル）	点検。	
ジェットポンプウォーターインテーク	点検/清掃。	
ドレンプラグ	締める。	
燃料タンク	給油。	
エンジンコンパートメント	漏れまたはガソリンの匂いを確かめる。	
エンジンオイルレベル	点検/補充。	
エンジン冷却液レベル	点検/補充。	
ステアリングシステム	作動を点検。	
スロットルレバー	作動を点検。	
iBRレバー	作動を点検。	
インテリジェントサスペンション(iS)	作動を点検。	
フロントストレージコンパートメントカバー、ボーディングプラットフォームやシート	閉じられてラッチがかかっていることを確認。	
内蔵タイプ脱着式ストレージビン	船体への取り付けを確認して、正しく閉じてラッチをかける。	
D.E.S.S.ポストとエンジンのスタート/ストップボタン	作動を点検。	

船体（ハル）

船体にひび割れやその他の損傷がないか点検してください。

ジェットポンプウォーターインターク

水草、貝殻、異物などを取り除いてください。これらは水の流れを妨げ、推進ユニットを損傷する可能性があります。必要に応じて清掃してください。どうしても除去できないものがある場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。



smo2009-002-135_a

1. ビルジドレンプラグ
2. 締まる
3. 緩む

 **警告**

ウォータークラフトを水に浮べる前に、ビルジドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

燃料タンク

燃料タンクに給油します。

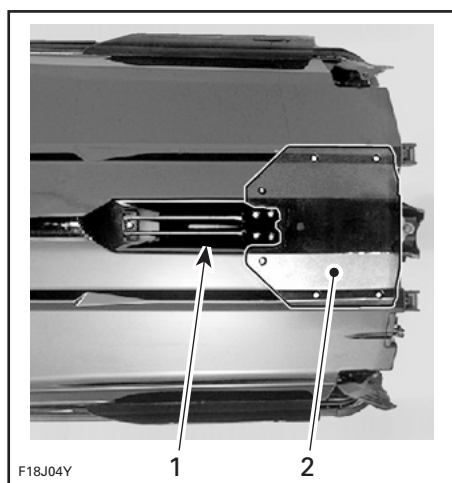
 **警告**

給油の手順セクションの指示は厳密に守ってください。

エンジンコンパートメント

エンジンコンパートメントで燃料の蒸気の匂いがしないか点検してください。

エンジンコンパートメントにアクセスするには、シートを開け、3箇所のロックングタブを押してデッキ部分に持ち上げてベンチレーションボックスを取り外します。



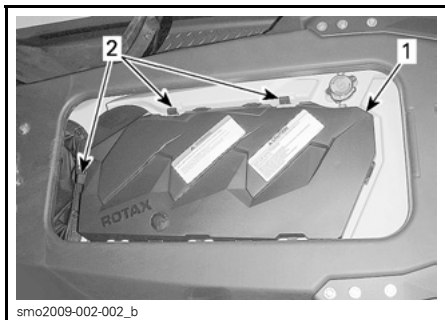
F18J04Y

代表的な例 — これらの部分を点検

1. ウォーターインターク
2. ライドプレート

ドレンプラグ

ビルジドレンプラグをしっかりと締めてください。



1. ベンチレーションボックス
2. ロッキングタブ



取り外したベンチレーションボックス

警告

漏れがあったりガソリンの臭気を感じられる場合は、電源を入れたり、エンジンを始動しないでください。そのまま使用せずに、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

エンジンオイル

オイルレベルがメンテナンスの手順のセクションで指定された適正範囲内にあることを確かめてください。

エンジン冷却液

冷却液レベルがメンテナンスの手順のセクションで指定された適正範囲内にあることを確かめてください。

ステアリングシステム

誰かに手伝ってもらいながら、ステアリングが自由に動くことを確認します。ハンドルバーが水平（直進状

態) になっているとき、ジェットポンプノズルは真直ぐのポジションにあるはずですが、ジェットポンプノズルが軸を中心にスムーズに動き、ハンドルバーの操作と同じ向きに動くことを確かめてください(例えば、ハンドルバーを左に回転させると、ノズルの開口はウォータークラフトの左側を指すはずですが)。

警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング用可動部品(ノズル、iBRゲート、リンケージ等)には人を近づけないでください。

スロットルシステム

電子的スロットルコントロール(ETC)レバーが引っかかりなくスムーズに作動するか点検してください。レバーから手を放したときは、すぐにレバーが元のポジションに戻らなければなりません。

警告

スロットルレバーの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。スロットルレバーに摩擦が感じられる場合は、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)レバー

iBRレバーが引っかかりなくスムーズに作動するか点検してください。レバーから手を放したときは、すぐにレバーが元のポジションに戻らなければなりません。

警告

iBRレバーの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。iBRレバーに摩擦が感じられる場合は、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

iSサスペンション

1. スタート/ストップボタンを軽く押して、ECMを起動します。
2. iSの[上]および[下]矢印ボタンを押して、サスペンションの作動を確認します。

ストレージコンパートメント、ボーディングプラットフォームおよびシート

全ての必要な安全および救命装置と追加の積荷が、ストレージビンに適切に保管されていることを確認します。

可動デッキと固定デッキの間に、積荷や他の器具などが無いことを確認してください。

内蔵タイプのストレージビン、フロントカバー、グローブボックス、ボーディングプラットフォームやシートが閉じられてラッチがかかっていることを確認します。

警告

シート、ボーディングプラットフォームや全てのストレージコンパートメントのカバーにしっかりラッチがかかっていることを確認します。

警告

D.E.S.S.キーのはめ合いが緩かったり、ポストから外れてしまうような場合は、危険を避けるためただちにDESSキーを交換してください。ランヤードを取り外したり、スタート/ストップボタンを押してもエンジンが停止しない場合は、決してオータークラフトを使用しないでください。システムのテストや修理に関しては、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

警告

可動デッキと固定デッキの間、あるいはリアサスペンションのコントロールアームの付近には、いかなる種類の積荷も器具も置かないでください。デッキや足元に溜まる水が自由に動けるように、これらの場所には一切の障害物がないようにしてください。用意されているストレージコンパートメントだけを使用してください。

D.E.S.S. ポストおよびエンジンのスタート/ストップボタン

D.E.S.S.ポストにランヤードを取り付けず、一度だけスタートボタンを押します。インフォメーションセンサーがオンになり、セルフテスト機能が進行し、数秒後に全ての表示がシャットダウンします。

D.E.S.S.キー(ランヤード)をD.E.S.S.ポストに取り付けます。インフォメーションセンターが再びオンになり、セルフテスト機能を繰り返し、約3分の間オンの状態が続きます。

スタート/ストップボタンを押してエンジンを始動させ、次にもう一度スタート/ストップボタンを押してエンジンを停止させます。

エンジンを再始動させ、D.E.S.S.ポストからランヤードを取り外して停止させます。

ウォータークラフトを水に浮べた後に実施すべきこと

ウォータークラフトを水に浮べたら、出発する前に以下のテーブルの項目を点検してください。

項目	作業内容	✓
インフォメーションセンター	作動を点検。	
インテリジェントブレーキおよびリバーズ(iBR)	作動を点検。	
可変トリムシステム(VTS)	作動を点検。	

インフォメーションセンター

1. スタート/ストップボタンを押し、D.E.S.S.キーを取り付けます。
2. インフォメーションセンターがセルフテスト機能を繰り返し、全ての表示や表示灯が点灯することを確認します。

警告

セーフティランヤードをPFDにつながります。

iBRシステム

必ずお読みください iBRシステムをテストする際は、衝突を避けるためにウォータークラフトの前後に十分な空間があることを確認してください。テスト中、ウォータークラフトは動きます。

1. ウォータークラフトをドックに固定している係留設備を取り外してください。
2. エンジンを始動させ、ウォータークラフトが動かないことを確認します。
3. 左のハンドルバーのiBRレバーを完全に押し込むと、ウォータークラフトはゆっくりと後進するはずですが。
4. iBRレバーを放すと、後退スラスト(推進力)はなくなるはずですが。

警告

ウォータークラフトで航行する前に、必ずiBRシステムが適切に作動することを確認してください。

可変トリムシステム(VTS)

エンジンが前進スラスト(推進力)を出力しているときに、VTSの[上]および[下]矢印ボタンを押してVTSの作動を点検します。インフォメーションセンターのVTSポジションインジケータの動きを確認してください。

VTSの[上]および[下]ボタンをダブルクリックして、VTSプリセットトリムポジションもテストします。

注: エンジンが前進スラストで動作していないと、VTSシステムのテストはできません。エンジンが前進スラストで動作していない場合は、VTSコントロールスイッチを押してもVTSの表示が変わるだけでノズルのポジションは変わりません。

ボートについての情報

コントロール



代表的な例

1. ハンドルバー
2. スロットルレバー
3. iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)レバー
4. D.E.S.S.ポスト
5. エンジンのスタート/ストップボタン
6. VTSボタン(可変トリムシステム)
7. iS(インテリジェントサスペンション)ボタン
8. [モード]および[設定]ボタン
9. [上]および[下]矢印ボタン
10. クルーズボタン

1) ハンドルバー

ハンドルバーはウォータークラフトの進行方向を制御します。前進中に、ハンドルバーを右に回すとウォータークラフトは右へ旋回し、左に回すと左へ旋回します。

ただし、後進中は、ステアリングの方向が逆になります。後進中にハンドルバーを右に回すと、ウォータークラフトは左へ旋回します。

警告

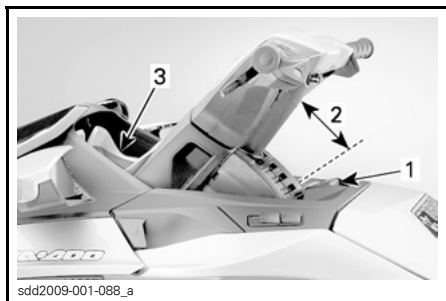
エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング用可動部品(ノズル、iBRゲート、リンケージ等)には人を近づけないでください。

チルト調整

ライダーの好みに合わせて、ハンドルバーのポジションを調整できます。

インフォメーションセンター全体、ハンドルバーやステアリングコラムはユニットとして傾き(チルト)を調整できます。

この調整を行うには、グローブボックスのすぐ前のステアリングコラムの付け根にあるリリースハンドルを引っ張り、希望するポジションまでハンドルバーを傾けます。

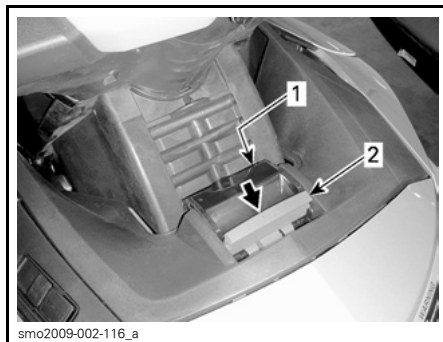


1. リリースハンドル
2. 可能なチルト調整範囲
3. インフォメーションセンター

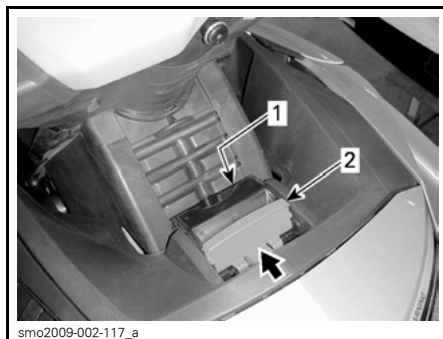
ハンドルバーが希望するポジションになったら、ラッチハンドルを放し、ラッチのつめがステアリングコラムの溝にきちんと掛かっていることを確認します。また、ラッチハンドルが前進ポジションにあることも確認してください。

警告

ステアリングコラムが突然動かないように、ステアリングコラムのラッチのつめがステアリングコラムの溝の一つにきちんと掛かっていることを確認してください。



- しっかり掛かっていないステアリングコラムの調整ラッチ
1. ステアリングコラムの溝にかかっているラッチのつめ
 2. ロックされていないリリースハンドル



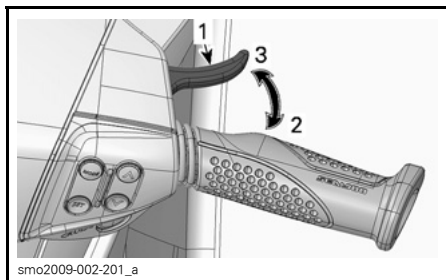
- しっかり掛かっているステアリングコラムの調整ラッチ
1. 掛かっているラッチのつめ
 2. 前向きにロックされたリリースハンドル

2) スロットルレバー

このウォータークラフトは、電子的スロットルコントロール(ETC)レバーを使用するインテリジェントスロットルコントロールシステム(iTC)を装備しています。

このシステムは過酷な状況でも快適なスロットル操作や正確な制御を提供し、O.T.A.S.(オフスロットルアシステッドステアリング)やiBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)などの他の電子制御システムと連携します。また、クルーズモードや低速モードの使用時に速度を制限します。

スロットルレバーを引っ張るとウォータークラフトは加速します。スロットルレバーを完全に放すとエンジンは自動的にアイドル速度まで低下し、iBRレバーを引いてブレーキまたは後退操作をかけない限りウォータークラフトはアイドル速度で前進を続け、やがてニュートラルになります。



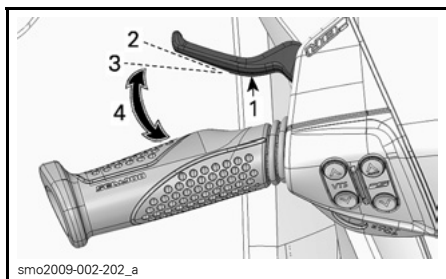
- smo2009-002-201_a
1. スロットルレバー
 2. 加速時
 3. 減速時

3) iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)レバー

左手のハンドルバーにあるiBRレバーは、後退またはブレーキモードに電子的な指令を出します。

後退またはブレーキモードを起動するには、スロットルレバーを放してiBRレバーを引きます。

注: 後退またはブレーキモードに関して、レバーには25%以下のあそびがあります。



- smo2009-002-202_a
- iBRレバー
1. iBRレバー
 2. レバーのリリース位置
 3. 約25%の位置
 4. 動作範囲

エンジンが動作していなければ、iBRレバーはiBRゲートのポジションに全く影響しません。iBRレバーを引いたときにiBRゲートを動作させるには、エンジンが動作していなければなりません。

ブレーキまたは後退操作の後でiBRレバーを放すと、iBRゲートはニュートラルポジションに戻ります。

iBRレバーを放したときにスロットルレバーを引いていると、少し遅れて前進が始まります。ブレーキ操作の後に迅速に加速する必要がある場合や、後退操作の後に後方への速度を止めたい場合に、この機能は便利です。

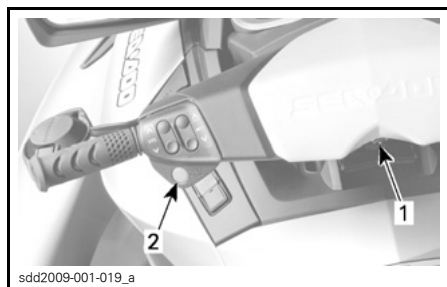
警告

iBRレバーを放したときにスロットルレバーを引いていると、少し遅れて前進が始まります。加速が不要なら、スロットルレバーを放してください。

ニュートラルから前進するには、スロットルレバーを叩いてください。iBRゲートが前進スラストのポジションに動きます。

4) D.E.S.S.ポスト

ウォータークラフトが完全に動作するには、セーフティランヤードにつながれたプログラム済みD.E.S.S.キーがD.E.S.S.ポスト(デジタル暗号化セキュリティシステム)にしっかり差し込まれていなければなりません。



- sdd2009-001-019_a
- 代表的な例
1. D.E.S.S.ポスト
 2. スタート/ストップボタン

エンジンを始動する場合は、必ずセーフティランヤードをオペレーターの救命胴衣(PFD)につなぎ、キーをD.E.S.S.ポストに差し込みます。

短いビーブ音が2回鳴って、システムはエンジンを始動できる状態になったことを知らせます。それ以外の場合は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。



smo2009-002-115_a

代表的な例

1. DESSポスト上のキー
2. オペレーターの救命胴衣(PFD)につなげたセーフティランヤード

エンジンの動作中に、D.E.S.S.ポストからキーを引き抜くとエンジンの動作が停止します。

スタート/ストップボタンを使用してエンジンを止め、D.E.S.S.キーがポストに残っている場合、バッテリーの放電を防ぐため、約3分後にインフォメーションセンターと全ての電源が停止します。

警告

エンジンスタート/ストップボタンでもエンジンは止められますが、エンジンを停止して、降りるときはD.E.S.S.キーも外す習慣付けることを推奨いたします。

警告

エンジンを停止すると、ブレーキ機能や全てのウォータークラフトの方向制御はできなくなります。ウォータークラフトを使用しないときは、誤ってエンジンを始動したり、他人や子供が許可なく使用したり、盗まれないように、必ずD.E.S.S.キーを外してください。

デジタル暗号化セキュリティシステム(D.E.S.S.)

それぞれのD.E.S.S.キーには、一意の電子的シリアル番号を与える電子回路が内蔵されています。これが従来のキーと同じ役割をします。

D.E.S.S.システムは、ポストに取り付けられたキーを読み取り、キーを認識できる場合にだけエンジンの始動を許可します。

D.E.S.S.システムには高い柔軟性があります。追加のD.E.S.S.キーを購入すれば、それをあなたのウォータークラフト用としてプログラムすることができます。

合計で10個までのD.E.S.S.をプログラムできます。

D.E.S.S.キーのタイプ

3タイプのキーを使用できます。

- ノーマルキー
- ラーニングキー
- レンタルキー(別売り)。

それぞれのキーには、フロート付きのセーフティランヤードがあります。これは、キーを水中に落とした場合に沈まないようにするためです。

キーを簡単に見分けられるように、キーのフロートは違う色になっています。

キーのタイプ	フロートの色
ノーマル	黄色または黒
ラーニング	緑色
レンタル	オレンジ



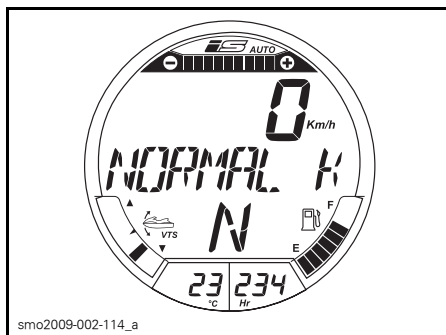
sdd2009-001-025

代表例 - D.E.S.S. キー(ランヤード)

1. ラーニングキー、緑色のフロート
2. レンタルキー、オレンジ色のフロート

スタート/ストップボタンを押して、D.E.S.S.ポストにキーが取り付けられていると、インフォメーションセンターはセルフテスト機能を実行し、ウェルカムメッセージを表示し、次にキー認識のメッセージ(ノーマルキー、ラーニングキー、レンタルキー)を表示します。

ノーマルD.E.S.S.キーなら、エンジンの出力を完全に使用できます。



smo2009-002-114_a

ノーマルキーの認識

SEA-DOOラーニングキー™またはレンタルキーはウォータークラフトの速度やエンジンのトルクを制限して、初めて操縦する人や経験の浅いオペレーターが、不安を感じたりコントロールを失ったりせずにウォータークラフトの操縦方法を学べるようにします。



smo2009-002-114_aa

ラーニングキーの認識

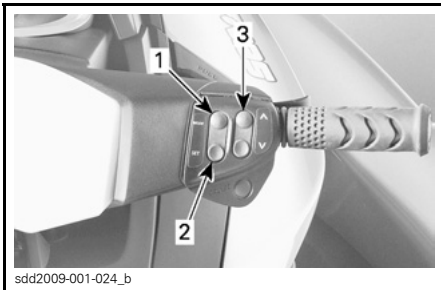
ラーニングキーまたはレンタルキーの速度設定の変更

レンタルキーおよびラーニングキーでは、最も低速の設定1から設定5までの5段階の速度制限が可能です。デフォルトでは、レンタルキーおよびラーニングキーは最速の速度設定(5)にプリセットされています。

注: エンジンが動作してない間だけ、キーの設定を変更できます。

ラーニングキーまたはレンタルキーの設定を変更するには、以下を実行します。

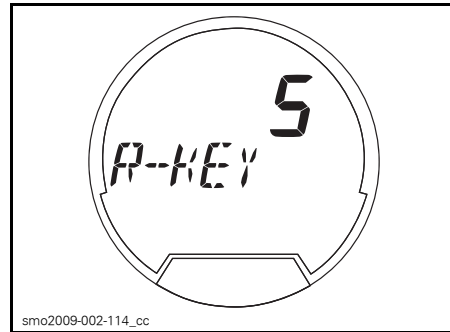
1. スタート/ストップボタンを押して電子システムを起動し、D.E.S.S.ポストにノーマルキーを取り付けます。
2. インフォメーションセンターがセルフテスト機能を完了し、キー認識メッセージを表示するまで待ちます。
3. インフォメーションセンターのデジタル画面に[KEY MODE]と表示されるまで、[モード]ボタンを繰り返して押します。



sdd2009-001-024_b

代表例 - ゲージコントロールボタン

1. /モード/ボタン
2. /セット/ボタン
3. /上/および/下/矢印ボタン

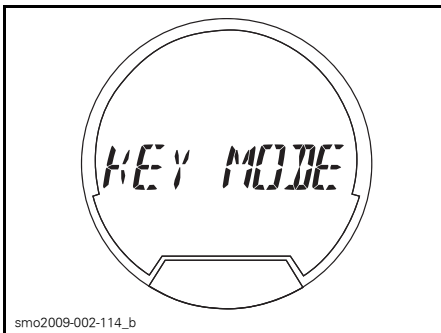


smo2009-002-114_cc

例 - レンタルキーを 5 に設定

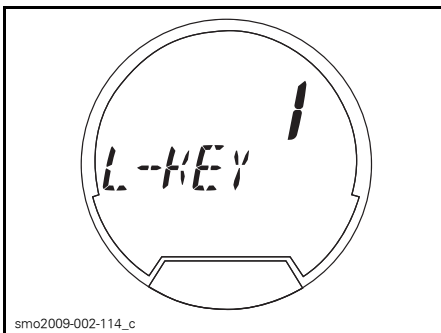
5. [上]または[下]矢印ボタンを押して、キーの設定を1から5までの間で切り替えます。設定に対応する制限速度はテーブルを参照してください。
6. [セット]ボタンを一度押すと設定が保存され、二度押すか、タイムアウトになるまで待つと機能が終了します。キー設定の変更は自動的に保存されます。

ラーニングキーは、2台以上のウォータークラフトに対してプログラムすることも可能です。キー設定は、キーではなくウォータークラフトに対してプログラムされます。ラーニングキーの設定は、特定のウォータークラフトで使用されるプログラム可能なラーニングキーなら、どのキーにも適用できます。従って、異なるウォータークラフトで使用される同一のキーは、それぞれのウォータークラフトでは異なるキー設定になります。同じウォータークラフトに対してプログラムされた複数のラーニングキーがある場合、それらのキーを別の設定にすることはできません。レンタルキーの設定についても同じです。



smo2009-002-114_b

4. [セット]ボタンを一度押して、ラーニングキーの設定機能を起動します。表示が[L-Key]に変わります。



smo2009-002-114_c

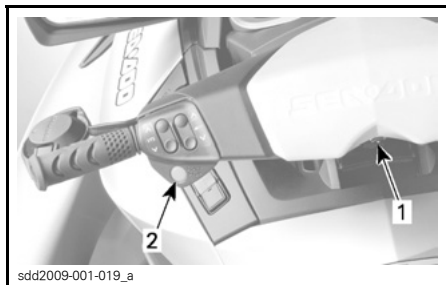
例 - ラーニングキーを 1 に設定

注: [セット]ボタンを二度押して、レンタルキーの設定機能を起動します。表示が[R-Key]に変わります。

D.E.S.S.キーのタイプ	キーの設定	最高速度
ラーニングキー	5	58 km/h (36 MPH)
	4	55 km/h (34 MPH)
	3	50 km/h (31 MPH)
	2	47 km/h (29 MPH)
	1	42 km/h (26 MPH)
レンタルキー	5	74 km/h (46 MPH)
	4	69 km/h (43 MPH)
	3	63 km/h (39 MPH)
	2	58 km/h (36 MPH)
	1	51 km/h (32 MPH)

5) エンジンのスタート/ストップボタン

エンジンのスタート/ストップボタンは左手のハンドルバーにあります。エンジンの始動、停止と共に電子システムの起動にも使用されます。



代表的な例

1. D.E.S.S.ポスト
2. スタート/ストップボタン

電子システムの起動

D.E.S.S.キーをポストに取り付けずに、一度だけスタート/ストップボタンを押します。

これで電子システムに電源が入ります。インフォメーションセンターがセルフテスト機能を繰り返し、数秒後には表示は空白になります。

スタート/ストップボタンを押してから、約3分の間、電子システムの電源は入ったままになります。

この機能によって、エンジンを始動しなくてもサスペンションが起動されます。

注: D.E.S.S.キーを取り付けずにスタート/ストップボタンを押し続けている間、インフォメーションセンターの表示も続きます。

エンジンの始動と停止

エンジンの始動と停止に関する完全な手順については、*使用上の諸注意*を参照してください。

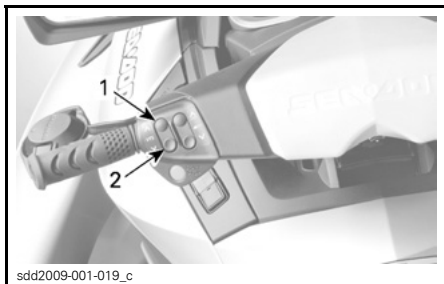
6) VTSボタン(可変トリムシステム)

このウォータークラフトには、プログラム可能な高性能のVTSが装備されています。

ジェットノズルの垂直ポジションを調整して、ウォータークラフトのピッチトリムを調整します。

VTSは、希望する姿勢あるいは2つのプリセットされたトリムポジションのどちらかに手動でトリムできます。

VTSコントロールボタン(上または下の矢印)を押して、ウォータークラフトのライディング姿勢を調整します。



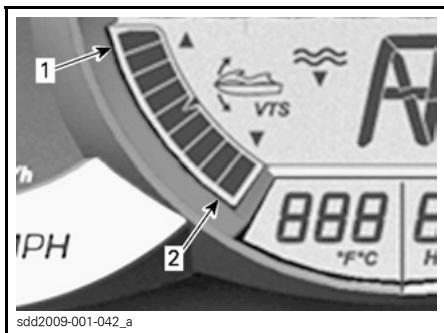
sdd2009-001-019_c

代表例 - VTSコントロールボタン

1. バウアップ
2. バウダウン

ウォータークラフトのトリムポジションは、インフォメーションセンターのデジタル画面にVTSポジションインジケータによって表示されます。

注: エンジンを前進スラストモードで動作させないでVTSトリムポジションを変更すると、表示だけが変わり、希望するノズルのポジションをプリセットします。前進スラストが出力されると、ノズルは選択したVTSトリムポジションに移動します。



sdd2009-001-042_a

インフォメーションセンター—VTSポジションインジケータ

1. バウアップ
2. バウダウン

注: VTSの相対ポジションを示しているセグメントだけがオンになります。図では、セルフテスト機能中で全てのセグメントが表示されています。

VTSの手動トリミング

1. VTSを手動でトリムするには、VTSの[上]または[下]矢印ボタンを一度クリック（押す）してVTSを1増分だけ（選択に従って上または下へ）トリムします。
2. 少したってから、もう一度クリックするとVTSはさらに1増分だけ増減します。希望するトリム姿勢に達するまで、上記の手順を繰り返します。

注: 合計で9増分のトリムポジションだけ変更可能です。

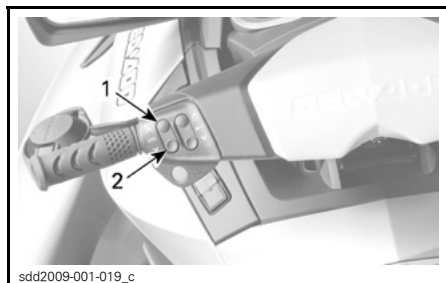
注: 希望する姿勢が得られるまで、VTSの[上]または[下]矢印ボタンを押し続けることも可能です。トリムボタンを放すが、最大のトリムポジション（上または下）に達するまで、ジェットポンプのノズルは動き続けます。

プリセットトリムポジションの使用
2つのプリセットトリムポジションを選択できます。

記録された最高のトリムポジションを選択するには、VTS[上]矢印ボタン（バウアップ）をダブルクリックします。

記録された最低のトリムポジションを選択するには、VTS[下]矢印ボタン（バウダウン）をダブルクリックします。

注: プリセットトリムポジションが一つしか記録されていない場合、VTSボタンの[上]または[下]矢印のどちらかをダブルクリックします。



[上]または[下]をダブルクリックして、プリセットポジションを使用する

1. [上]矢印の最高プリセットポジション
2. [下]矢印の最低プリセットポジション

プリセットトリムポジションの記録
ウォータークラフトのトリムを調整するとき、迅速に設定するためにVTSポジションをプリセットできます。

2つの異なるトリムポジションが記録可能であり、それぞれVTSボタンの[上]または[下]矢印用です。例えば、1つはオペレータだけでウォータークラフトを操作する場合のプリセットで、他方はオペレータと同乗者のためです。

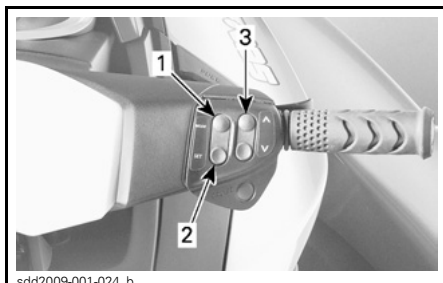
VTSシステムは記録されたトリム設定を比較します。最高のポジションは[上]矢印(パウアアップ)に割当てられ、最低のポジションは[下]矢印(パウダウ)に割当てられます。

両方のトリムポジションが同じ場合、両方のボタンは同じトリム設定です。

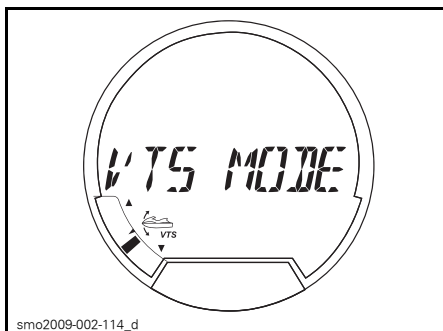
プリセットの調整中、それぞれのプリセットポジションに対して9つの表示されるVTSポジションを選択できます。出荷時のデフォルト設定では、PRESET 1は4に、PRESET 2は5に設定されています。

VTSプリセットトリムポジションを記録するには：

1. D.E.S.S.キーをポストに取り付けずに、一度だけスタート/ストップボタンを押して電源をオンにします。
2. 右手のハンドルバーで、[VTS MODE]が表示されるまで[モード]ボタンを押します。

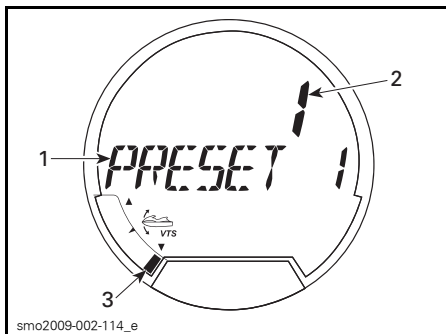


1. [モード]ボタン
2. [セット]ボタン
3. [上]および[下]矢印ボタン



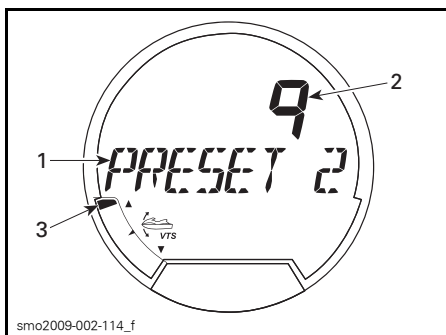
[VTS MODE]機能の選択

3. 右手のハンドルバーで、[セット]ボタンを押して[PRESET 1]を表示します。
4. VTSの[上]または[下]矢印ボタンを押して、[PRESET 1]VTSポジションを変更します。[PRESET 1]の上のデジタル画面には、設定1から9までのゲージが表示されます。



- smo2009-002-114_e
1. [Preset 1]機能
 2. 1が選択されたVTS設定
 3. 設定1のVTSポジションインジケータ(パウダウン)

5. [セット]ボタンを押して[PRESET 1]を保存し、[PRESET 2]を表示します。
6. VTSの[上]または[下]矢印ボタンを押して、[PRESET 2] VTSポジションを変更します。[PRESET 1]の上のデジタル画面には、設定2から9までのゲージが表示されます。



- smo2009-002-114_f
1. [Preset 2]機能
 2. 9が選択されたVTS設定
 3. 設定9のVTSポジションインジケータ(パウアップ)

7. [セット]ボタンを押して設定を保存し、メイン表示に戻ります。

7) iS(インテリジェントサスペンション)ボタン

出荷時のサスペンションの高さ(アップポジション)は、[自動サスペンションモード]での航行中の最適なライディングコンディションに合うプリ

セット高に校正されています。出荷時に校正された高さは、同乗者の数や可動デッキ上の重量に関わらず同じです。

警告

ウォータークラフトの積載重量や定員をオーバーしないようにしてください。詳細は、仕様を参照してください。

iSボタンは、主としてサスペンションの高さをオペレータの好みに合うように手動で微調整するために使用します。

iSボタンを使用して、[自動サスペンションモード]機能に優先してサスペンションの高さを変更できます。iSシステムは[手動サスペンションモード]に切り替え、オペレータはライディングスタイルやライディング状況に応じて好みのサスペンションの高さを選択できます。

サスペンションの高さと動作のモードは、インフォメーションセンターのデジタル画面に表示されます。

警告

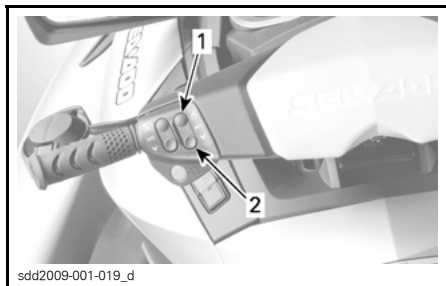
PWCにはインテリジェントサスペンションが装備されています。システムは垂直方向の力の一部を吸収し、身体への影響を低下させますが、完全に除くことはできません。あなたや同乗者が飛び跳ねて、ウォータークラフトから放り出されないように、速度を落としてください。

警告

非常に波が荒い場合の乗船や、波や航跡でジャンプするなどの極端な操船は避けてください。

ライド高の手動調整

iSの[上]または[下]矢印ボタンを一度押し、サスペンションを次の高さまで増減させるか、あるいは希望するライド高が得られるまでボタンを押し続けます。

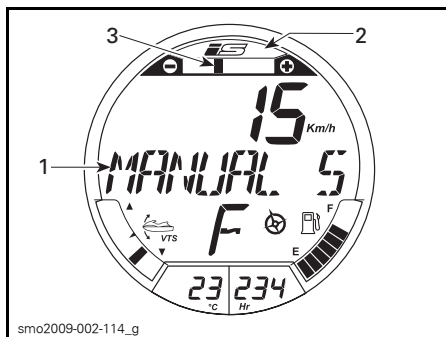


代表的な例

1. iS [上]矢印ボタン
2. iS [下]矢印ボタン

インフォメーションセンターのデジタル画面には、手動サスペンションモードの次の表示が示されます。

- [手動サスペンション]を通知する、デジタル画面のスクロールメッセージ。
- iS表示の[自動]表示は消えます。
- サスペンションポジションインジケータは、相対サスペンション高を示します(インジケータの1セグメントだけがオンです)。



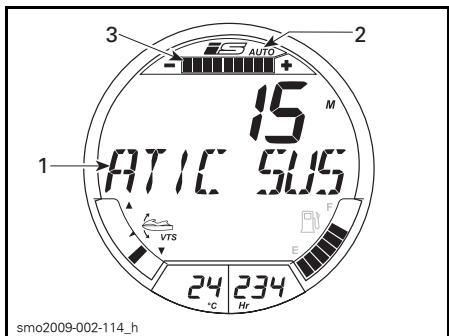
1. /手動サスペンション/メッセージ
2. /自動/モードのインジケータはオフ
3. 相対サスペンションポジションの表示

自動サスペンションモードの選択

[自動]選択モードに戻るには、iSの[上]矢印ボタンをダブルクリックします。

インフォメーションセンターのデジタル画面には、自動サスペンションモードの次の表示が示されます。

- [自動サスペンション]を通知する、デジタル画面のスクロールメッセージ。
- iS表示の[自動]表示が現れます。
- サスペンションポジションインジケータの全てのセグメントがオンです。



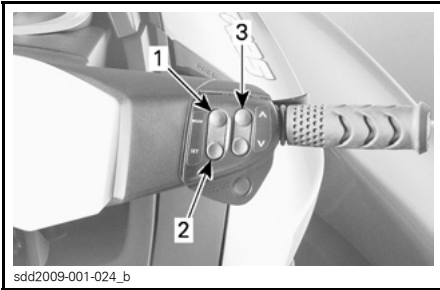
1. /自動サスペンション/メッセージ
2. /自動/モードのインジケータはオン
3. サスペンションポジションインジケータの全てのセグメントがオン

8) [モード]ボタンおよび[セット]ボタン

これらのボタンは右手のハンドルバーにあります。

[モード]を押すと、インフォメーションセンターのデジタル画面で様々な機能がスクロール表示されます。

[セット]を押して、希望する機能を選択するか、あるいは修正した設定を保存します。



sdd2009-001-024_b

1. [モード]
2. [セット]
3. [上]および[下]矢印ボタン

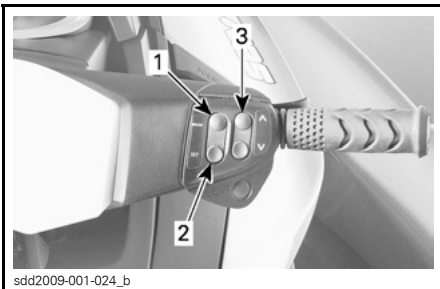
注: [クルーズ]または[低速]モードでの動作中、[上]および[下]矢印ボタンはウォータークラフトの速度の調整にも使用します。

インフォメーションセンターや表示モードの詳細については、インフォメーションセンターを参照してください。

9) [上]および[下]矢印ボタン

これらのボタンは右手のハンドルバーにあります。

[上]または[下]矢印ボタンを押して、[セット]を使用して選択した機能を移動し、設定を修正します。



sdd2009-001-024_b

1. [モード]
2. [セット]
3. [上]および[下]矢印ボタン

注: [クルーズ]または[低速]モードでの動作中、[上]および[下]矢印ボタンはウォータークラフトの速度の調整にも使用します。

インフォメーションセンターや表示モードの詳細については、インフォメーションセンターを参照してください。

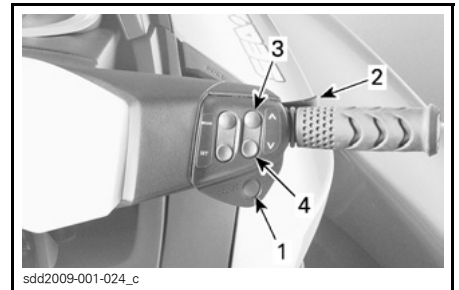
10) クルーズボタン

クルーズボタンは右手のハンドルバーの[上]および[下]矢印ボタンのすぐ下にあります。[クルーズ]モードの起動、停止や[低速モード]への切り替えに使用します。

クルーズモードの起動

クルーズモードの動作を起動するには:

1. 3800 RPM 以上で、希望するウォータークラフトの速度まで加速します。
2. クルーズボタンを約1秒間、押し続けます。



sdd2009-001-024_c

代表的な例

1. [クルーズ]ボタン
2. スロットルレバー
3. [上]矢印ボタン
4. [下]矢印ボタン

クルーズモードに入ったことを知らせるビープ音が聞こえ、インフォメーションセンターのスピードメーターの表示に緑色の[クルーズ]インジケータが点灯します。



[クルーズ]モードのインジケータランプ

注: クルーズモードを起動しても、スロットルレバーを押したときの最高速度を制限するだけです。前進速度を維持するには、スロットルレバーを押し続けなければなりません。クルーズ機能が起動された場合、ウォータークラフトの速度はアイドル速度から、設定されたクルーズ速度までの間で変化します。ウォータークラフトの速度は、航行中の水面の状況によって変化します。

クルーズ速度の設定の変更

設定された最高クルーズ速度を上げるには：

1. スロットルレバーをハンドルバーまで一杯に引きます。
2. 新たに設定したい速度に達するまで、右手のハンドルバーの[上]矢印ボタンを押し続けます。

設定された最高クルーズ速度を下げるには：

1. スロットルレバーをしっかりと保持します。
2. 新たに設定したい速度に達するまで、右手のハンドルバーの[下]矢印ボタンを押し続けます。

注: [上]または[下]矢印ボタンを繰り返して押すと、設定速度が増分単位で変化します。ボタンを押し続けると、ボタンを放すまで速度が加速または減速します。

クルーズモードの停止

クルーズモードを停止するには：

1. スロットルレバーを放します。
2. クルーズボタンを押します。

クルーズモードの停止は、以下によって示されます。

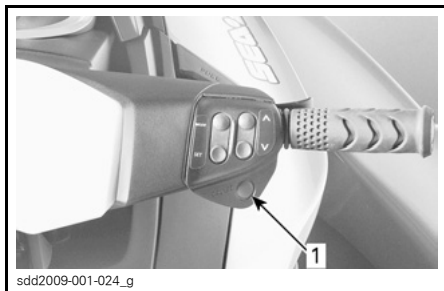
- スピードメーター表示の[クルーズ]インジケータランプが消えます。
- ビープ音が聞こえます。

注: クルーズモードを停止するためにクルーズボタンを押しても、スロットルレバーを完全に放していないと、ビープ音は聞こえず、クルーズ灯は点灯したままです。スロットルレバーを完全に放して、ビープ音が聞こえ、クルーズ灯が消えるまで、クルーズモードの速度制限機能は有効です。

低速モードの起動

低速モードの動作を起動するには：

1. アイドリングのRPMになるまでスロットルレバーを放します。
2. iBRレバーを引いて、放して、ニュートラルにします。
3. クルーズボタンを約1秒間、押し続けます。



代表的な例

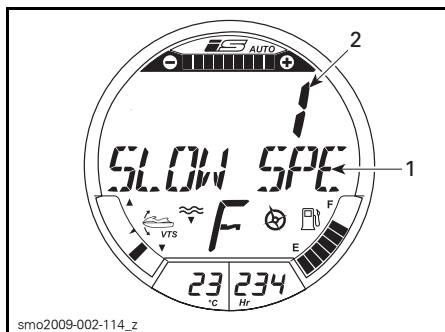
1. [クルーズ]ボタン

スピードメーター表示に緑色の[クルーズ]インジケータランプが点灯し、クルーズの起動を示します。



インジケータランプの[クルーズ]モード

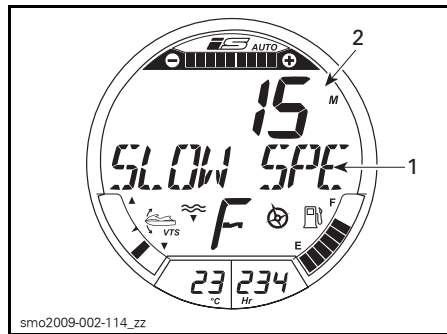
低速モードになっていることを通知するメッセージがデジタル画面にスクロール表示されます。また、デフォルトの低速設定である"1"が数秒の間、デジタル画面に表示されます。



低速モードの表示

1. スクロールする [低速モード] メッセージ
2. 低速設定が、数秒の間表示されます。

注: 低速モードを起動する間、[低速]メッセージのスクロールが続きます。数秒後に、デジタル画面は以前の表示内容に戻ります。



smo2009-002-114_zz

1. スクロールする [低速モード] メッセージ
2. デジタル画面が以前の表示内容に戻る

低速設定の変更

設定した低速を上げるには、右手のハンドルバーの[上]矢印ボタンを一度、あるいは繰り返し押しします。デジタル画面の設定ポイント表示が現れ、低速設定の変更を示します。

設定した低速を下げるには、右手のハンドルバーの[下]矢印ボタンを一度、あるいは繰り返し押しします。デジタル画面の設定ポイント表示が現れ、低速設定の変更を示します。

注: 5つの低速設定が使用可能です(1から5まで)。

低速モードの停止

低速モードを停止するには:

- クルーズボタンを押す、あるいは
- iBRレバーを全体の動作範囲の25%以上押す、あるいは
- 設定されている最高の低速速度以上に加速する。

スピードメーター表示の[クルーズ]インジケータランプが消え、スクロールしていた[低速モード]メッセージが消え、インフォメーションセンターがコンパス表示に戻ります。

クルーズボタンを押すが、スロットルレバーを使って加速して、[低速モード]を停止しても、iBRゲートは前進ポジションのままです。

iBRレバーを使用すると、iBRゲートは後退ポジションに移動し、レバーを放すとニュートラルになります。

インフォメーションセンター

インフォメーションセンターは、動作情報をオペレータに表示するため、ゲージ、インジケータランプおよびデジタル画面の集まりです。

テキストメッセージは異なる言語で表示できます。詳しい情報や、インフォメーションセンターを選んだ言語に設定する方法については、Sea-Doo認定ディーラーまでお問い合わせください。

インフォメーションセンターによって、オペレータは速度、エンジンRPM、燃料レベルやエンジン温度などの様々な表示を一目で見ることが出来ます。また、ゲージを使って、様々な機能や操作モードを移動、選択し、特定の設定やシステムパラメータを変更できます。

インジケータランプは、オペレータに機能の選択や異常を知らせます。

ゲージには、コンパスやスピードメーターの表示に使用するGPS(グローバルポジショニングシステム)が組み込まれており、動作の必要に応じて他のシステムに信号を提供します。

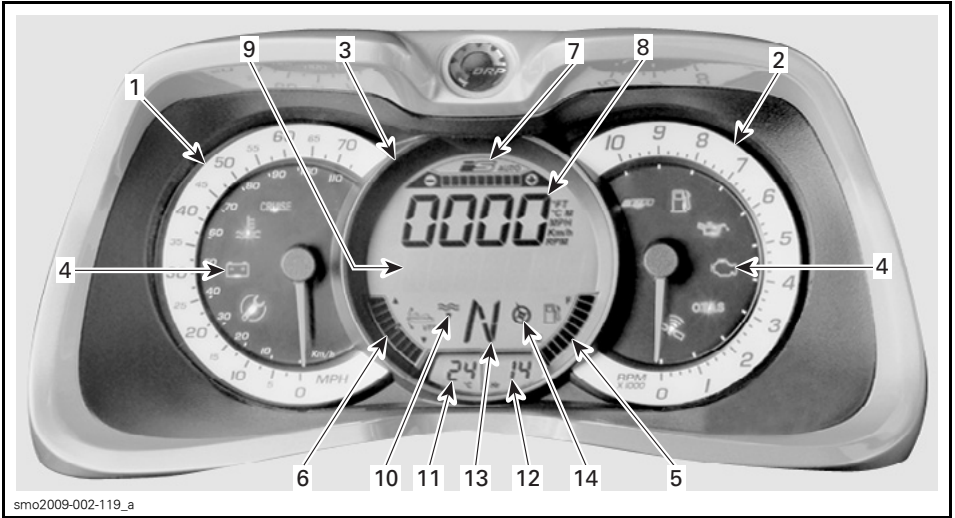
スタート/ストップボタンを(D.E.S.S.キーを取り付けずに)押すと、インフォメーションセンターのセルフテストを起動できます。全てのLCD部分とインジケータランプが、約3秒間点灯します。アナログのスピードメーターとRPMの表示も、全ての表示が巡ります。これにより、オペレータはすべてのインジケータが正常に作動していることを確認できます。

セルフテスト機能中に故障が検出されると、エラーメッセージが表示され、インジケータランプが点灯し、故障の検出を知らせる信号音(ビーブ音)が聞こえます。

故障コードが生成され、Sea-Doo認定ディーラーによる故障システムのトラブルシューティングを支援するために記憶されます。故障コードをどのように表示するかについては、このセクションの故障コードの表示を参照してください。

警告

インフォメーションセンターのデジタル画面のメッセージを読んでいると、ウォータークラフトの操作に注意、特に周囲の監視が疎かになる可能性があります。衝突やその他の結果として生じる重大な怪我や死亡の原因になるおそれがあります。メッセージを読む前に、周囲に障害物などがないことを確認し、ウォータークラフトの速度を下げてください。どんな調整を進める場合でも、事前に周囲を確認して、安全に実行できるようにしてください。



smo2009-002-119_a

インフォメーションセンターの機能

1. スピードメーター
2. タコメーター
3. デジタル画面
4. インジケータランプ
5. 燃料レベル
6. VTSポジション
7. iSポジション
8. 数値表示
9. 多機能表示
10. 深度計インジケータ
11. 水温計
12. 時間メーター
13. iBRポジション
14. コンパス

1) スピードメーター

インフォメーションセンターの左手にあるスピードメーターは、ウォータークラフトの速度を1時間あたりの航行マイル (MPH) およびキロメートル (km/h) でアナログ表示します。

速度表示は、インフォメーションセンターに組み込まれたGPS(グローバルポジショニングシステム)に基づいています。

GPSが良好な信号を受信すると、タコメーターのインジケータランプが点灯します。



GPSインジケータランプ

何らかの理由でGPS信号が失われると、デフォルトモードになり、他のシステムから受信した情報で算出した速度がウォータークラフトの推定速度になります。

2) タコメーター

タコメーターは、エンジンの1分間あたりの回転数 (RPM) をアナログ表示します。表示されている数字を1000倍すると、実際のエンジンのRPMになります。

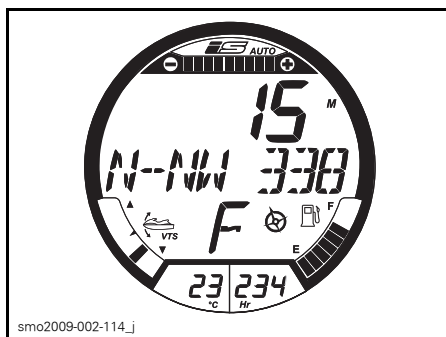
3) デジタル画面

インフォメーションセンターの中央にあるデジタル画面は、同時に10の個別表示が可能です。

- 燃料レベル
- VTSポジション
- iSポジションおよびモード
- 多機能表示
- 水温
- エンジンアワーメーター

- iBRポジション
- コンパスアクティブインジケータ
- 深度計インジケータ。

デジタル画面のインジケータの数値表示および多機能表示は、それぞれのセクションで説明しているように、様々なインジケータの表示、操作モードの選択や設定の変更などに使用されます。



4) インジケータランプ

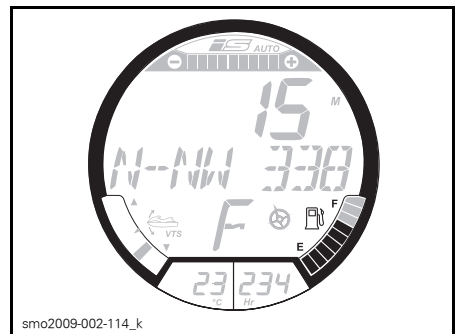
スピードメーターやタコメーターのインジケータにあるインジケータランプ(パイロットランプ)は、選択した機能、通常の状態、システムの異常あるいは深刻な故障などを知らせてくれます。

インジケータランプに対応して、多機能表示にスクロールするメッセージが表示されます。

パイロットランプ(オン)	メッセージ表示	説明
	MAINTENANCE REMINDER	メンテナンスが必要
	LOW または HIGH BATTERY VOLTAGE	バッテリーの電圧が低い/高い
	LOW-FUEL	燃料レベル低下、タンク容量の約 25%、14 L (3.7 U.S. gal.) あるいは、燃料レベルセンサーが切断
	HIGH TEMPERATURE	エンジンまたはエキゾーストシステムのオーバーヒート
	CHECK ENGINE または LIMP HOME MODE	エンジン点検(メンテナンスを要する軽度の故障)または LIMP HOME MODE (重度のエンジン故障)
	LOW OIL PRESSURE	油圧の低下
	-	[クルーズ]モードまたは[低速モード]動作中
	-	iBRシステム故障
	-	OTASシステム故障
	-	GPSアップリンク良好

5) 燃料レベル

デジタル画面の下部右手にあるバーゲージは、ライディング中の燃料タンクの燃料の量を継続的に表示します。



燃料タンクが満杯の場合、インジケータの8セグメント（バー）全部が点灯します。トップのセグメントは使用されません。

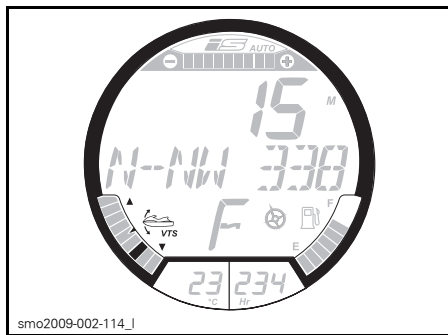
燃料レベルの表示が2セグメントしか表示されない場合(燃料タンク容量の残りが約25%であるか、または14L (3.7 U.S. gal.))、燃料低下インジケータが点灯し、燃料の残りが少ないことを知らせます。

燃料残量が少ない状態が続いている限り、警告音(長いビープ音)が定期的に鳴ります。

6) VTS ポジション

デジタル画面の下部左手にあるVTSポジションは、ウォータークラフトのライディング姿勢を示します。

バーゲージタイプのインジケータの単一セグメントが点灯して、ウォータークラフトのバウの相対的姿勢を示します。

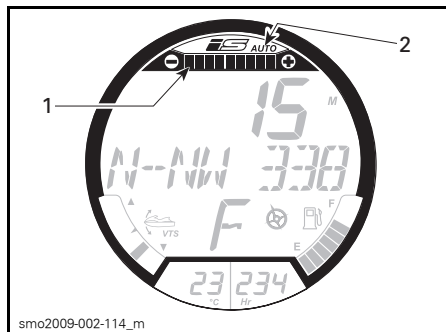


VTSの使用に関する詳細については、**使用上の諸注意**を参照してください。

7) iS ポジション

iS(インテリジェントサスペンション)表示は、サスペンションの相対的な高さを視覚的に表示します。

サスペンションの動作が[自動]モードであることも表示します。



1. iSポジションインジケータ
2. iS[自動]モードインジケータ

iSボタンを使用してサスペンションの高さを手動で調整する場合、システムの動作は[手動]モードに切り替わります。[自動]表示が消え、ポジションインジケータの全てのバー部分が点灯します。

システムが[手動]モードで動作しているときは、バーゲージの単一セグメントが点灯し、サスペンションの高さを示します。

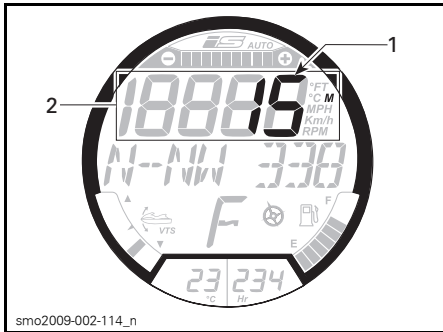
サスペンションの使用に関する詳細情報については、**使用上の諸注意**を参照してください。

8) 数値表示

数値表示は、オペレータの選択に従って様々な表示を提供するのに使用されます。

- エンジンRPM
- ウォータークラフト速度

- 湖の温度
- 水深(GTX LTD iS)。



- 例
1. 水深の表示 (GTX LTD iS)
 2. 数値表示

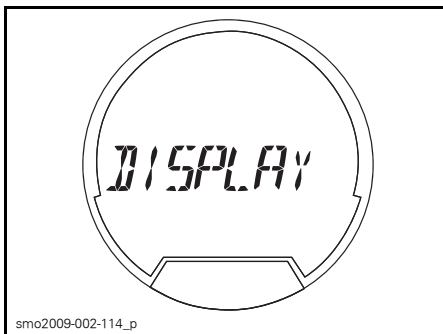
インフォメーションセンターに電源を入れたときは、数値表示は最後に選択していた表示を示します。

数値表示は、次のような様々なシステムモードの設定の表示にも使用されます。

- VTSプリセット
- ラーニングキーの設定
- レンタルキーの設定
- 低速モードの設定

数値表示の表示の変更

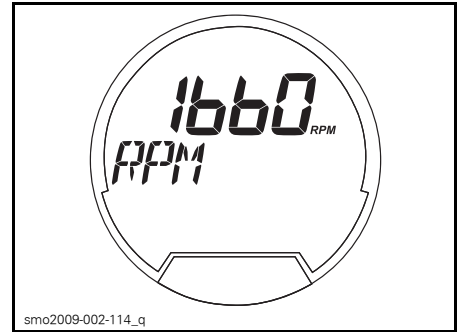
数値表示の表示を変更するには、多機能表示に[DISPLAY]が表示されるまで、ハンドルバーの右手にある[モード]ボタンを繰り返して押します。



多機能表示に希望する表示の選択が現れるまで、[上]または[下]矢印ボタンを押します。

- RPM
- SPEED(速度)
- LAKE TEMPERATURE(湖の温度)
- DEPTH(水深)。

注: [水深]を選択できるのは、深度計が取り付けられている場合だけです。



例 - RPM の選択

[セット]ボタンを押して、希望する表示を選択、保存するか、あるいは表示機能がタイムアウトするまで待ちます。最後に表示されていた表示が自動的に保存されます。そして、数値表示は新しい表示に切り替わり、右側には次のような表示タイプの短い略称が示されます。

- FTまたは M
- RPM
- MPHまたは KM/H
- °Fまたは °C。

9) 多機能表示

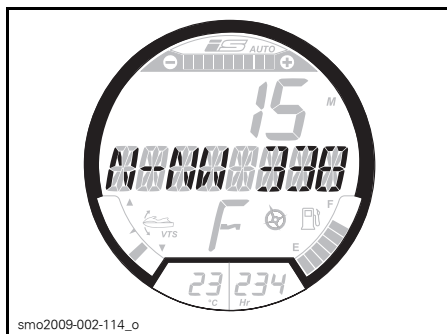
ウォータークラフトの動作中、多機能表示にはコンパスの方向、モニタリングシステムからのスクロールメッセージ、あるいは機能が有効なら[ドックモード オン]メッセージのスクロールなどが表示されます。

さらに、数値表示の表示の変更、動作のシステムモード、設定やシステム故障コードの表示などを許可する、

様々な機能の選択のためのメニューも表示されます(トラブルシューティング参照)。

警告

様々な数値表示や動作のシステムモードの選択、あるいは設定を変更するのは、ウォータークラフトの停止時だけにしてください。周囲に対する注意力を妨げるので、ウォータークラフトがある程度の速度で動作している間にこれらの機能を選択することは推奨できません。



多機能表示 - コンパスの方向の表示

機能の選択

一定の速度で動作している場合、多機能表示は通常はコンパスの方向やウォータークラフトが航行している方位角を示します。

多機能表示で使用できる様々な機能を選択するには、次の中から使用したい機能が表示されるまで[モード]ボタンを繰り返して押します。

- DISPLAY(表示)
- VTS MODE(VTSモード)
- FAULT CODES(故障コード)
- KEY MODE(キーモード)
- SETTINGS(設定)。

次に[セット]ボタンを押して、その機能に入ります。

それぞれの使用可能な機能については、該当するセクションに説明があります。

10) 深度計インジケータ

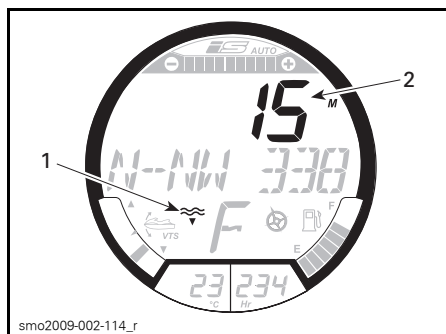
GTX Limited iS モデル

数値表示を選択して、湖水の深度を表示できます。

このシステムでは、船体の下の水深を50 m (164 ft)まで増分単位で表示できます。

注: 特定の条件下で、デジタル画面が表示を停止することがあります。デジタル画面の深度表示能力は、使用条件によって異なります。

深度表示を有効にする方法については、このセクションの数値表示を参照してください。



1. 深度計インジケータ
2. 水深の表示

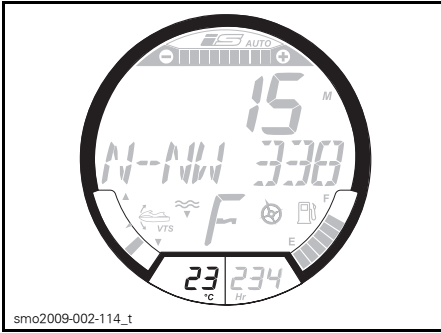
注: 深度計インジケータは、深度計が取り付けられていて、検出されている場合だけオンになります。

警告

深度計を水深が浅い場所で運行するときの警告装置として用いないでください。

11) 水温計表示

水面の水温を摂氏 (°C) または華氏 (°F) 温度で連続的に表示します。



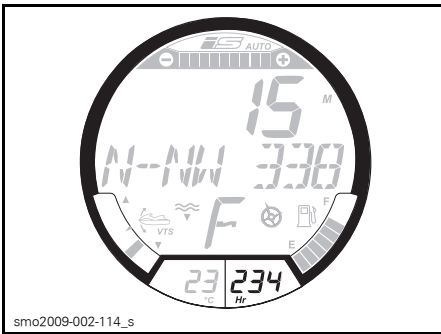
水温計

数値表示を選択して、水温を表示することも可能です。このセクションの数値表示を参照してください。

測定の単位(°Cまたは°F)の変更方法については、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

12) 時間メーター表示(HR)

ウォータークラフトの使用時間を時間単位で表示します。



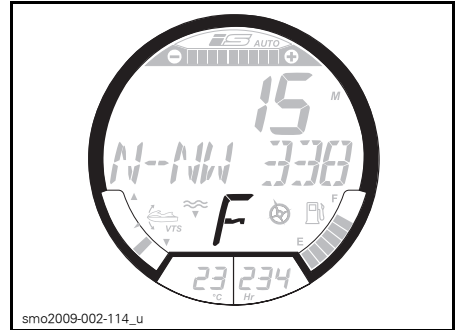
時間メーター

13) iBRポジション

iBRゲートのポジションを表示します。

- N(ニュートラル)

- F(フォワード、前進)
- R(リバース、後進)。

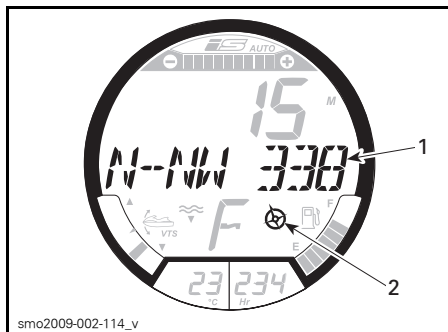


14) コンパス

インフォメーションセンターに組み込まれたGPSが多機能表示に表示します。

ウォータークラフトが航行しているときは、デフォルトとして多機能表示に、ウォータークラフトが航行している方位角と共に、方位点や中間方位点が表示されます。

表示するコンパス表示に関して、GPSはナビゲーション衛星と良好なリンクを保っていなければなりません。これは、デジタル画面に[コンパス]のアクティブな表示があることで確認できます。



代表的な例

1. コンパス表示
2. コンパスアクティブインジケータ

警告

コンパスはあくまでも目安として
使用してください。正確な航法目的
では使用できません。

装備

注: 一部のモデルでは該当しないコンポーネントや、オプション装備となるコンポーネントがあります。



代表的な例

1. グローブボックス
2. フロントストレージビン
3. リアストレージビン
4. 消火器ホルダー
5. シートラッチ
6. シートGrabハンドル
7. ボーディングステップ
8. ボーディングプラットフォーム
9. スピードタイ (GTX LTD iS)
10. パウ (船首) アイレットとスターン (船尾) アイレット
11. 係船クリート
12. ビルジドレンプラグ

1) グローブボックス

身の回り品を納める小さなストレージコンパートメントです。

カバーラッチを引っ張って、グローブボックスを開きます。



smo2009-002-120_a

代表的な例 — グローブボックス
1. カバーラッチ

グローブボックスのオーガナイザ

GTX Limited iS

取り外し可能なグローブボックスが、身の回り品の保管や持ち運びに使えます。



sdd2009-001-051

グローブボックスのライナーバッグ

GTX Limited iS

グローブボックスのライナーバッグは、グローブボックスの内に収納しているものを保護します。2つのアイレットを使って引っ張れば、ライナーバッグはグローブボックスから簡単に取り外せます。



smo2009-002-121

2) フロントストレージビン

大きな身の回り品の持ち運びに使える防水性のストレージビンがフロントカバーの下にあります。ストレージビンは、内蔵タイプで取り外し可能です。



smo2009-002-136

ストレージビンのアクセス

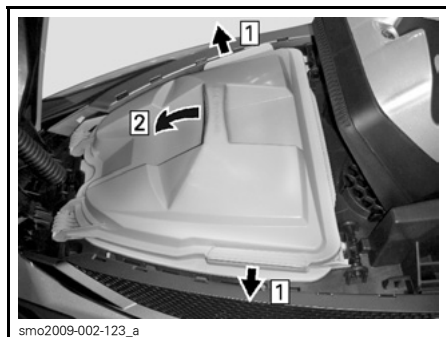
2つ（両側）のカバーラッチハンドルを上引っ張って、フロントストレージコンパートメントのカバーを開けます。



smo2009-002-122_a

代表的な例
1. フロントカバーのラッチハンドル（両側）

ストレージビンのカバーを開ける
カバーラッチを外してからカバーハ
ンドルを引いて、開けます。



手順 1: カバーラッチを外します。
手順 2: カバーを引っ張って開けます。

必ずお読みください フロントス
トレージビンの最大許容積載量は、均
等な荷重で9 kg (20 lb)です。

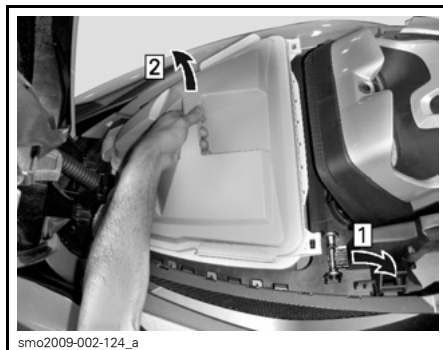
警告

重いものや壊れものを固定せずに
フロントストレージビンに入れな
いください。入れすぎではなり
ません。ストレージコンパート
メントカバーを開けたままの状
態でウォータークラフトを走ら
せないでください。

ストレージビンの取り外し

ストレージビンのカバーのラッチが
しっかりロックされていることを確
認してください。

ストレージビンロックしているラ
ッチをポジションまで押し戻し
ます。次に、ビンを前方に傾け
ながらストレージビンのハン
ドルを引っ張り、フロントタブ
を外し、ウォータークラフト
から取り外します。



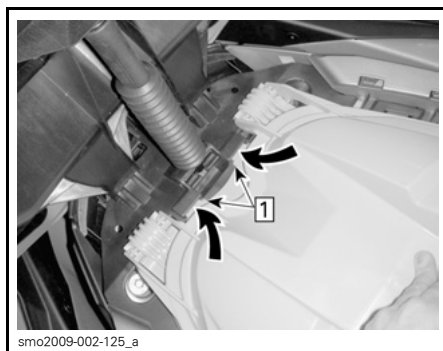
手順 1: ストレージビンのラッチを押し戻す
手順 2: 持ち上げ、前方に傾けてフロントタ
ブを外す

警告

ストレージビンの下、あるいは可
動デッキと固定デッキの間には、決
して何も置かないでください。

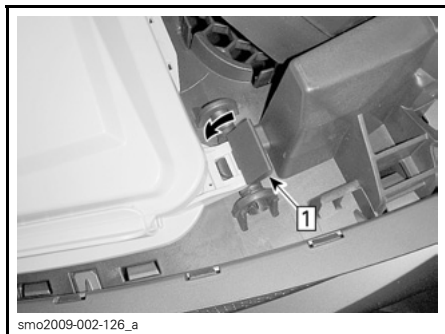
ストレージビンの取り付け

ストレージビンフロントコンパート
メントに挿入し、前方
に傾けてストレージビンのフ
ロントタブをストレージカバ
ーのショックサポートの下に挿
入します。



手順 1: ストレージビンのフロントタブを挿
入する

ストレージビンの後側を押し下
げて、ロック用ラッチ(両側)で
所定の位置に固定します。



手順 1: ラッチを押し下げて固定する

ストレージビンが正しくロック用ラッチに挿入され、ラッチが前方へ固定されていることを確認してください。

必ずお読みください ストレージビンが正しく固定されていない場合は、決してウォータークラフトを走らせないでください。

注: このウォータークラフトは、フロントストレージビンが取り付けられていなくても動作できます。

3) リアストレージビン

リアボーディングプラットフォームの下には、2つのストレージビンがあります。曳航用ロープ、救急箱、消火器などの収納場所として理想的です。

ボーディングプラットフォームを閉じると、両方のストレージビンのカバーになります。

特に右手のストレージビンは、認定消火器(別売り)の保管用に設計されています。



1. 消火器

右手のストレージビンは、ウォータークラフトの整備の際には取り外せません。

ストレージビンを取り外すには、ビンの(前と後)2つのプラスチック製のリベットを引っ張って抜き、次にストレージビンを固定デッキから持ち上げます。



smo2009-002-128

必ずお読みください 両方のリアストレージビンを取り付けていない状態では、決してウォータークラフトを走らせないでください。常に、リアポーディングプラットフォームが正しく閉じており、ストレージビンの上に掛かっていることを確認してください。正しく掛かっていると、極端な操船によってプラットフォームに流入した水がプラットフォームを開け、右手のストレージビンが外れる場合があります。これが発生すると、水がビルジに入り、エンジンの損傷や電子的な問題につながる恐れがあります。

4) 消火器ホルダー

リアポーディングプラットフォームの下にある右手のストレージビンを使用して、消火器をゴム製の固定用具でしっかり固定します。

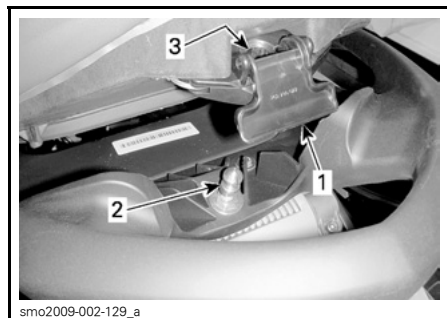
リアストレージビンの図を参照してください。

注: 消火器は別売りです。

5) シートラッチ

シートラッチはシートの後端にあります。シートの前端にはヒンジが取り付けられています。

シートを開くには、ラッチハンドルを引っ張り、完全に開くまでシートを引き上げます。シートの前にあるシリンドラーを使うと、シートを完全に開いたポジションで保持できます。



代表的な例

1. シートのラッチハンドル
2. ラッチピン
3. ピン差込穴

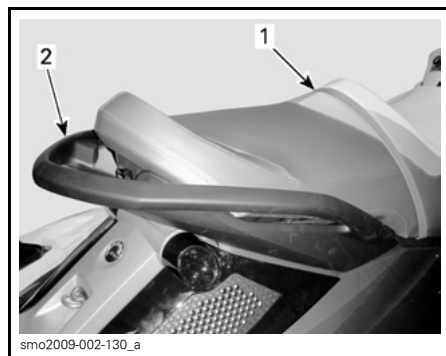
シートをラッチするには、シートを閉じて、シートの後部分をしっかりと押し込みます。

⚠ 注意 ピンに適切にロックされていることを確認してください。

6) シートグラブハンドル

シートグラブハンドルは必要に応じてウォータークラフトへの乗船時のつかみ所にもなり、乗船中の同乗者や監視者のつかみ所にもなります。

必ずお読みください このグラブハンドルは、曳航やウォータークラフトの吊り上げには決して使わないでください。

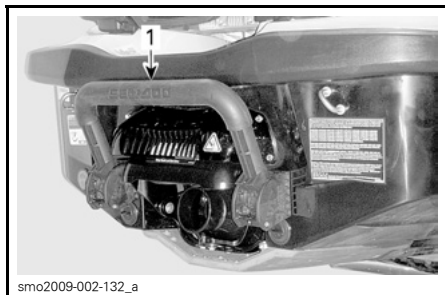


代表的な例

1. 革のグラブハンドル
2. 鋳造されたグラブハンドル

7) ポーディングステップ

水中からウォータークラフトへ乗船する際に使用するステップです。



代表的な例

1. ボーディングステップ

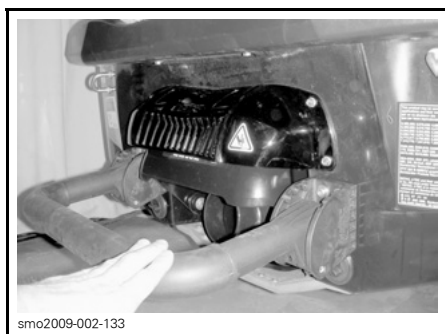
警告

ボーディングステップを使ってウォータークラフトに乗船する場合は、必ず事前にエンジンを停止してください。

警告

エンジンの始動、停止の際やiBRレバーを使用するときは、iBRゲートの動きに気をつけてください。ゲートの自動的な動きによって、後部につかまっている人やPWCに乗っている人の指やつま先を挟み込むことがあります。

手でステップを引き下げ、足がステップに乗るまで手で押さえておきます。



ボーディングステップ

必ずお読みください

- 陸上にあるウォータークラフトに乗る際は、決してステップを使わないでください。
- 牽引、曳航、潜水や飛び込み、あるいはボーディングステップとしての用途以外では、ステップを使用しないでください。
- ステップの中央に乗ってください。
- 同時に2人以上でステップを使用しないでください。

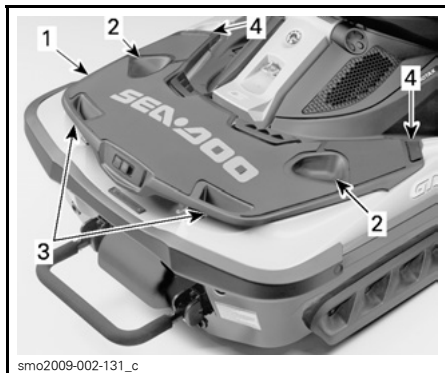
8) ボーディングプラットフォーム

ボーディングプラットフォームは、後方のデッキ部分を覆っています。プラットフォームにある二箇所の窪みは、水上スキーヤーやチューブに乗っている人を曳航しているときに、後方を監視する人のためのフットレストです。

プラットフォームの後端近くの2つのグリップハンドルは、水中から乗船する人のためのつかみ所です。

また、プラットフォームは、開けたときにアクセスできる2つの後方のストレージビンの防水性のカバーにもなります。プラットフォームは後の固定デッキにヒンジでつながっており、前方の角にある2つのラッチで閉じられています。

ボーディングプラットフォームを開けるには、それぞれのラッチハンドルを引き上げ、デッキを完全に持ち上げます。左側のシリンダーで、プラットフォームを開けたままにできます。



smo2009-002-131_c

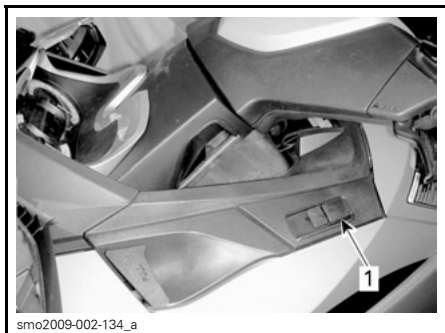
- GTX LIMITED iS モデルの場合
1. ボーディングプラットフォーム
 2. 監視者用フットレスト
 3. グラブハンドル
 4. ラッチハンドル

9) スピードタイ

GTX LIMITED iS

ウォータークラフトの係留用に2つのスピードタイがあります。

1つは左手のハンドルバーのすぐ下にあり、もう1つはボーディングプラットフォームの後端の中央にあります。



smo2009-002-134_a

1. フロントスピードタイ



smo2009-002-131_d

1. リアスピードタイ

警告

- ウォータークラフトのエンジンが動作している間は、格納式のロープは使用しないでください。
- 乗り物の曳航には使用しないでください。ウォータークラフトの後方や側面にいる人や物を牽引するために使用しないでください。
- スピードタイのロープをトレーラーの固定として使用しないでください。

必ずお読みください

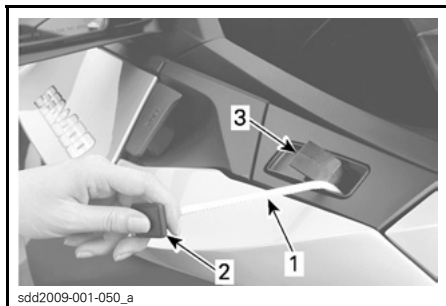
- このシステムは、通常の状況での一時的な使用を意図しています。継続的な係留システムとしての使用や、極端な状況(強風、波、など)での使用は止めてください。
- 定期的にロープの状況を点検してください。損傷したロープでウォータークラフトをつながないでください。BRPロープを他のロープと交換するとスピードタイの保証が無効になります。
- スピードタイを塩水で使用した場合は、真水で定期的にロープを完全にすすいで、ロープやスピードタイの機構に塩が溜まらないようにしてください。こうすることでロープの寿命が延び、機構が適切に動作します。

注: スピードタイのロープは、通常の保証でカバーされない消耗品です。

スピードタイの手入れの手順についてはメンテナンスのセクションを参照してください。

スピードタイを使ったPWCの係留

1. ウォータークラフトをドックに平行にし、ドックの係船クリートの近くに停船させ、レバーを引いてスピードタイを放します。
2. 係留ラインのストッパーをしっかりとつかんで、十分届く長さまで引き抜き、係船クリートに結びます。



代表的な例 - フロントスピードタイ

1. スピードタイの係留ライン
 2. 係留ラインのストッパー
 3. スピードタイのロックレバー
3. スピードタイのロックレバーを押して、係留ラインをロックします。

必ずお読みください 必ず、スピードタイのロープがしっかりロックされていることを確認してください。ウォータークラフトが損傷したり、ロープが早く磨耗することがないように、係留ロープはどこにも接触しないようにしてください。

4. スピードタイのロープがドックのクリートにしっかりと結ばれていて、ウォータークラフトがドックと平行になっている状態で、慎重にドックに踏み出してください。ウォータークラフトの足場またはシートから踏み出し、不安定にならないようにウォータークラフトレールには立たないでください。

5. ウォータークラフトをドックと平行に保ったまま、リアスピードタイの係留操作を繰り返します。アロープを使用する際は、落ちないように注意してください。

注: 同乗者が船上にいる場合も、基本的にドック手順は同じです。ただ、ドック操作中の重心をシートを中心に維持できるように、オペレーションには同乗者に動かないよう指示してください。同乗者は、必ずフロント係留ロープをドックのクリートにしっかりと結んでから、ドックへ降りてください。同乗者が上陸する間は、ウォータークラフトをドックと平行に保つために、オペレータはウォータークラフト上に残ってはいけません。

必ずお読みください

- 1本の格納式ロープだけでウォータークラフトを係留することはやめてください。フロントとリアのシステムを必ず一緒に使用してください。
- 係留中は、ロープを締めすぎないでください。必ず、少し緩めておいてください。なるべく、流れを考慮に入れてください。ウォータークラフトは必ずロープ部分で係留し、プラスチック製の終端部は使わないでください。
- 係留システムは、ウォータークラフトがドックにぶつかるのを保護しません。ドックバンパー(クッション)と格納式ロープを一緒に使用して、ポートを保護してください。
- 丈夫な係留クリートを使用して、ウォータークラフトは必ずドックの適切な高さで係留してください。

スピードタイを使用した出航

1. 出航時は、まずリアスピードタイをほどきます。係留ロープを格納し、係留ロープのストッパーを収納器の近くで保持し、ロックレバーを引き上げます。係留ロー

プを格納したら、係留ロープのストッパーを収納器へ投げ入れます。

2. ウォータークラフトに乗船します。ウォータークラフトの安定性を保つために、可能な限りウォータークラフトの中心に体重がかかるような位置を心がけてください。
3. 慎重にオペレータのポジションへ移動します。
4. ドックのクリートからフロント係留ロープを放し、格納して、リアスピードタイと同様にストッパーをロックします。
5. ドックを押すか、流れに任せて、ウォータークラフトをドックから離れさせます。

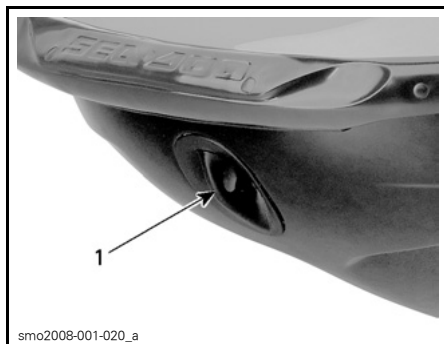
▲ 注意 係留ロープの格納時は、十分に注意してください。レバーのロックを外す前に、必ずストッパーを収納器の近くに保持してください。格納式ロープが通る場所に立たないでください。

▲ 注意 ウォータークラフトを始動する前に、ロープが正しく格納され、ストッパーを投げ入れてあることを必ず確認してください。

10) フロントおよびリアのアイレット

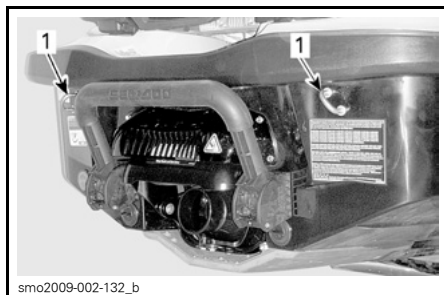
アイレットは係留、曳航、トレーラー輸送時の固定ポイントとして使用できます。

フロントアイレット



代表的な例
1. フロントアイレット

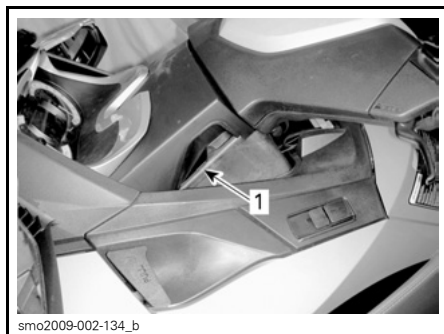
リアアイレット



1. リアアイレット

11) 係船クリート

これらのクリートは、給油時などの一時的なドッキングで使用できます。

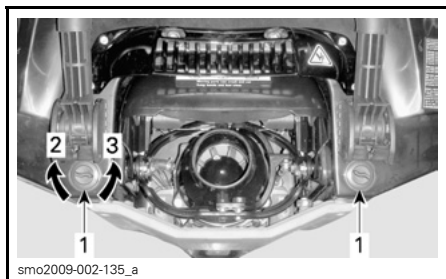


代表的な例 — 全モデル
1. 係船クリート

必ずお読みください 係船クリートは、絶対にウォータークラフトの曳航や吊り上げには使わないでください。

12) ビルジドレンプラグ

ウォータークラフトをトレーラーに乗せるときは必ずドレンプラグを抜いてください。こうすると、ビルジ内に溜まった水が排出され、結露を防げます。



代表的な例

1. ドレンプラグ
2. 締まる
3. 緩む

必ずお読みください ウォータークラフトを水に浮べる前に、ドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

操作の説明

警告

ウォータークラフトを使用する前に、必ず始業点検を実施してください。安全に関する情報およびボートについての情報のセクションをよく読んで、iControlテクノロジーに習熟しておいてください。

操縦装置や注意事項についてよくわからないことがある場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ウォータークラフトへの乗船

どんなウォータークラフトにも言えることですが、エンジンが回っていない状態で、慎重に乗り込むようにしてください。

警告

ウォータークラフトへの乗船時、あるいはボーディングステップの使用時は、エンジンをオフにしなければなりません。

ドックからの乗船

ドックから乗り込むときは、ハンドルバーを押さえながら、ウォータークラフトのドックに近い方のフットボードに一方の足をゆっくりと置き、同時にもう一方の足に体重をかけてウォータークラフトを安定させます。

続いて、シートを跨ぐようにして、もう一方の足を反対側のフットボードに移してください。ドックを押して、ウォータークラフトをドックから離れさせます。



水深の浅いところでの乗船

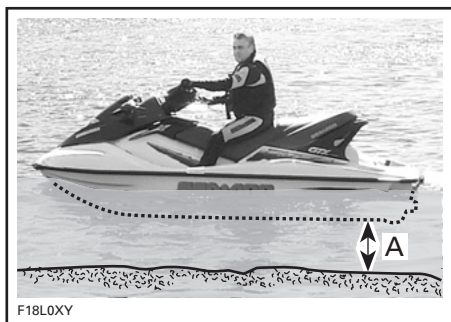
水深の浅いところでは、ウォータークラフトの側面または後方から乗り込んでください。

警告

- エンジンの始動、停止の際やiBRレバーを使用するときは、iBRゲートの動きに気をつけてください。ゲートの自動的な動きによって、後部につかまっている人やPWCに乗っている人の指やつま先を挟み込むことがあります。
- ジェットノズルやインテークグレートに脚を近づけないでください。
- ウォータークラフトに乗り込むときに、ジェットポンプのコンポーネント、ポンプガードやiBRゲートで体を支えようとしないでください。

船体後部の一番低いところの下に少なくとも90 cm (3 ft)の水深があることを確かめてください。

すべての同乗者が乗り込むと、水上では船体が沈むことも考慮してください。ジェットポンプが砂や小石を吸い込んでしまわないように、この指定された水深を必ず保つようにしてください。



- A. すべての同乗者が乗り込んだとき、船体後部の最も低い場所の下に少なくとも90 cm (3 ft)の水深を保ってください。

必ずお読みください

- 水深の浅いところでウォータークラフトのエンジンを始動したり、航行したりすると、インペラーやその他のジェットポンプのコンポーネントを損傷するおそれがあります。
- ステップの中央に乗ってください。
- 同時に2人以上でステップを使用しないでください。

水深の深いところでの乗船

警告

- エンジンの始動、停止の際やiBRレバーを使用するときは、iBRゲートの動きに気をつけてください。ゲートの自動的な動きによって、後部につかまっている人やPWCに乗っている人の指やつま先を挟み込むことがあります。
- ジェットノズルやインテークグレートに脚を近づけないでください。
- ウォータークラフトに乗り込むときに、ジェットポンプのコンポーネント、ポンプガードやiBRゲートで体を支えようとししないでください。
- 経験の浅いオペレーターは、水深の深いところへ出る前に岸の近くで水中から乗船する方法（ここで解説するすべての方法）を練習してください。

オペレーターだけの場合

ウォータークラフトの後ろまで泳いでいきます。

片手を使って、ボーディングステップを下げます。



もう一方の手を使って、ボーディングプラットフォームのグリップハンドルを掴み、ボーディングステップの上で跪けるように自分の体を引き上げてください。



smo2009-002-141

必ずお読みください

- ステップの中央に乗ってください。
- 同時に2人以上でステップを使用しないでください。

片方の手を前方へ伸ばして、シートの後のハンドルを掴み、ボーディングステップの上に立ちます。



smo2009-002-144

シートのストラップを持ってバランスを保ちながら、シートの両側のステップを前進してください。



smo2009-002-145

シートを跨いで座ってください。

オペレーターと同乗者が乗り込む場合

まず、先に説明したのと同じ方法でオペレーターがウォータークラフトに上がります。

波が荒いときは、水中にいる同乗者がウォータークラフトを支えて、オペレーターの乗り込みを助けてあげるとよいでしょう。



smo2009-002-142

両手をシートの後のハンドルに載せて、ボーディングプラットフォームに上がってください。



smo2009-002-143



smo2009-002-146

必ずお読みください

- ステップの中央に乗ってください。
- 同時に2人以上でステップを使用しないでください。

続いて同乗者がウォータークラフトに乗り込みます。このとき、オペレーターはできるだけコンソールの近くに座ってバランスを保ってください。



エンジンの始動方法

1. セーフティランヤード(D.E.S.S.キー)をPFDにつなぎます。

警告

エンジンを始動する前に、オペレーターと同乗者は地元の協会等が認定したPFDなどの身体を保護できる衣服とウェットスーツの下半身部分を着用し、必ずウォータークラフトのシートにしっかり座ってください。

2. 左手でハンドルバーをしっかりと握り、両足をフットボードに置いてください。
3. エンジンのスタート/ストップボタンを押して、電子システムを起動します。
4. インフォメーションセンターがセルフテスト機能を繰り返すので、ポストにD.E.S.S.キーを取り付けます。

警告

ウォータークラフトを始動または操作する場合は、必ずセーフティランヤードをオペレーターの救命胴衣につないでください。

注: ここでD.E.S.S.システムが2回の短いビーブ音以外の警告音を発した場合は、何か修正すべき問題があることを示しています。ビーブコード信号の識別については、トラブルシューティングのセクションを参照してください。

5. スタートボタンを押し続けて、クラックを回しエンジンを始動させます。

必ずお読みください エンジンを始動する前に、すべての同乗者が乗り込んだ状態で船体後部の最も低い場所の下に少なくとも90cm(3ft)の水深があることを確認してください。水深が浅すぎると、インペラーまたはその他のジェットポンプのコンポーネントが損傷するおそれがあります。急発進しないでください。

注: 冷えた、または熱いエンジンを始動するために、スロットレバーを押さないでください。

10秒ほど経ってもエンジンがかからない場合は、2、3秒待ってから再び手順を繰り返してください。

6. エンジンが始動したら、エンジンのスタート/ストップボタンを直ちに放します。

必ずお読みください スターターの過熱を避けるため、スタート/ストップボタンは30秒以上押し続けしないでください。クランキングの間の待ち時間を守り、スターターの熱を冷ましてください。バッテリーが放電してしまわないように注意してください。

7. ゆっくり加速して、深くて広い水面に移動してください。エンジンが暖まるまではスロットルを全開にしないでください。安全な航行を心がけてください。



必ずお読みください 水草の多い場所でのウォータークラフトの使用は避けてください。どうしても避けられない場合は、ウォータークラフトの速度を変化させながら通過してください。

注: D.E.S.S.キーがD.E.S.S.ポストにある間にスタート/ストップボタンでエンジンを停止した場合、約3分以内にスタート/ストップボタンを押すとエンジンを再始動できます。この遅延の後、エンジンを始動させるにはボタンを軽く押すか、あるいはD.E.S.S.ポストのD.E.S.S.キーを取り外して、再度取り付ける必要があります。短いビーブ音が2回鳴って、システムがエンジンを再始動できる状態になったことを知らせます。

エンジンの停止方法

警告

ウォータークラフトの方向制御を維持するため、ウォータークラフトが停止するまで、エンジンを止めないでください。

エンジンを停止するには：

1. エンジンのスタート/ストップボタンを押します。
2. エンジンが停止したら、スタート/ストップボタンをすぐに放します。
3. ウォータークラフトから降りる場合は、D.E.S.S.キーをポストから取り外します。

注: スタート/ストップボタンを押さないうちにポストからD.E.S.S.キーを取り外しても、エンジンを停止できます。これは、ウォータークラフトからオペレーターが落ちた場合の安全機能としての設計です。

警告

ウォータークラフトから降りる場合、盗まれたり、誤ってエンジンを始動したり、子供や他人が許可なく使用したりしないように、必ずD.E.S.S.キーを外してください。

ウォータークラフトの操船方法



F18J09Y

ハンドルバーを回すと、ジェットポンプノズルが軸を中心に向きを変え、ウォータークラフトの進行方向を制御します。ハンドルバーを右に切ると、ウォータークラフトは右へ旋回し、左に切れば左に旋回します。ウォータークラフトを旋回させるときはスロットルを開いてください。

警告

ウォータークラフトの向きを変えるには、スロットルを開いた状態でハンドルバーを回してください。ステアリング効率は、同乗者の人数、荷重、水面のコンディション、および風などの環境要因によっても変化します。

自動車とは異なり、ウォータークラフトを旋回させるにはある程度スロットルを開く必要があります。安全な場所でスロットルを開けながら旋回練習して、想像上の物体を回避する練習を行ってください。これは衝突を避けるための大切なテクニックです。

警告

スロットルを放すと進路を制御しにくくなり、エンジンを止めると進路を制御できなくなります。

同乗者が乗っているとウォータークラフトは異なる挙動を示すようになります。より高い技術が必要となります。同乗者は必ずシートベルトを必ず着用してください。急旋回は避け、波の荒い水面を避けてください。

急回転や他の特別な操作

吸気口の開口が長い時間、水面下にあるような急回転や他の特別な操作を行うと、水がビルジにしみ込みます。

内燃エンジンの運転には空気が必要です。したがって、このPWCを完全防水にすることはできません。

必ずお読みください 狭い円で絶えず回転したり、波を通して船首を激しく上下させたり、ウォータークラフトを転覆させるなど、吸気口の開口が水面下にあると、水がビルジにしみ込み、エンジン内部の重大な損傷の原因になることがあります。このガイドに記載されている保証のセクションを参照してください。

O.T.A.S.™ システム (オフスロットルアシステッドステアリング)

O.T.A.S. (オフスロットルアシステッドステアリング) システムは、オフスロットル状態での追加の操作性を提供します。O.T.A.S. システムは電氣的に起動され、運転者がスロットルを使わないで完全な回転を始めると、少しエンジンの速度を増加させます。ハンドルバーがセンターポジションに戻ると、スロットルもアイドルリングに戻ります。

最初の操船の際に、この機能に慣れておくことをお勧めします。

ニュートラルにする方法

警告

iBRゲートがニュートラルポジションにセットされていても、エンジンが動いているときはドライブシャフトやインペラーは常に回転しています。ウォータークラフトの推進システムには、決して近づかないでください。

ウォータークラフトを始めて始動させると、デフォルトでiBRシステムは自動的にiBRゲートをニュートラルポジションにセットします。

ゲートが前進スラストのポジションにある場合は、iBRレバーを軽く叩いてください。ゲートがニュートラルに移動します。

ブレーキあるいはリバースを使用して、スロットルを使用しないでiBRレバーを放すと、iBRゲートがニュートラルポジションに移動します。

注: iBRレバーを放したときに、iBRゲートをニュートラルポジションに移動させるには、スロットルレバーを完全に放さなければなりません。

前進または後進中にエンジンを停止すると、エンジンが止まったときにiBRゲートはニュートラルポジションに移動します。

前進にする方法

ニュートラルから前進スラストにするには、スロットルレバーを叩いてください。ゲートが前進スラストに移動し、ウォータークラフトは前進で加速します。

リバースから前進スラストにするには、スロットルを少し動かしている間にiBRレバーを放します。

ブレーキから再度前進スラストにするには、iBRレバーを放しながら同時にスロットルレバーを引きます。少し遅れて、ウォータークラフトは前進で加速します。

リバースの使用方法

リバースにできるのは、アイドリング速度から8km/h (5 MPH)の前進の基準速度の間である場合だけです。

後退スラストにするには、左手のハンドルバーのiBRレバーを少なくとも遊びの25%は引っ張らなくてはなりません。

iBRレバーをリバースモードで操作する場合、スロットルレバーを使ってエンジンのRPM、つまり発生する後退スラストの量を制御できます。

iBRレバーとスロットルレバーの両方を同時に調節することで、後退スラストをより正確に制御できます。エンジンの回転数を上げすぎると、水の渦が発生してリバースの効率は低下します。

注: iBRレバーのポジションを変更するたびに、エンジンの出力はアイドリングへ減少します。

iBRレバーを放すと、リバース操作が終了します。

iBRレバーを放した後、後方への速度を止めるには、十分にスロットルを引いて後方への動きを止めます。

警告

後退時は、ブレーキ機能は効果がありません。

リバースモードでは利用できるエンジン出力に限りがあり、後退速度も制限されます。ただし、状況によっては8km/h (5 MPH)以上の後退速度が得られる場合もあります。

警告

リバースは低速でのみ使用し、かつできるだけ短時間にとどめてください。必ず、後退する方向に物、障害や人が存在しないことを確認してください。

リバース操作では、ウォータークラフトの後部を動かしたい方向とは反対の方向へハンドルバーを回してください。

例えば、ウォータークラフトの後部を左舷(左)へ寄せたいときには、ハンドルバーを右舷(右)へ切ります。



代表例 - 後退時、反対側にステアリングを切る

▲ 注意 後退スラストでのステアリングの方向は前進スラスト時とは反対になります。後退時にスターン(船尾)を左舷(左)に操縦するには、ハンドルバーを右舷(右)へ回します。スターン(船尾)を右舷(右)に操縦するには、ハンドルバーを左舷(左)へ回します。狭い場所で操船する前に、制御やウォータークラフトのハンドリングの特性に慣れるために広い水域で後退スラストの操作を練習してください。

ブレーキの使用方法

▲ 警告

- ブレーキを使うには、エンジンが動いていなければなりません。
- ブレーキは前進動作中だけ利用可能であり、後方への速度には効果がありません。
- ブレーキでは、PWCが水流や風によって漂うのを防ぐことはできません。

ブレーキ機能は、8 km/h (5 MPH)の基準速度以上で前進動作中にだけ有効です。

左手のハンドルバーのiBRレバーを少なくとも遊びの25%以上引くと、ブレーキが利き、制御できます。

▲ 警告

制御やウォータークラフトのハンドリングの特性に慣れるために、必ず広い水域で、徐々に速度を上げて、ブレーキを練習してください。

iBRレバーを操作すると、スロットルレバーによる指令に優先し、エンジンのスロットルの制御はiBRレバーのポジションに依存するようになります。こうして、iBRレバーだけを使用して、ブレーキを調整できます。

ウォータークラフトの原則は、ブレーキ力に比例します。より強い力でiBRレバーを引くと、より強くブレーキが利きます。

注: iBRレバーを徐々に作動させてブレーキ力を調整し、同時にスロットルレバーを戻すことに注意してください。

▲ 注意 ブレーキをかける場合、乗員は減速力に対して注意を払い、ウォータークラフト上で前に移動したり、バランスを失うのを防がなければなりません。オペレーターは常に両手をハンドルバーに乗せ、全ての同乗者は必ず、つかみ所、シートのストラップあるいは前に乗っている人の腰をしっかり握っていないとはなりません。

▲ 警告

初速、荷重、風、搭乗者の人数、水面の状況やオペレーターによるブレーキの量などにより、停止距離は大きく変化します。常に、状況に応じてライディングスタイルを調整してください。

ウォータークラフトを8 km/h (5 MPH) 以下の速度に落とすと、ブレーキモードが終了し、リバースモードになります。ウォータークラフトが停止したら、iBRレバーを放してください。iBRレバーを放さないと、後方への動きが始まります。

⚠ 注意 ウォータークラフトは停止するのに時間がかかるので、ウォータークラフト自身が作った波が追いつき、前に押し出す傾向があります。航行する方向に障害物や水遊びをしている人がいないことを確認してください。

iBRレバーを放したときにスロットルレバーを引いていると、少し遅れてウォータークラフトは前進し始めます。加速は、スロットルレバーのポジションに比例します。

⚠ 警告

ブレーキレバーを放したときに前進方向への加速を望まない場合は、スロットルレバーを放してください。

高速で航行していて初めてブレーキをかけると、ウォータークラフトの後方の空中に水柱が急上昇し、後続のウォータークラフトのオペレータが、あなたのPWCをしばらく見失うことがあります。

⚠ 警告

- 船団の形式で後続しようとして
いるウォータークラフトのオペ
レータには、あなたのPWCのブ
レーキや操船能力、水柱が示す
意味、ウォータークラフトの間
十分な距離を保つべきであるこ
とを知らせておくことが重要で
す。
- 近くで後続または航行している
他のボートは、同じように迅速
には停止できないかもしれない
ことに注意してください。

旋回中のブレーキ

方向制御を失わずに旋回するには、スロットルを利かせなければなりません。ただし、前述したように、iBRレバーを使って旋回するとブレーキを利かせられます。PWCと航跡が交差する場合は、バランスを失わないように気をつけてください。

⚠ 注意 旋回中にブレーキをかけてもウォータークラフトが停止するのに時間がかかるので、ウォータークラフト自身が作った波が追いつき、横に押し流す傾向があります。航跡とウォータークラフトが交差する場合は、バランスを失わないように気をつけてください。

可変トリムシステム(VTS)の使用方法

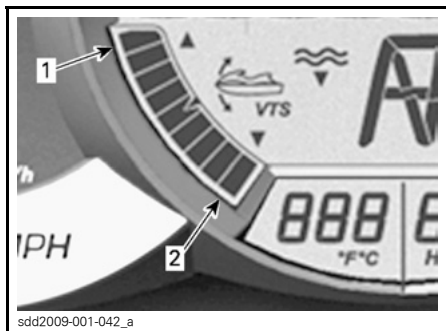
可変トリムシステム (VTS) は、ジェットポンプノズルの垂直ポジションを変えることにより、荷重、推進力、ライディングポジション、水面の状態などに応じた補正をオペレータが手早く効果的に行えるようにするシステムです。このシステムが正しく調整されていれば、ハンドを軽くし、ウォータークラフトの最良のライディング姿勢を維持して、最大限のパフォーマンスを引き出すことができます。

ウォータークラフトを初めて使うとき、オペレータはさまざまな速度と水面の状態を変えて、その使用 (VTS) の慣れおく必要があります。慣れるには、エンジン回転数を徐々に上げ、最適なトリム位置を判断し、それが推奨されるウォータークラフトの調整と効果について、経験を積む絶好の機会になります。

ノズルを上向きにすると、船首は上向きになります。このポジションは高速で航行したい場合に用います。

ノズルを下向きにすると、船首は下向きになり、旋回能力を高めます。どんな角度と鋭さを決めるのは、そのときの状況や動き（動作）です。また、ノズルを下へ向け、それに応じて速度を調整すると、ポートが水面を飛び跳ねるのを減らしたり完全に消すことができます。

注：VTSのポジションは、インフォメーションセンターのバーゲージに表示されます。



インフォメーションセンター—VTSポジションインジケータ

1. バウアップ
2. バウダウン

VTSシステムによって、ノズルのトリムポジションを手動で調整したり、2つのプリセットトリムポジションを選択したり、さらにプリセットトリムポジションを記録または変更できます。

クルーズモードの使用法

クルーズモードは、約3800 RPM以上のエンジン速度の場合に、オペレータが希望するウォータークラフトの最高速度を設定できるiTC(インテリジエントスロットルコントロール)システムの機能です。

長距離の航行、速度制限がある区域での操作、あるいは水上スキーヤーやチューブまたはウェイクボードに乗っている人を曳航している場合など、この機能は便利です。

前進速度を維持するには、オペレータはスロットルを押し続けなければなりません。

最高クルーズ速度を設定すると、オペレータはスロットルレバーを使って、ウォータークラフトの速度をアイドリング速度から設定されたクルーズ速度までの間で変えられます。スロットルレバーを一杯まで押ししても、設定されたクルーズ速度を超えることはできません。

クルーズモードを設定するには：

- 希望する最高クルーズ速度まで加速します。
- 右手のハンドルバーにある[クルーズ]ボタンを約1秒間、押します。
- ずっとスロットルレバーを引いて、設定されたクルーズ速度を維持します。

注：ビーブ音の信号が聞こえ、緑色の[クルーズ]インジケータランプが点灯して、クルーズモードが有効であることが確認できます。

一定のクルージング速度設定の下で進むので、状況に関する注意力をよい状態で保ち続けます。

減速するには、セットポイントよりもスロットルレバーを放すか、あるいはiBRレバーを引っ張ります。

ブレーキのためにiBRレバーを引くと、クルーズモードより優先しますが、クルーズモードは無効にはなりません。

iBRレバーを放して、スロットルを前進スラストまで引くと、クルーズ機能が前に設定されていたウォータークラフト速度に制限します。

クルーズモードを停止するには：

- スロットルレバーを完全に放します。
- クルーズボタンを押して、放します。

注: [クルーズ]ランプが消え、ビーブ音信号が聞こえて、クルーズモードが無効になったことが確認されます。

クルーズボタンを押す前にスロットルを完全に放していなかった場合は、スピードメーター表示の[クルーズ]インジケータランプは点灯したままであり、速度制限がまだ有効であることを示します。スロットルレバーを完全に放した場合だけ、クルーズモードが無効になります。

低速モードの使用法

インテリジェントスロットルコントロールにより、運転者がアイドリング速度を調整、設定できる低速モードが可能になります。この機能は、運転者が障害物の回避に特別な注意を払わなくてはならない低速エリアでの操作で便利です。

オペレータは、から1.6 km/h - 8 km/h (1 MPH - 5 MPH) の間にアイドリング速度を設定できます。

低速モードにするには：

- アイドリングのRPMになるまでスロットルレバーを放します。
- iBRレバーを引いて、放して、ニュートラルにします。
- クルーズボタンを約1秒間、押し続けます。

低速モードでは、加速を止めることなく32 km/h (20 MPH)に近いが、そこまでは達しない速度に普通に加速できます。その速度より速い速度まで加速すると、低速モードが無効になり、スロットルを放すとエンジンはアイドリングのRPMに戻ります。

危険な状況を回避するために、オペレータが停止または急加速をしななければならない場合には、iBRレバーを引くか、スロットルを引けば低速モードが無効になり、オペレータはウォータークラフトを通常通り制御できるようになります。

iS(インテリジェントサスペンション)の操作

インテリジェントサスペンション(iS)システムは、乗員が可動デッキとして座ってられるように設計されています。

シート、コンソール、ハンドルバー、フロントカバー部分と足場などがまとまって、可動デッキを構成します。

サスペンションシステムによって、船体は可動デッキから独立して動作できるので、ウォータークラフトが荒れた水面を航行する際も滑らかな乗り心地になります。

iSシステムには、複数の操作モードがあります。

システムの必ず[自動サスペンション]モードで始動し、[ドック]モードで終了します。

警告

PWCにはインテリジェントサスペンションが装備されています。システムは垂直方向の力の一部を吸収し、身体への影響を低下させますが、完全に除くことはできません。あなたや同乗者が飛び跳ねて、ウォータークラフトから放り出されないように、速度を落としてください。

警告

非常に波が荒い場合の乗船や、波や航跡でジャンプするなどの極端な操船は避けてください。

自動サスペンションモード

一定の時間、エンジンが事前に決められたRPMで動作する場合、サスペンションは自動的に出荷時に設定されている高さになります。この高さは、航行速度における大半のライディング状況に最適です。

iSシステムは常にサスペンションの動きを監視し、水面の状況や乗員の負荷などに対して自動的に補正します。

船体上で可動デッキが高くなると、ウォータークラフトの重心も水面に対して上がります。

一定の時間、ウォータークラフトが事前に決められたRPMより低くなると、サスペンションは自動的に[デッキ]モードの高さまで下がります。

一定の時間、ウォータークラフトが事前に決められたRPMより高くなったり、ハンドルバーを完全に左や右へ切って、激しくブレーキを利かせた旋回に入ると、サスペンションは[ドック]モードの高さに下がり、重心を下げます。

注: 低速で特定の操作を行うと、ウォータークラフトは転覆しやすくなります。

手動サスペンションモード

[手動サスペンション]モードにより、オペレータの好みに合ったサスペンションの微調整ができます。サスペンションの高さは、左のハンドルバーにあるiSボタン([上]または[下]矢印)を使用して調整できます。

サスペンションの高さは、全部で9増分だけ調整できます。

注: iSボタンを使用してサスペンションの高さを変更すると、iSシステムは[手動サスペンション]モードになります。[自動サスペンション]モードを選択するか、ウォータークラフトが停止して再び電源が入るまでは、[手動サスペンション]モードのままです。

サスペンションを[手動サスペンション]モードで使用していて、[自動サスペンション]モードに戻したい場合は、iSボタン([上]または[下]矢印)をダブルクリックします。詳細については、コントロールのサブセクションを参照してください。

ドックモード

iSシステムは[ドックモード自動]または[ドックモードオフ]にセットできます。

ドックモード自動

[ドックモード自動]では、次のような特定の条件に一致した場合にサスペンションを[ドック]モードの高さまで下げて、重心を下げます。

- ウォータークラフトの通常操作の後にエンジンを停止した場合(常に)。
- OTASが起動された場合。
- 一定の時間の間、校正されたRPM以上で動作した後に、オペレータがスロットルを放してRPMが約10秒間アイドリングした場合。

注: サスペンションがドックモードの高さに変わると、多機能表示で[ドックモードオン]メッセージがスクロール表示されます。

ドックモードオフ

サスペンションが[ドックモードオフ]に設定されていると、スロットルを放して10秒以上アイドリングが続いても、サスペンションはドックモードの高さまで下がりません。ただし、エンジンを停止したり、右手または左手のフルブレーキ旋回中にO.T.A.S.を起動すると、サスペンションは自動的に下がります。

ウォータークラフトの電源がオンになり、サスペンションがアップポジションになっていて、iS[下]ボタンをダブルクリックすると、サスペンションが[ドックモードオフ]に設定されていても[ドックモード]の高さに下がります。

ウォータークラフトの電源がオンになり、サスペンションがダウンポジション(ドックモードの高さ)になっていて、iS[下]ボタンをダブルクリックすると、サスペンションは出荷時にプリセットされた高さまで上がります。

警告

低速で特定の操作を行ったり、ドッキングの際は、ウォータークラフトは転覆しやすくなります。可動デッキにより多くの乗員(荷重)が乗っているほど、ウォータークラフトはより不安定になります。

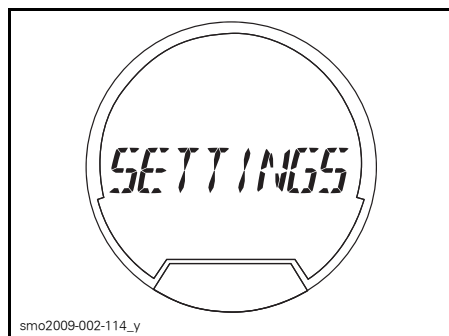
注: レンタルキーまたはラーニングキーを使用していると、常に[ドックモード自動]が有効です。

[ドックモード自動]または[ドックモードオフ]の選択

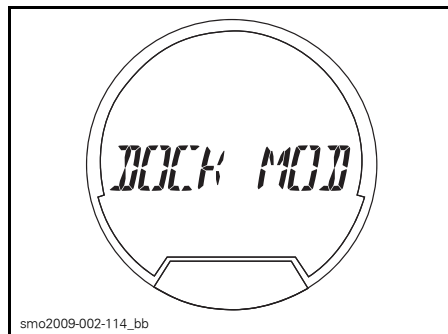
[ドックモード自動]または[ドックモードオフ]を選択できるのは、エンジンが動作してない間だけです。

[ドック]モードを変更するには、以下のステップを実行します。

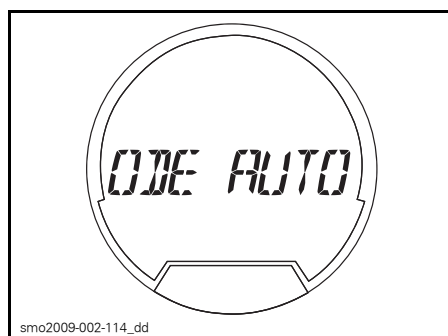
1. スタート/ストップボタンを押して、インフォメーションセンターの電源をオンにします。
2. ポストにD.E.S.S.キーを取り付けます。
3. インフォメーションセンターに[設定]が表示されるまで、[モード]ボタンを繰り返し押します。



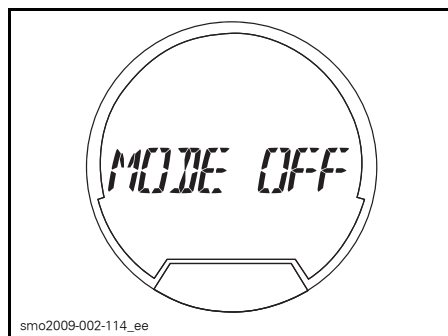
4. [設定]ボタンを押して[ドック]モードを表示させます。



5. [設定]ボタンを押して[ドックモード自動]を表示させます。



6. [上]/[下]矢印ボタンを押して、[ドックモードオフ]の表示と切り替えます。



7. [設定]ボタンを押すか、機能がタイムアウトになるまで待って、設定を保存し、メイン表示に戻ります。

これでエンジンを始動させると、選択した[ドック]モードで運転できます。

⚠ 注意 [ドックモードオフ]でウォータークラフトを操作すると、ウォータークラフトを低速で操作したり、停止しても、サスペンションは自動的に"ダウン"ポジションに変わります。こうすると、重心は高いままになり、安定性を損ね、ウォータークラフトはより転覆しやすくなります。

一般的な推奨

波の荒いときや視界の悪いときの航行

このように条件の悪いときはできるだけ航行を避けてください。どうしても航行しなければならない場合は、最低限の速度で警戒しながら慎重に進んでください。

波を横切るとき

速度を落としてください。

必要に応じていつでもステアリングを操作し、バランスを取れるよう構えてください。

他の船の航跡を横切るときは、必ず先行するウォータークラフトとの間に安全な距離を保ってください。

⚠ 警告

航跡を横切るときは十分に速度を落としてください。オペレータや同乗者は自分の体を支え、衝撃を吸収できるように半立ちの姿勢でいてください。波や航跡でジャンプしないでください。

注: このウォータークラフトには、荒い水面や航跡を航行する際の衝撃を緩和できるサスペンションシステム(iS)が装備されています。非常に荒れた水面や大きな航跡では、必ず半立ちの姿勢でいなければなりません。オペレータは必要に応じて速度を落としたり、乗っている人が落とされないように注意しなければなりません。

停止 / ドック入れ

スロットルを放すと、船体が水を引っ張り、ウォータークラフトは減速します。停止距離はウォータークラフトのサイズ、重量、速度、水面の状況、風や潮流の有無とその向きによって変わってきます。

iBRシステムは、減速や迅速な停止にも使用できますし、ドック入れの際の操作性を向上させるためにも使用できます。



異なる状況での停止距離に慣れるために、オペレータは広い水域で様々な速度で練習すべきです。ブレーキを部分的、あるいは全面的にかけた場合のウォータークラフトのハンドリング特性に慣れるために、特に直進や旋回でのiBRシステムを使用した停止の練習をするべきです。

警告

広い水域でブレーキをかける場合、必ず周囲、特に後方に他のウォータークラフトやボートがないことを確認してください。あなたでいきなり水路の他の人達の前で急停止することになり、彼らが余裕をもって操作や停止ができない場合があります。

高速で航行していて初めてブレーキをかけると、ウォータークラフトの後方の空中に水柱が急上昇し、後続のウォータークラフトのオペレータが、あなたのPWCをしばらく見失うことがあります。

警告

船団の形式で後続しようとしているウォータークラフトのオペレータには、あなたのPWCのブレーキや操船能力、水柱が示す意味、両者の間に十分な距離を保つべきであることを知らせておくことが重要です。

また、オペレータは利用できる様々なコントロール(iBRレバーやスロットルレバー)を使用して、想像上のドックでドック入れの練習もしておくべきです。

予定の上陸地点から逆算して、十分に手前からスロットルを戻してください。

アイドリング状態まで減速します。

iBRレバーとスロットルレバーを組み合わせた操作、ニュートラル、リバーズや前進へのシフト変更などが必要です。

後進中は、ステアリングの方向が逆になることを覚えておいてください。後進中は、ハンドルバーを左に回すと船尾は右に動き、逆も同様です。

警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。ウォータークラフトを後進させている場合、ステアリングの方向は逆になります。

浜辺に乗り上げるとき

必ずお読みください ウォータークラフトを直に浜辺に乗り上げることは推奨できません。

浜辺に向かってゆっくり近づき、船体の後部の最も低い部分の下の水深が90 cm (3 ft)以下になる前にスタート/ストップボタンまたはD.E.S.S.キーを使ってエンジンを止め、ウォータークラフトを浜辺まで引いていきます。

必ずお読みください 水深が浅すぎる場所でウォータークラフトを走らせると、インペラー、iBRコンポーネント、またはその他のジェットポンプのコンポーネントが損傷するおそれがあります。水深が90 cm (3 ft)以下になる前に必ずエンジンを止め、リバーズやブレーキは決して使わないでください。



特殊な手順

ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃

警告

エンジンがかかっているときはインテークグレー特に近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡むことがあります。

水草、貝殻、あるいはその他の異物が、インテークグレー特、ドライブシャフトおよび/またはインペラーに引っかかったり、絡んだりすることがあります。ウォーターインテークが詰まると、次のようなトラブルの原因になります：

- キャビテーション：推進力が低下するため、エンジンの回転を上げてもウォータークラフトが低速でしか進まず、ジェットポンプのコンポーネントを損傷するおそれがあります。
- オーバーヒート：エキゾーストシステムを冷却する水の流れはジェットポンプの作動に依存しているため、インテークが詰まるとエンジンのオーバーヒートの原因になり、エンジン内部の部品が損傷するおそれがあります。

水草が詰まった部分は、次のような手順で清掃することができます：

水中での清掃

エンジンが始動しない程度にエンジンスタート/ストップボタンを瞬間的に繰り返して押しながら、ウォータークラフトを左右に数回揺さぶります。大半の場合は、これで詰まりが解消されるはずですが、エンジンが始動して、ウォータークラフトが正常に作動するか確認してください。

また、上記の方法で効果がなければ、次のような方法も試してみてください：

- エンジンがかかっている状態で、スロットルを開ける前に、iBRレバーをリバースのポジションに入れ、すばやく数回スロットルを変動させてみます。
- 必要に応じて、この手順を繰り返します。

まだシステムが詰まっているようなら、ウォータークラフトを水中から揚げて清掃します。陸上での清掃を参照してください。

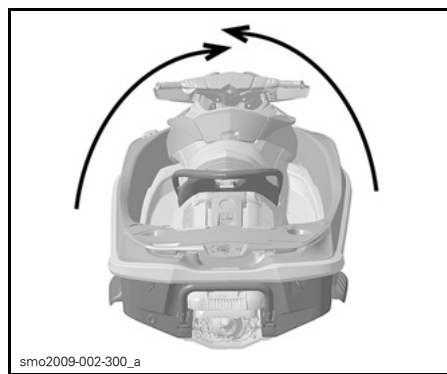
陸上での清掃

警告

ジェットポンプまわりの清掃を行う場合は、誤ってエンジンを始動しないように、必ずD.E.S.S.キーをポストから取り外してください。

清掃のためウォータークラフトを横倒しにしたときにキズがつかないように、ウォータークラフトの脇に厚紙かカーペットを敷きます。

清掃のためにウォータークラフトを左右どちらかに回転させるように傾けます。



smo2009-002-300_a

代表的な例

ウォーターインテークまわりを清掃してください。それでもシステムの詰まりが解消されない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

必ずお読みください 清掃と併せて、ウォーターインテークグレートに損傷がないか点検してください。必要があれば、Sea-Doo 認定ディーラーに修理を依頼してください。

ウォータークラフトが転覆したとき

ウォータークラフトは簡単には転覆しないように設計されています。船体の両サイドにはスポンソン（浮き）が取り付けられており、ウォータークラフトの安定性をさらに高めています。ただし、一度転覆してしまうと、自力では復帰しません。

警告

ウォータークラフトが転覆しているときは、エンジンの再始動を試みないでください。オペレーターと同乗者は認定された救命胴衣を着用してください。

ウォータークラフトを正立状態に戻すには、まずエンジンが止まっていること、D.E.S.S.キーがポストから外れていることを確かめてから、インレットグレートをつかみ、側面のバンパーレールに足をかけ、体重を利用してウォータークラフトをどちらかの方向へ回転させてください。

注：船尾のフラッシングコネクター付近のラベルに、ウォータークラフトを正立状態に戻す方法が記載されています。ウォータークラフトが転覆した場合に正しく読めるように、ラベルは上下逆になっています。



smo2009-002-153_a

4-TEC™ エンジンには、転覆時保護システム (T.O.P.S.TM) を備えています。ウォータークラフトがひっくり返ると、エンジンは自動的に停止します。

ウォータークラフトが本来の姿勢に戻ると、通常通りにエンジンを始動できます。

必ずお読みください ウォータークラフトが5分間以上転覆していた場合は、水を吸い込んでエンジンが損傷するのを避けるため、クランキングを試みないでください。できるだけ早く Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

必ずお読みください エンジンがクランキングをしない場合は、それ以上、始動を試みないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。できるだけ早く Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

できるだけ早いうちにビルジ内に水が入っていないか点検してください。岸に戻ったら、必要に応じてビルジ内の排水を行います。

ウォータークラフトが水没したとき

エンジンの損傷を最小限にとどめるため、できるだけ早いうちに次の手順を行ってください。

ビルジの排水を行ってください。

塩水に沈んだ場合は、散水用ホースを使ってビルジとすべてのコンポーネントを真水で洗い流し、塩水による腐食を防いでください。

必ずお読みください エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトをSea-Doo認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

必ずお読みください 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。

エンジン内に水を吸い込んだとき

必ずお読みください エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトをSea-Doo認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

必ずお読みください 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。また、適切なエンジンの整備を受けないと、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

水上でのウォータークラフトの曳航

Sea-Doo ウォータークラフトを水上で曳航するには、いくつかの特別な注意を払う必要があります。

推奨される最高曳航速度は、24 km/h (15 MPH) です。

これによって、エキゾーストシステムに水が入り、さらにその水がエンジンに流れ込んで溜まってしまふことを防ぐことができます。エンジンが回っていないときは排気の圧力がなく、エキゾーストアウトレットから水を排出できないためです。

必ずお読みください これを行わないとエンジンに損傷を及ぼすおそれがあります。自力で動けなくなったウォータークラフトを曳航しなければならぬ場合、24 km/h (15 MPH) の最高曳航速度より遅い速度を維持してください。

メンテナンス情報

メンテナンスのスケジュール

ウォータークラフトを安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。



メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切にウォータークラフトを維持しないと、安全な作動を損ねます。

このスケジュールは、使用条件や用途に応じて調整する必要があります。ウォータークラフトを集中的に使用した場合は、より頻繁に点検やメンテナンスを実施する必要があります。

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: デイラー	最初の10時間						注記:
	25時間または3ヶ月ごと						
	50時間または6ヶ月ごと						
	100時間または1年ごと						
	200時間または2年ごと						
	実施者						
部品/タスク							
エンジン							
エンジンオイル ⁽¹⁾ とフィルタ	R			R		D	(1) 毎回の乗船前にレベルを確認。
ラバーマウント	I			I		D	
腐食防止			L			O	
スーパーチャージャークラッチ				R ⁽²⁾		D	(2) メンテナンスチャートの後の注記1を参照してください。
エキゾーストシステム							
エキゾーストシステム	I			I、C ⁽³⁾		D/O	(3) 塩水または汚れた水で使用する場合は毎日洗浄。
冷却システム							
ホースの状態と締め付け具	I					D	(1) 毎回の乗船前にレベルを確認。
冷却液 ⁽¹⁾	I			R		D	
燃料システム							
燃料キャップ、フィルターネット、燃料タンク、燃料タンクストラップ、燃料ライン、接続	I			I ⁽⁴⁾		D	(4) 保管期間または100時間使用後のどちらか先に訪れた時期に交換。
燃料システム漏れテスト	I			I		D	
スロットルボディ	I			I		D	
エアインテークシステム							
エアインテークサイレンサー	I			I、C		D	—
クランクケースベンチレーションバルブ				I、C		D	
電気系マネジメントシステム							
EMSセンサー	I			I		D	—
故障コード(ECM, iBR, iS, クラスタ)	I			I		D	

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: デイラー	最初の10時間						
	25時間または3ヶ月ごと						
	50時間または6ヶ月ごと						
	100時間または1年ごと						
	200時間または2年ごと						
	実施者						
部品/タスク	注記:						
電気システム							
スパークプラグ	I			I	R	D	—
電気系コネクター類の状態と締め付け (イグニッションシステム、始動システム、燃料インジェクター、ヒューズボックスなど)	I			I		D	(5) 毎回の乗船前に点検。 (6) 毎月一度、点検。必要に応じて、電解液を追加してください。
D.E.S.S.キー/ポスト ⁽⁵⁾	I			I		D	
モニターブザー	I			I		D	
バッテリーと締め付け具	I			I	(6)	D	
ステアリングシステム							
ステアリングケーブルと接続	I			I		D	—
ステアリングノズルブッシング	I			I		D	
ETCとiBRレバー				I, L (7)		D	(7) メンテナンスチャートの後の注記2を参照してください。
推進システム							
カーボンリングとラバーブース(ドライブシャフト)	I			I		D	(4) 保管期間または100時間使用後のどちらか先に訪れた時期。 (8) 毎月点検(塩水ではより頻繁に)および必要に応じて交換。
インペラーブート	I			I		D	
インペラーシャフトシール、スリーブ、Oリング				I	(4)	D	
ドライブシャフト/インペラーズプライン				I, L		D	
犠牲陽極(装備されている場合)					(8)	D	
インペラーとインペラーウエアリングのクリアランス	I			I		D	
ポンプマウント	I			I		D	

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: デイラー 部品/タスク	最初の10時間						注記:
	25時間または3ヶ月ごと						
	50時間または6ヶ月ごと						
	100時間または1年ごと						
	200時間または2年ごと						
	実施者						
iBR(インテリジェントブレーキおよびリバース)システム							
iBR ゲートの反動	I			I		D	—
iBRサポートプレート	I			I		D	
iBR摩擦プレート	I			I		D	
iBR接続アームおよびスリーブ	I			I		D	
iBR Uレバー	I			I		D	
iBRロッキングスリーブ	I			I		D	
iBR保護ガード	I			I		D	
iS(インテリジェントサスペンション)システム							
iSオイル ⁽⁹⁾	I			I		D	(9) ポンプリザーバーオイルのレベルとシステムの漏れを点検。
iSポジションセンサー	I			I		D	
船体とボディ							
船体 (ハル)	I			I		O	—
ライドプレートとウォーターインテークプレート	I			I		O	

注記 1: インフォメーションセンターに“スーパーチャージャーにメンテナンスが必要 (MAINTENANCE SUPERCHARGER)”というメッセージが表示された場合や、100時間の運行毎またはライディングスタイル(速度、エンジンの回転数、水面の状況など)によってはそれ以前にスーパーチャージャークラッチの交換が必要です。これは、エンジン管理システムによって決定します。スーパーチャージャークラッチは、メッセージ表示から5時間以内にSea-Doo認定ディーラーによる整備を必要とします。インフォメーションセンターにリマインダーが表示される前にメンテナンスを実行した場合であっても、スーパーチャージャーのメンテナンス時間のカウンターをリセットするために、B.U.D.S.を使用してスーパーチャージャーのメンテナンスのリマインダーをリセットしなければなりません。

注記 2:iTCレバーおよびiBRレバーは、自由に動くことを確認するため、レバーを押して放して点検しなければなりません。内部のレバーおよびスプリングの機構に摩擦が感じられる場合、レバーを取り外して清掃し、磨耗や潤滑を点検しなければなりません。

10時間点検

実使用時間が最初に10時間を過ぎた時点で、Sea-Doo認定のウォータークラフトディーラーによるボートの点検を受けることを強くお奨めします。最初のメンテナンスは非常に重要であり、怠ってはなりません。

注: この10時間点検はPWCのオーナーの費用負担で行われるものです。

この点検の際は、Sea-Doo認定のウォータークラフトディーラーによる署名を受けることを推奨いたします。

10時間点検の日付

認定ディーラーの署名

ディーラー名

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。必要な機械に関するスキルや工具を持っている場合は、ご自身でこれらの手順を実行することも可能です。そうでない場合は、Sea-Doo認定ウォータークラフトディーラーにご相談ください。

警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼動部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

警告

ロック用部品(ロックングタブ、セルフロックング締め付け具など)の取り外しが必要な場合は、常に新しいものと交換してください。

必ずお読みください エンジンコンパートメントやビルジ内に物体、ウエス、工具などを入れたままにしないでください。

エンジンオイル

推奨エンジンオイル

XP-S夏季用オイル(P/N 293 600 121)を使用してください。

XPSTMエンジンオイルが使用できない場合は、ウェットクラッチ互換の10W40 鉱物エンジンオイルを使用してください。

注: XPSエンジンオイルは、スーパーチャージャークラッチの機能を損なう添加物を含んでいないことが十分にテスト済みです。

必ずお読みください 決して合成オイルは使用しないでください。スーパーチャージャークラッチの適切な操縦を損ないます。推奨オイルには何も添加しないでください。BRP推奨以外の鉱物オイルは添加物(フリクション・モディファイア)を含むことがあり、スーパーチャージャーの不適切な滑り、また早過ぎる磨耗の原因となります。この理由から、推奨オイルはXPS夏季用オイルかBRP認定同等品に限られます。BRP推奨以外のオイルを使用した場合は、BRP限定保証が無効になります。

エンジンオイルレベル

必ずお読みください オイルレベルは頻繁にチェックし、必要に応じて補充してください。入れすぎではありません。オイルレベルが不適切なまま使用を続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。

注意 エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

オイルレベルの点検は水上でも、またはウォータークラフトを水から上げた状態でもかまいません。

ウォータークラフトが水から上がっているとき

必ずお読みください ウォータークラフトは水平でなければなりません。

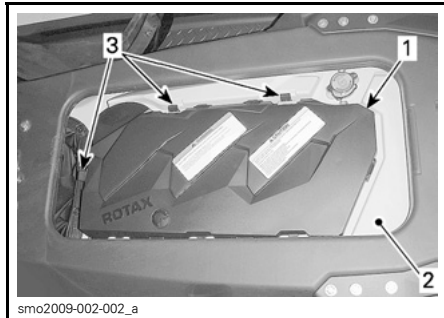
警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。

1. トレーラー曳航用ポール等によって、ウォータークラフトのバンパーレールが水平になるように傾きを調整します。

- シートを開けて、デッキ部分からベンチレーションボックスを取り外し、エンジンコンパートメントに部分的にアクセスできるようにします。

注: ベンチレーションボックスを取り外すには、留めている3つのクリップを外して、デッキ部分を持ち上げるだけです。



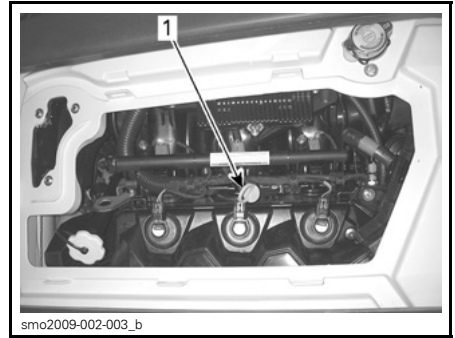
1. ベンチレーションボックス
2. デッキ部分
3. 保持クリップ

3. エキゾーストシステムのフラッシングコネクタに散水用ホースをつないでください。このセクションのエキゾーストシステムを参照して、手順に従ってください。

必ずお読みください

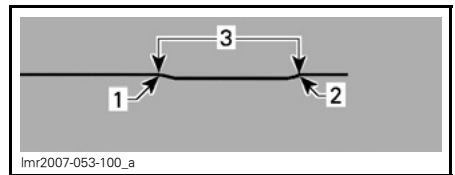
- エキゾーストシステムに水を供給しないでエンジンをかけることは決してしないでください。エキゾーストシステムの冷却を失敗すると、重大な損傷を与える可能性があります。
 - エンジンを5分間以上回さないでください。ウォータークラフトが水から上がっているときは、ドライラインシールが冷却されないためです。
4. エンジンが既に通常の作動状態にある場合は、30秒間アイドルさせた後でエンジンを止めてください。

5. オイルがエンジンで落ち着くまで、少なくとも30秒間は待ってから、オイルレベルゲージを抜いてきれいに拭き取ります。



1. オイルレベルゲージ

6. オイルレベルゲージを奥まで完全に差し込んで、元通りに取り付けます。
7. もう一度オイルレベルゲージを外して、オイルレベルを読み取ってください。[満タン]と[給油]のマークの間にあるはずです。



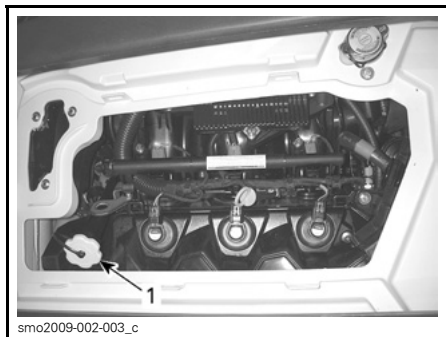
1. 満タン
2. 給油
3. 動作範囲

8. 適正なレベルになるまでオイルを補給してください。

オイルを補給するには:

- オイルキャップをはずします。
- オイルフィルターのネック部分にある開口にじょうごを入れます。
- 推奨オイルを適切なレベルまで給油します。

注: 入れすぎではありません。



1. オイルフィルターキャップ

注: エンジンに給油するたびに、このセクションで説明された手順を完全に必ず実行してください。この手順を守らないと、正しいオイルレベルを知ることができません。

9. オイルキャップとオイルレベルゲージを正しく元通りに取り付けます。

エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo認定ディーラーに依頼してください。

エンジン冷却液

推奨エンジン冷却液

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

注: 入手可能であれば、アルミニウム製内燃エンジン用の生物分解性不凍液をお奨めします。これは環境保護に有効です。

冷却システムは水と不凍液の水溶液（水50%、不凍液50%）で満たさなければなりません。

BRPでは、(-37°C (-35°F))までの凍結防止能力を持つプレミックスクーラント (P/N 293 600 038)を発売しています。

注: ウォータークラフト使用時特に暑い天候や水温が高い場合、不凍液水40%と脱塩水60%の混合を使用して冷却効率を高めることができます。

不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドの不凍液を使ってください。冷却システムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、ブランドの異なる不凍液を混ぜないでください。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

エンジン冷却液レベル



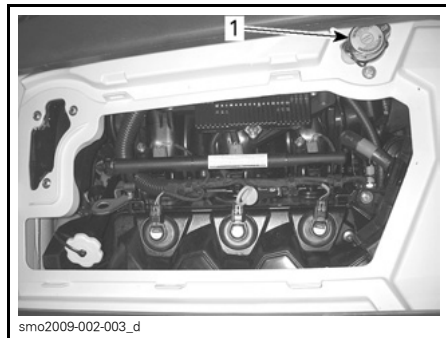
冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが熱いときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

注意 エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

シートを開きます。

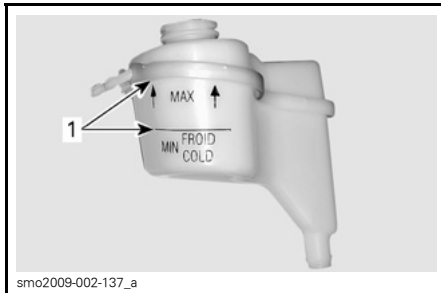
ベンチレーションボックスを取り外します。手順については、「エンジンオイルレベル」を参照してください。

リザーバータンクのキャップを探します。



代表的な例
1. リザーバータンクのキャップ

船体が水平になっている状態で、エンジンが冷えているとき、冷却液のレベルはリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。



代表的な例 - 冷却液リザーバータンク

1. エンジンが冷えているときにレベルがこのマークの間にあること

注: ウォータークラフトは水上に浮かんでいるときは、水平になります。トレーラーに載っているときは、トレーラー曳航用ポール等で上げて、バンパーレールが水平になるように傾きを調整します。

必要に応じて、冷却液レベルがマークの間に来るように冷却液/脱塩水を補充します。こぼさないように、じょうごを使ってください。入れすぎではありません。

フィルターキャップを正しく元通りに取り付けて締め、ベンチレーションボックスも元通りに取り付けて、シートを閉じます。

注: 頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

エンジン冷却液の交換

冷却液の交換はSea-Doo認定ディーラーに依頼してください。

エキゾーストシステム

エキゾーストシステムの洗浄

真水によるエキゾーストシステムとインタークーラーの洗浄は、水に含まれる塩分やその他の化学物質による

腐食効果を中和するために必要不可欠です。また、これによってウォータージャケットおよび/またはホース内の砂、塩、貝殻などの異物がある程度まで取り除くこともできます。

警告

この作業は換気のよい場所で行ってください。

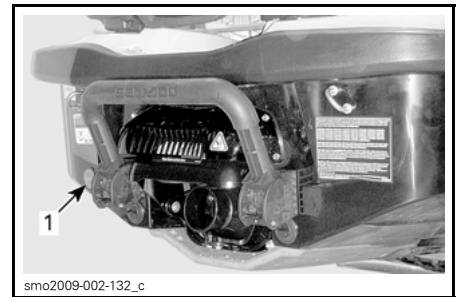
次の手順に従ってください：

ジェットポンプのインレットとアウトレットに水を吹きかけて洗い、その後でXPSループコーティング剤または同等品を塗布してください。

警告

ウォータークラフトを水から上げた状態でエンジンを回すと、ライドプレートの熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、ライドプレートには触れないようにしてください。

ウォータークラフトの後部(船尾の左舷)に位置するコネクターに散水用ホースをつなぎます。この場合、水栓は開けないでください。

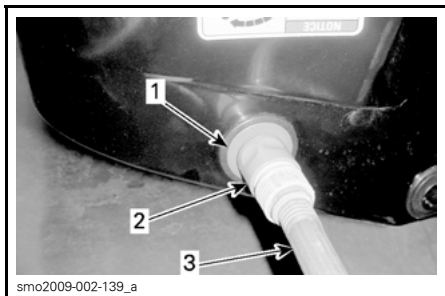


1. フラッシングコネクターの位置

注: オプションのクイックコネクタアダプターおよびホース金具を使用できます(P/N 295 500 473)。エンジンの洗浄には、ホースピンチャーは必要ありません。



smo2009-002-138
クイック接続ホースアダプター



smo2009-002-139_a

代表的な例

1. ホースアダプター（オプション、必ずしも必要ありません）
2. クイックコネクット金具（オプション、必ずしも必要ありません）
3. 散水用ホース

洗浄を行うには、まずエンジンをかけてから、その後ただちに水栓を開いてください。

⚠ 注意 エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。エンジンが回っている間は、電気系の部品やジェットポンプまわりに触れないでください。

必ずお読みください まだエンジンが冷えていない場合は洗浄を行わないでください。必ずエンジンを始動してから、水栓を開けてください。オーバーヒートを防ぐため、エンジンがかかったらすぐに水栓を開けてください。

エンジンを4000 ~ 5000 RPMの高速アイドリングで約20秒間回します。

必ずお読みください ウォータークラフトを水から上げている場合、エキゾーストシステムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

洗浄している間、ジェットポンプから水が流れ出てくることを確認してください。水が出て来ない場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

必ずお読みください エンジンを5分間以上回さないでください。ウォータークラフトが水から上がっているときは、ドライブラインシールが冷却されないためです。

先に水栓を閉めてから、その後エンジンを止めます。

必ずお読みください 必ず水栓を閉めてから、エンジンを止めてください。

必ずお読みください 洗浄作業を終えたら、クイックコネクットアダプターを取り外してください（使用した場合）。

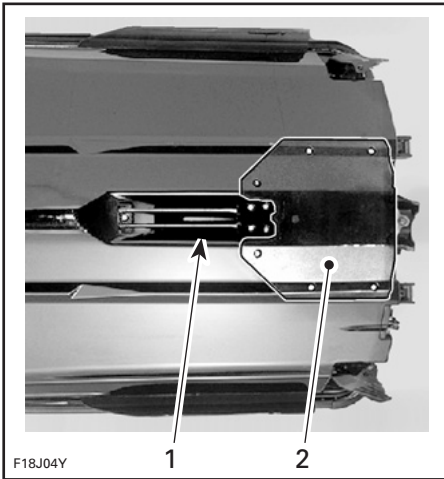
ライドプレートとウォーターインテークグレート

ライドプレートとウォーターインテークグレートの点検

ライドプレートとジェットポンプのウォーターインテークグレートに損傷がないか点検します。損傷した部品の修理や交換については、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

⚠ 警告

インテークグレート(point check)する場合は、必ず事前にD.E.S.S.キーをポストから取り外してください。



代表的な例—これらの部分を点検

1. ウォーターインテーク
2. ライドプレート

ジェットポンプ、ノズルおよびiBRゲート

点検、メンテナンス、清掃や異物の取り出しなどでジェットポンプ、ノズル、iBRゲートや様々なリンケージに簡単にアクセスできるように、iBRシステムにはインフォメーションセンターからアクセスできるiBR優先機能が用意されています。

iBR優先が有効な場合、ユーザーはVTSコントロールボタンを使って、iBRゲートやノズルを可動範囲全体で電氣的に動かします。

注: iBR優先機能が利用できるのは、エンジンが動作してない間だけです。

警告

iBR優先機能を使用してiBRゲートを動かす場合、ウォータークラフトの後部周辺に人がいないことを確認してください。ゲートが動いて、指などを挟みこむ場合があります。

必ずお読みください iBR優先機能を使ってiBRゲートを動かしたときに、iBRゲート、ノズルやリンケージに物体や工具が挟まると、iBRコンポーネント、ノズルやリンケージの損傷の原因となります。iBRゲートを動かす前に、障害となる全ての堅い異物を取り除いてください。

警告

iBRゲート、ノズルやリンケージに入っている異物を取り除くために手を入れる必要がある場合、必ず事前に以下を守ってください。

- ポストからD.E.S.S.キーを取り外す。
- 5分以上待つ。
- 決してスタート/ストップボタンを押さない。スタート/ストップボタンを押してしまったら、さらに5分以上待つ。

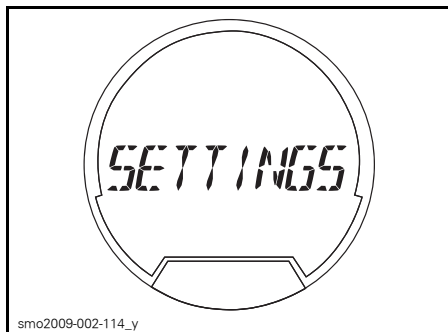
iBR優先機能

iBR優先機能を有効にするために、以下の手順を実行します。

1. ランヤードをつないで、短くスタート/ストップボタンを押して電気システムの電源をオンにします。

注: エンジンは始動させません。セルフトテスト機能が終了した後も、インフォメーションセンターの全ての表示が消えないように、ランヤードをつないでおきます。約3分間、電源はオンになっています。

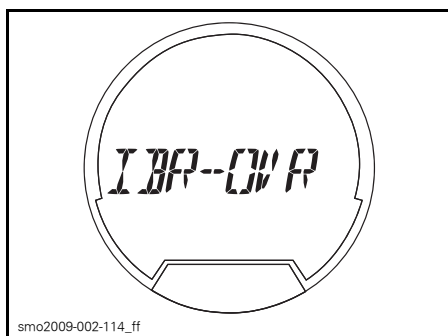
2. インフォメーションセンターのデジタル表示に[設定]が表示されるまで、右手のハンドルバーの[モード]ボタンを押します。



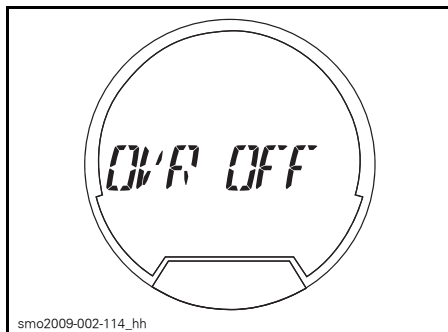
3. [設定]ボタン(右手のハンドルバー)を押して[ドック]モードを表示させます。



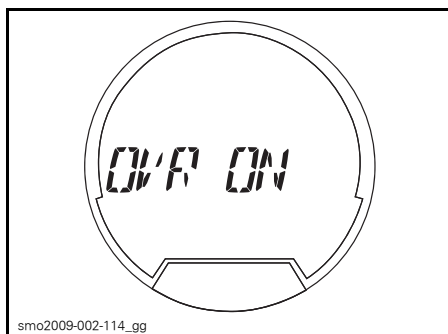
4. [上]/[下]矢印ボタンを押して、[iBR OVR]を表示させます。



5. [設定]ボタンを押すと、[iBR OVR]機能に入り、[OVR OFF]と表示されます。



6. [上]/[下]矢印ボタン(右手のハンドルバー)を押して、[OVR ON]を表示させます。



7. [設定]ボタンを押して、[OVR ON]機能を選択します。ゲージは、通常の表示に戻ります。

8. VTSの[上]または[下]矢印ボタンを押して、iBRゲートを動かします。

iBR優先機能を無効にするには、3つの方法があります。

1. 前記の手順を繰り返し、[OVR OFF]が表示されているときに[設定]ボタンを押します。
2. 電源がオフになるのを待ちます。
3. エンジンを始動させます。

注: エンジンが始動すると、[iBR OVR]機能が無効になり、iBRゲートはニュートラルポジションに移動します。

警告

iBR優先機能を使用してiBRゲートを動かす場合、ウォータークラフトの後部周辺に人がいないことを確認してください。ゲートが動いて、指などを挟みこむ場合があります。

ボディと船体**ボディと船体の清掃**

時々、船体および様々なコンポーネントを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗ってください。エンジンおよび/または船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。シリコンワックスなど、研磨剤の入っていないワックスを塗布します。

必ずお読みください ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンやその他の強い化学または石油タイプのクリーナーなどは使用しないでください。

シートやファイバーグラス部分の汚れは、「Knights Spray-Nine」[†]またはその同等品で取り除ける場合があります。

カーペットを清掃するには、3MTMシトラススペースのクリーナー(24 oz スプレー缶)または同等品を使用してください。

警告

表面がつるつるになり、乗船者がウォータークラフトから落ちるかもしれないので、カーペットやシートにはプラスチックまたはビニル製のプロテクターは付けしないでください。

環境を守るため、燃料、オイル、洗浄用溶剤などを水路に流さないでください。

スピードタイのロープの清掃

スピードタイ部分や係留ロープを使用可能な状態に保つには、最低限度のメンテナンスが必要です。

ロック機構や係留ロープを真水で洗って、塩分、砂あるいはその他の堆積物を取り除きます。

必ずお読みください スピードタイ部分を洗う際は、高圧の水は使わないでください。

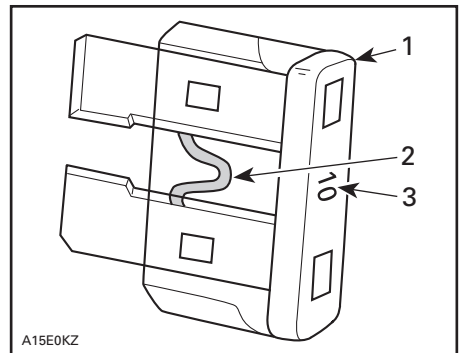
乾燥させてください。

ヒューズ**ヒューズの取り外しと取り付け**

ヒューズの取り外しがしやすいように、ヒューズボックス内にあるヒューズリムーバー/インストローラーを使用します。

ヒューズの点検

電気系に問題が生じたときはヒューズを点検してください。ヒューズが溶けている場合は、同じ定格値のヒューズと交換します。



代表的な例

1. ヒューズ
2. 溶けていないか確認
3. 定格アンペア値

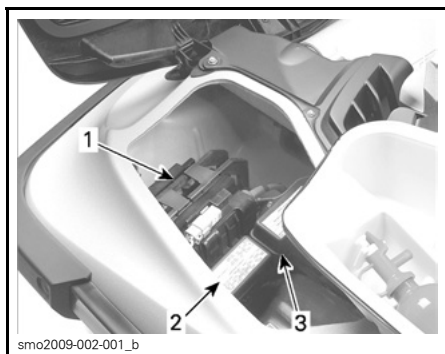
警告

本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。重大な損傷の原因になることがあります。ヒューズが溶けた場合は、再始動をする前に問題の原因を特定して、修理を行ってください。修理についてはSea-Doos認定ディーラーに問い合わせてください。

ヒューズの位置と説明

ヒューズボックスにアクセスするには、ボーディングプラットフォームを開けます。

右手の後部ストレージビンを固定している2つのプラスチック製のリベットを取り外し、固定デッキからストレージビンを取り外します。ヒューズボックスはストレージビンの真下にあり、バッテリーホルダーにつながっています。



代表的な例

1. バッテリーホルダー
2. ヒューズボックス
3. リレーヒューズボックス

ヒューズボックスカバーを取り外すには、両方のロックングタブを同時につまみ、そのままヒューズボックスカバーを引いて開けます。

注: ヒューズの定格と場所は、ヒューズボックスカバーに図示されています。

ヒューズ	説明	場所
3 A	インフォメーションセンターゲージ	ヒューズボックス
3 A	深度計 (装備されている場合)	
5 A	iSコントロール	
5 A	iBRコントロール	
10 A	燃料ポンプ	
10 A	1番シリンダー (イグニッションコイルと燃料噴射)	
10 A	2番シリンダー (イグニッションコイルと燃料噴射)	
10 A	3番シリンダー (イグニッションコイルと燃料噴射)	
3 A	O.T.A.S.スイッチ	
5 A	スターターソレノイド	
3 A	キャップ	リレーヒューズボックス
30 A	充電	
30 A	バッテリー	
30 A	iS	
30 A	iBR	
15 A	ECM	
3 A	スタート/ストップボタン	
3 A	GPS	
15 A	診断機能コネクタ	

使用後のお手入れ

海洋微生物などの繁殖を防ぐため、ウォータークラフトは毎日水から上げてください。



警告

メンテナンス作業を行う前に、十分にエンジンの熱を冷ましてください。

エキゾーストシステムの洗浄

ウォータークラフトを塩水や汚れた水で使用した場合、エキゾーストシステムは毎日洗浄しなければなりません。

メンテナンスの手順を参照してください。

注: スーパーチャージャー付きモデルでは、インタークーラーも同時に洗浄してください。

泥水や塩水で使用した場合の追加の手入れ

ウォータークラフトを泥水や特に塩水で使用した場合は、ウォータークラフトとそのコンポーネントを保護するため、さらに追加の手入れを行う必要があります。

ウォータークラフトのビルジ部分を真水で洗い流してください。

ビルジ部分を洗うために高圧洗浄器を使用しないでください。低水圧だけを使用してください(例、散水用ホース)。

高圧の水は電気系統や機械系統の損傷につながる可能性があります。

必ずお読みください 次のような適切な手入れを行わないと:ウォータークラフトを塩水で使用した場合、ウォータークラフトのすすぎ、エキゾーストシステムの洗浄、防蝕処理などを行わないと、ウォータークラフトとそのコンポーネントの損傷につながります。また、直射日光が当たるところでウォータークラフトを保管しないでください。

保管、シーズン前の準備

保管

警告

燃料とオイルは可燃性です。定期点検チャートでも指定されているように、燃料システムの機能の点検はSea-Doo認定ディーラーにご依頼ください。

長期保管の前には、Sea-Doo認定ディーラーでウォータークラフトの整備を受けることを推奨していますが、次のような作業はあなた自身が最小限の工具で実施できます。

注: このセクションで説明されている通りの順番で以下の作業を実行してください。

必ずお読みください 保管中はエンジンをかけないでください。

燃料システムの保護

Sea-Dooガソリン安定化剤(または同等品)を燃料タンクに注入すると、ガソリンの劣化や燃料システムのゴミ質の堆積を防止できます。正しい使い方については、安定化剤のメーカーの使用上の注意に従ってください。

必ずお読みください 燃料システムを良好な状態で維持するために、保管時には燃料安定剤を追加することを強く推奨いたします。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。常に換気のよい場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合がありますので、キャップを開けるときにはゆっくりと回してください。裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ずウォータークラフトから拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

エキゾーストシステムの洗浄

メンテナンスのセクションで説明されている手順を実行します。

エンジンのオイル交換とオイルフィルター交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo認定ディーラーに依頼してください。

インタークーラーの排水

インタークーラーの結露によって溜まる水を放出することが重要です。

次の手順に従ってください：

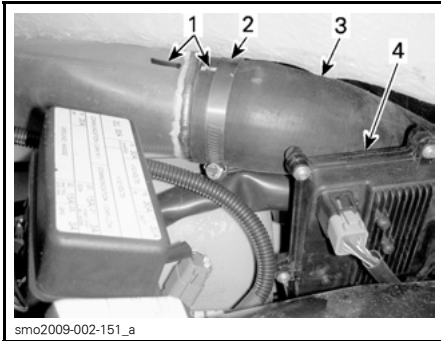
1. ボーディングプラットフォームを開け、右手のストレージピンを取り外します。
2. インタークーラーのアウトレットホースに調整線が描かれていることを確認してください。これによ

り、再取り付け時にホースが燃れていたり、振れていないことを確認できます。

3. インタークーラーのアウトレットホースを保持しているクランプを緩めます。
4. インタークーラーからアウトレットホースを取り外します。

注: このホースは、スロツトル本体のインレットに供給します。

5. インタークーラーから放出される水から保護するために、iSモジュールに二、三枚のぼろ布を掛けてください。



1. ホースの調整線
2. ホースのクランプ
3. インタークーラーのアウトレットホース
4. iSモジュール

6. 何度か、エンジンを始動し、4000 RPMまで回転速度を上げてください。

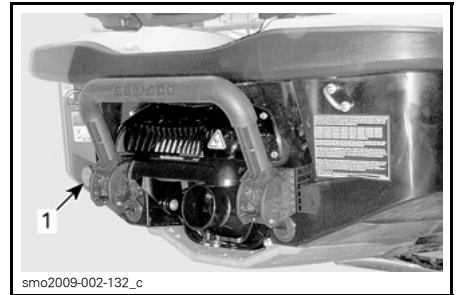
注: エンジンに重大な損傷を与えるおそれがあるので、エアインテークシステムが異物を吸い込まないように気をつけてください。

7. エンジンを止めます。
8. インタークーラーのエアアウトレットホースを再度取り付けて、エンジンが適切に作動するように取り外す前と同様に正しく調整されているかを確認します。

エキゾーストシステムの保護

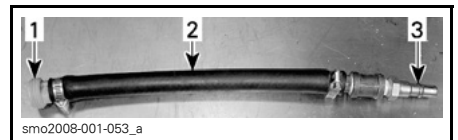
凍結温度まで下がる場所では、エキゾーストシステムやインタークーラーに溜まった水を取り除かなければなりません。

船尾の左舷側にあるフラッシングコネクタを使って、ジェットポンプからそれ以上水が流れないようにするまで、379 kPa (55 PSI)の圧力がかった空気をシステムに噴射します。



1. フラッシングコネクタ

排水手順を簡単にするため、次のホースを組み立てることができます。



代表的な例

1. フラッシングコネクタアダプター
2. ホース12.7 mm (1/2 in)
3. エアホース雄アダプター

必ずお読みください エキゾーストシステムを排水しないと、インタークーラー(スーパーチャージャー付きモデル)やエキゾーストマニホールドに重大な損傷が起きるおそれがあります。

エンジン内部の潤滑シートを開きます。

エンジンの上にあるエアベンチレーションボックスを取り外します。

イグニッションコイルのコネクタを外してください。

警告

スパークプラグからコイルを外すときは、必ずメインハーネスとコイルの接続を先に外してください。エンジンコンパートメント内では、外したコイルおよび/またはスパークプラグから火花が飛ぶかどうかを確かめないと、気化した燃料がスパークで爆発するおそれがあります。

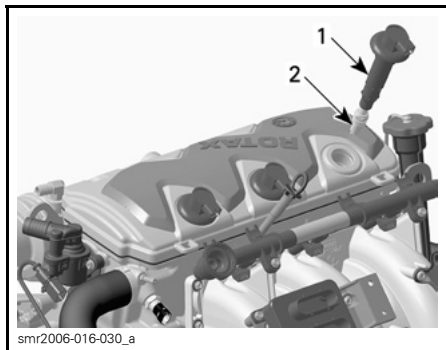
重要: イグニッションコイルコネクターを固定しているロッキングタイを切断しないでください。どのケーブルをどのシリンダーに接続するかわからなくなってしまう。

イグニッションコイルを取り外してください。

必ずお読みください スパークプラグを取り外す前に、スパークプラグホールに埃がないことを確認してください。シリンダーに埃などが落ちると、エンジン内部の部品が損傷します。

スパークプラグを取り外してください。

注: スパークプラグを緩めた後、コイルを使ってスパークプラグを取り出すことができます。コイルをスパークプラグに挿入し、プラグにひっかけて、スパークプラグをホールから引き抜きます。



1. イグニッションコイル
2. スパークプラグ

スパークプラグホール内にXPSループ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。

燃料が噴出したたり、エンジンのクランク中にイグニッションが無効にならないように、以下を行ってください。

エンジンが止まっている状態でスロットルレバーをいっぱいまで押し、クランキングをしている間、ハンドルバーに対して開いたままで保持します。

クランキングによってエンジンを数回回転させ、シリンダーウォールにオイルを行き渡らせてください。

スパークプラグのねじ山に焼き付き防止潤滑剤を塗布し、スパークプラグを元通りエンジンに取り付けます。

注: スパークプラグにイグニッションコイルを挿入する前に、スパークプラグホールに触れるシール部分周辺にDOW CORNING 111 (P/N 413 707 000) グリースを少量塗布します。取り付け後、シールがエンジン上面に正しく納まっていることを確認してください。

イグニッションコイルを元通りに取り付けます。イグニッションコイルコネクターを元通りに接続してください。

エンジンまわりに水気が残っていれば、きれいに拭き取ってください。

散水用ホースを取り外します。

注: XPSループでエンジンバルブのフォギングを行うことを推奨いたします。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

エンジン冷却液のテスト

不凍液を交換しないなら、密度をテストしてください。

不凍液の交換と比重テストは、Sea-Doo認定ディーラーに依頼してください。

注: 不凍液の劣化を防ぐため、200時間ごと、あるいは2年ごとに不凍液を交換してください。

必ずお読みください 不凍液の密度が適切でないと、気温が氷点下になる場所にウォータークラフトが保管された場合、冷却システム内で液体が凍るおそれがあります。これはエンジンに重大な損傷を及ぼします。

バッテリーの取り外しと充電

Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

警告

ウォータークラフトに取り付けたまま、バッテリーを充電またはブーストしないでください。

ビルジの清掃

ビルジを温水と洗剤、またはビルジクリーナーで清掃します。洗った後はよくすすいでください。ウォータークラフトのフロント部分を持ち上げて、ビルジドレンプラグからビルジ内の水を完全に排水してください。

ボディと船体の清掃

ボディを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗います。洗った後は真水でよくすすいでください。船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。

必ずお読みください ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンやその他の強い化学または石油タイプのクリーナーなどは使用しないでください。

ゲルコート部分の修理については、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。傷んだラベルやデカールは交換してください。

ボディと船体の修理

船体やボディのコンポーネントに修理が必要な場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。機械的な部分のタッチアップ塗装には、BRPスプレーペイントをお使いください。

ウォータークラフトの保護

ボディに品質の良い船舶用ワックスを塗ってください。

シートは部分的に開けておいてください。エンジンコンパートメントの結露と、それによる腐食の可能性を防ぐことができます。

ウォータークラフトを屋外に保管する場合は、太陽光線と汚れがプラスチック製コンポーネントやウォータークラフトの仕上げを損なったり、ホコリが堆積したりするのを防ぐため、不透明な防水カバーで覆ってください。

必ずお読みください ウォータークラフトを水に浮べたまま長期間保管しないでください。また、直射日光が当たるところでウォータークラフトを保管しないでください。ウォータークラフトをビニール製の袋に入れて保管しないでください。

シーズン前の準備

定期点検チャートに従ってメンテナンスの準備を実施します。

100時間ごとまたは1年間の項目に記載されている全作業を必ず実施してください。

一部の作業は技術的スキルと特殊工具を必要としますので、Sea-Doo認定ディーラーに実施を依頼してください。

注：シーズン前の準備と同時に、メーカーの改良キャンペーンの実施をSea-Doo認定ディーラーに依頼されることを強く推奨いたします。

警告

定期点検チャートで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れていないコンポーネントやシステムについては、定期的にSea-Doo認定ディーラーに整備を依頼されることを推奨いたします。

必ずお読みください コンポーネントの状態がよくないと思われる場合は、BRP純正部品または認定された同等品とだけ交換してください。

技術情報

ボートの識別

ウォータークラフトの主要な構成要素（エンジンと船体）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けることや、盗まれないために、ウォータークラフトを探するときなどに、これらの番号を確認する必要があります。

船体識別番号

船体識別番号（H.I.N.）は、ウォータークラフト後部のフットボードの上にあります。



代表的な例

1. 船体識別番号(H.I.N.)

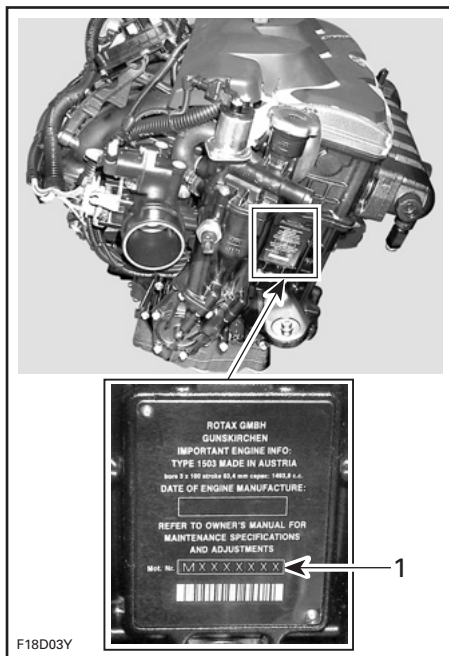
これは12桁の数字で構成されています：

YDV 12345 L 8 09
年式
製造年
製造月
製造番号 (数字の代わりにアルファベットが使われることもあります)
製造者

エンジン識別番号

注：各モデルにどのエンジンが使われているかを調べるには、仕様のセクションを参照してください。

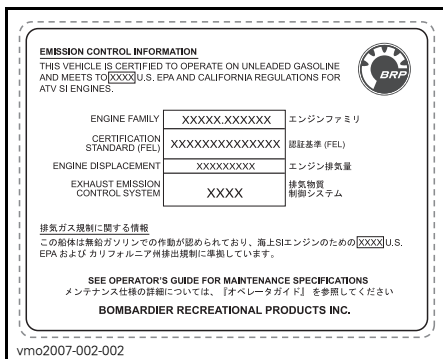
エンジン識別番号（E.I.N.）はエンジンの前端にあります。



代表的な例

1. エンジン識別番号(E.I.N.)

EPA適合ラベル



EPA適合ラベルは、フロントベンチレーションボックスのライザーにあります。

フロントカバーを開けて、フロントストレージビンを取り外して、後を見ると、ラベルが見えます。



1. 適合ラベル
2. ベンチレーションボックス
3. ライザー

エンジンの排出ガスに関する情報

注: 排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、船舶用SI (スパークイグニッション) エンジンの修理工場または個人なら誰でも実施できます。

製造者の義務

1999年型以降のエンジンについて、船舶用エンジンのPWC製造者は各エンジン出力分類に応じて有害排出物レベルを測定し、アメリカ合衆国環境保護局 (EPA) によるエンジンの認証を受けなければならないとなりました。これに伴い、有害排出物のレベルとエンジンの仕様を表示した排出ガス制御情報ラベルを、製造の時点で船に貼付しなければなりません。

ディーラーの義務

排出ガス制御情報ラベルを貼付された1999年型以降のすべてのSea-Dooウォータークラフトの整備を行う場合、各部の調整はメーカー指定の公表された仕様値以内でなければなりません。

排出ガス関連コンポーネントの交換または修理は、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持できるような方法で行われなければなりません。

ディーラーでは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を行ってはいけません。

高度調整などのように、メーカーの指示による変更は例外とします。

オーナーの義務

オーナー/オペレーターには、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持するためのエンジンのメンテナンス実施が要求されます。

オーナー/オペレーターは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様

値を超えるようなエンジンの改造を自ら行ったり、誰かに行わせてはなりません。

EPA排出ガス規制

BRPが製造した1999年型以降のすべての新しいSea-Dooウォータークラフトは、ウォータークラフト用エンジンによる大気汚染防止のための規則の要求事項に適合した製品として、EPAの認証を受けています。この認証は特定の調整箇所をメーカー基準に合わせることで条件となります。このため、製品の整備に関するメーカーの指定手順は厳密に守られなければならない、現実的に可能な限り、設計の当初の意図に忠実な形で行われなければなりません。

以上に挙げたそれぞれの義務は概説的なものでしかなく、船舶用エンジンの有害排出物に関するEPAの要求事項に関連した規則と規制の完全な一覧ではありません。この件についてより詳しい情報をお求めの場合は、下記にお問い合わせください：

U.S. Environmental Protection Agency (アメリカ合衆国環境保護局)

Office of Transportation and Air Quality
1200 Pennsylvania Ave. NW
Mail Code 6403J
Washington D.C. 20460

EPAのインターネットウェブサイト:
<http://www.epa.gov/otaq>

仕様

船体		RXT IS 255	GTX LIMITED IS 255
エンジン			
タイプ		Rotax® 4-TEC™, シングルオーバーヘッド カムシャフト (SOHC)	
		255 hp	
シリンダ数		3	
バルブ数		12バルブ (気筒あたり 4バルブ) 油圧リ フター付き (調整不要)	
排気量		1 494 cm ³ (91.2 in ³)	
吸気システム	タイプ	スーパーチャージャー付き外部インタークーラー	
	電子式スロットルボディ	60 mm (2.4 in)	
ボア		100 mm (3.9 in)	
ストローク		63.4 mm (2.5 in)	
圧縮比		8.4:1	
冷却		クローズループシステム	
電気システム			
イグニッション		IDI(誘導放電点火)	
スターター		電気	
バッテリー		12 V、30 A•h、電解液タイプ	
スパークプラグ	メーカーと型式	NGK、DCPR8E	
	ギャップ	0.75 mm (0.03 in)	
推進			
推進システム		Sea-Doo直接駆動	
ジェットポンプ	タイプ	軸流式、単段。ラージハブと 10-ベーンスターター	
	材質	アルミニウム	
インペラー		ステンレス	
トランスミッション	タイプ	電子式 : iBR、直接駆動(前進/ニュートラル/リバース)	
VTS	タイプ	手動およびプリセットポジショニング対応電子式	

船体		RXT IS 255	GTX LIMITED IS 255
寸法			
全長	353.5 cm (139.2 in)		
幅	122.4 cm (48.2 in)		
高さ	127.7 cm (50.3 in)		
重量および積載量			
重量(乾燥時)	430 kg (948 lb)		
乗員数(最大許容荷重を参照)	1、2または3名		
保管能力	62 L (16.4 U.S. gal.)		
最大許容荷重 (乗員 + 荷物)	226 kg (500 lb)		
燃料、オイル、冷却液			
燃料	タイプ	無鉛	
	最小オクタン価	北米 : (87 (RON + MON)/2)	
		北米以外 : 92 RON	
	最適な性能のために推奨されるオクタン価	北米 : (91 (RON + MON)/2)	
		北米以外 : 95 RON	
タンク容量	70 L (18.5 U.S. gal.)		
エンジンオイル	タイプ	XPS 夏季用オイル。 詳細はメンテナンスのセクションを参照してください。	
	容量	3 L (2.7 U.S. qt) フィルター付きオイル交換	
冷却システム	冷却液タイプ	エチレングリコール 50%/水 50%の不凍液/脱塩水。アルミニウム製内燃エンジン用の腐食防止剤入り冷却液	
	容量	5.5 L (5 U.S. qt) 総量	

注: BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良を行う権利を留保します。

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン

エンジンが始動しない

1. D.E.S.S.キーが取り外されている。
 - D.E.S.S.キーをポストに取り付けます。
2. ECMがD.E.S.S.キーを認識しない。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. ヒューズが切れている:メイン、電気スターター、またはECM。
 - 配線を点検し、ヒューズを交換してください。
4. バッテリーが放電している。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

警告

ウォータークラフトに取り付けたまま、バッテリーを充電またはブーストしないでください。電解液は有毒で危険です。目に入らないように、また皮膚や衣服に触れないように注意してください。

5. バッテリー接続部の腐食または緩み。アース不良。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
6. エンジンが水を吸った。
 - 特殊手順のエンジンが水吸込んだときを参照してください。
7. センサーまたはECMの異常。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
8. ジェットポンプが回らない。
 - 異物を取り除いてみてください。異物が絡んだのではない場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

エンジンがゆっくりとクランクする

1. バッテリーケーブルの接続が緩んでいる。
 - 点検/清掃/締め付けを行ってください。
2. バッテリーが放電しているか、弱っている。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. スターターが弱っている。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

クランクは回るが、エンジンが始動しない

1. 燃料タンクに燃料が入っていない、または水が混入している。
 - 燃料を補給してください。残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を入れてください。
2. スパークプラグが汚れている、またはプラグの異常。
 - 交換してください。
3. ヒューズが切れている。
 - 配線を点検し、ヒューズを交換してください。

クランクは回るが、エンジンが始動しない Japanese

4. エンジンが水を吸った。
 - 特殊手順の *エンジンが水吸込んだとき* を参照してください。
5. エンジンマネジメントシステムの異常を検出(エンジンのパイロットランプがオンであることを確認)。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。
6. 燃料ポンプの異常。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのミスファイア、不安定な回転

1. スパークプラグがかぶっている/プラグの異常/電極の摩滅。
 - 交換してください。
2. 燃料：残量が少なすぎる、または燃料が古くなっているか水が混入している。
 - 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
3. イグニッションコイルの異常。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。
4. インジェクターの詰まり。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。
5. エンジンマネジメントシステムの異常を検出(エンジンのパイロットランプがオンであることを確認)。
 - *モニタリングシステム* を参照してください。

エンジンから煙が出る

1. オイルレベルが高すぎる。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。
2. 水の吸い込み、冷却液の漏れ、損傷したシリンダーヘッドガスケット。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。
3. エンジン内部の損傷。
 - *Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのオーバーヒート

1. エキゾーストシステムが詰まっている。
 - エキゾーストシステムを洗浄します。
2. エンジン冷却液のレベルが低すぎる。
 - *メンテナンスの珽* を参照してください。
3. フラッシングコネクタにクイックコネクタアダプターを取り付けたままになっている。
 - フラッシングコネクタからアダプターを外して、もう一度ウォータークラフトを走らせてみます。問題が解消されない場合は、*Sea-Doo*認定ディーラーにご相談ください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

1. ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。
 - 清掃してください。特殊環のセクションの *ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃* を参照してください。
2. インペラーの損傷またはウエアリングの磨耗。
 - 交換してください。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. オイルレベルが高すぎる。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
4. 点火火花が弱い。
 - エンジンのミスファイア、燃焼不良、不安定回を参照してください。
5. エンジンマネジメントシステムの異常を検出(エンジンのパイロットランプがオンであることを確認)。
 - モニタリングシステムを参照してください。
6. インジェクターの詰まり。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
7. 燃圧が低い。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
8. 燃料に水が混入。
 - 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
9. 水の吸入によるエンジンの損傷。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ウォータークラフトが最高速度に達しない

1. ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。
 - 清掃してください。特殊環のセクションの *ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃* を参照してください。
2. インペラーの損傷またはウエアリングの磨耗。
 - 交換してください。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. エンジンマネジメントシステムの異常を検出(エンジンのパイロットランプがオンであることを確認)。
 - モニタリングシステムを参照してください。
4. スーパーチャージャーまたはインタークーラーの異常(スーパーチャージャー付きモデル)。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

iBRレバーの操作後、ウォータークラフトがニュートラルのままである

1. iBRゲートがニュートラルのままである。
 - アイドリングのRPMになるまでスロットルを放します。
 - [クルーズ]ボタンを押して、低速モードを起動します。
 - 低速モードを使用して岸に戻ります。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

iBRがニュートラルポジションに戻らない(iBRインジケータランプはON)

1. iBRに異物が詰まっている。
 - iBRゲートやノズルの部分を清掃し、損傷がないか点検します。
2. iBRシステムの異常。
 - D.E.S.S.キーを取り外し、4分間待って、キーを再び取り付けて、故障が解消されたかiBRランプを点検します。
 - 故障が続くか、頻発するなら、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

iBRがニュートラルポジションに戻らない(iBRインジケータランプはOFF)

1. 操作中、スロットルレバーが完全にリリースされない。
 - スロットルレバーを完全にリリースして、iBRゲートがニュートラルに戻るか確認します。
2. リリースしても、スロットルレバーが完全に元に戻らない。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

推進システムからの異常な騒音

1. 水草や異物がインペラーに絡み付いている。
 - 清掃してください。特殊珊瑚のセクションのジェットポンプウオーターインテークとインペラーの清掃を参照してください。
 - 損傷がないか点検します。
2. インペラーシャフトまたはドライブシャフトの損傷。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. ジェットポンプに水が入り、ベアリングが焼き付いた。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

ビルジ内に水が入った

1. ベイラーシステムの異常。
 - Sea-Doo認定ディーラーにシステム点検を依頼してください。
2. エキゾーストシステムが漏れる。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
3. ドライブシャフトのカーボンリングの磨耗。
 - Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

モニタリングシステム

EMS(エンジンマネージメントシステム)、iBR、iSなどの電子部品やその他の電気系コンポーネントは、システムによってモニターされています。何らかの故障が起こると、システムはインフォメーションセンターに視覚的メッセージを表示したり、あるいは警告音による警告を行ったり、あるいは特定の状態が生じていることを知らせます。

故障コードが記録されます。

軽度または一時的な故障が発生した場合、故障の原因となった状況が解消すれば、故障メッセージやピーブ音は自動的に消えます。

スロットルを完全に戻してエンジン回転数がアイドリングまで落ちると、通常の作動に復帰する場合があります。それでも復帰しない場合は、D.E.S.S.キーを一度ポストから外して、再度取り付け直してみてください。

電子システムは故障の種類によって異なる対応をします。重大な故障の場合は、エンジンが始動できなくなることがあります。その他の場合には、エンジンは応急帰還モードで作動します(速度低下)。

故障が起きた場合は、できるだけ早くSea-Doo認定ディーラーを訪れ、点検を受けてください。

故障コード

故障が発生すると、故障のタイプやシステムによって、数字の故障コードが記録されます。

これらの故障コードは、Sea-Doo認定ディーラーがウォータークラフトのトラブルシューティングの際に故障リストと比較して使用します。

故障コードはインフォメーションセンターの多機能表示で表示されますが、この機能は故障が続いている場合にだけ利用できます。

有効な故障コードがある場合、オペレーターは多機能表示で見ることが出来ます。次に、オペレーターはSea-Doo認定ディーラーに連絡して、故障コードを伝えます。ディー

ラーはオペレーターに問題を解決するための手順について助言を与えるか、ウォータークラフトの使用を止めて、修理のためにディーラーへ運ぶように伝えます。

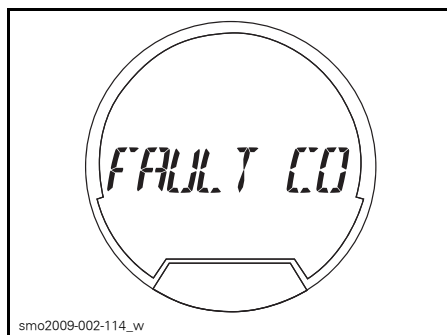
故障コードの表示

多機能表示で[故障コード]機能が表示されるまで、[モード]ボタンを繰り返し押しします。

[設定]ボタンあるいは[上]または[下]矢印ボタンを押して機能に入り、最初の故障コードを表示させ、次に[上]または[下]矢印ボタンを繰り返し押して、以後のコードをそれぞれ表示させます。

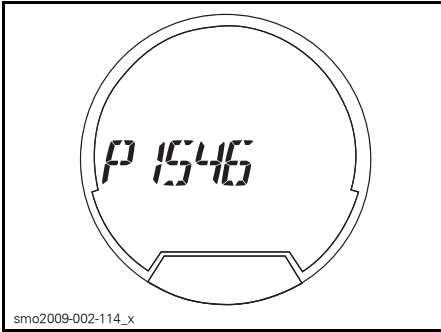
注:最後の故障コードを表示して、再度ボタンを押すと、システムは最初に表示した故障コードに戻り、全ての故障コードが再び表示されます。[故障コード]モードに入ったときに1つの有効な故障コードがあり、それが発生済み(もはや有効ではない)になっている場合、[有効な故障コードなし]メッセージがスクロール表示されます。

[故障コード]表示機能を終了するには、[モード]ボタンまたは[設定]ボタンを一度押します。この機能には、タイムアウトはありません。



smo2009-002-114_w

故障コード表示機能



smo2009-002-114_x

インジケータランプおよびメッセージ表示の情報

インフォメーションセンターのインジケータランプ(パイロットランプ)やメッセージ表示は、特定の状態または例外が発生したことを知らせます。

インジケータランプの情報については、インフォメーションセンター(ゲージ)を参照してください。

代表的な例 - エンジンの故障コードの例

メッセージ表示情報	
RIGHT KEYPAD ERROR(右キーパッドのエラー)	ゲージコントロールボタンの作動不良
LOW OIL PRESSURE(エンジンの油圧が上がらない)	エンジンの油圧低下を検出
HIGH EXHAUST TEMPERATURE(排気温度が高い)	排気温度の上昇を検出
HIGH TEMPERATURE(エンジン高温)	エンジン温度の上昇を検出
CHECK ENGINE(エンジン点検の必要あり)	エンジンシステムの作動不良、またはメンテナンスが必要
HIGH BATTERY VOLTAGE(バッテリーの電圧が高い)	バッテリーの電圧上昇を検出
HIGH BATTERY VOLTAGE(バッテリーの電圧が低い)	バッテリーの電圧下降を検出
LIMP HOME MODE(応急帰還モード)	重度の故障を検出、エンジン出力を制限
FUEL SENSOR DEFECTIVE(燃料センサー異常)	燃料レベルのセンサーが故障
WATER TEMP SENSOR DEFECTIVE(水温センサー異常)	iBRに問題、水温情報が送信されない。
DEPTH SENSOR DEFECTIVE(水深センサー異常)	水深センサーに問題
CALIBRATION CHECKSUM ERROR(校正チェックサムエラー)	クラスタのプログラミングにエラー
MAINTENANCE REQUIRED(メンテナンスが必要)	ウォータークラフトのメンテナンスが必要
SUPERCHARGER MAINTENANCE REQUIRED(スーパーチャージャーのメンテナンスが必要)	スーパーチャージャーのメンテナンスが必要

必ずお読みください 油圧が低下したままエンジンを回し続けると、エンジンに重大な損傷を及ぼす可能性があります。

ブザーのコード情報

ブザーのコード	説明
1回の長いビーブ音 (D.E.S.S.キーをウォータークラフトのポストに取り付けているとき)。	D.E.S.S.システムの接続不良。 D.E.S.S.キーを再度ポストに正しく取り付けます。
	間違ったD.E.S.S.キー。 そのウォータークラフト用にプログラムされたD.E.S.S.キーを使用してください。
	D.E.S.S.キーの異常。 プログラムされた別のD.E.S.S.キーを使用してください。
	D.E.S.S.キーに塩水が入り、乾いて塩の結晶ができている。 D.E.S.S.キーをきれいにし、塩水を取り除いてください。
	D.E.S.S.ポストの異常。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	ECMの誤作動または配線ハーネスの異常。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
15分間隔で2秒間のビーブ音	ウォータークラフトが上下逆さまになっている。 ウォータークラフトを正しい向きにしてください。特殊な手順を参照してください。
	エンジンマネジメントシステムの異常。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
5分間隔で2秒間のビーブ音	燃料残量が少ない。 燃料の補給。問題が解消されない場合は、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	燃料タンクのレベルセンサーまたは回路の異常。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
ビーブ音が鳴り続ける	エンジン冷却液の温度が高い。 エンジンのオーバーヒートを参照してください。
	排気温度が高い。 Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	油圧の低下。 できるだけ早くエンジンを止めてください。オイルレベルを点検し、必要があればオイルを補給します。Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。

必ずお読みください モニタリングシステムのブザーが鳴り続ける場合は、ただちにエンジンを止めてください。

保証

BRP限定保証 -米国およびカナダ: 2009 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト

1. 適用範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下“BRP”とします)* は、米国50州およびカナダの認定Sea-Dooディーラー(以下に定義します)によって販売されたモデル年2009 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトについて、指定の期間の間、下記の条件のもとで素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合、この限定保証は無効になります：(1) Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合；または(2) Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトを、変えられたが、その動作、パフォーマンスまたは耐久性に悪影響を与えるような方法で改変、修正した場合；(3) または、意図された使用を変えるために改変、修正した場合。

このSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトが納入される際に、BRP認定ディストリビューター/ディーラー(その定義は以下に示します)によって取り付けられたすべてのBRP純正部品およびアクセサリは、パーソナル・ウォータークラフト本体と同じ保証を受けるものとします。

BRPは、特定の2009 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトにGPSレシーバーを標準装備として提供します。GPSレシーバーには、GPSレシーバー製造業者の限定保証が適用され、本限定保証は適用されません。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3. 除外規定

以下は保証対象ではありません：

- 通常の磨耗および消耗品；
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害；
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；

- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害；
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷；
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）；
- 水の吸入による損傷；
- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、プリスター（ふくれ）またはプリスターに起因するファイバーガラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび；および
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらのみには限定されないその種の損害。

4. 保証適用期間

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトはカリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図して製造されており、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はそれらの州の住民に登録されます。関係するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

1. 個人使用の所有者の場合は、連続する12ヶ月間。
2. 業務用使用の所有者の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。
3. 上記に加えて、排出ガス制御を操作する排出ガス関連コンポーネント（下記のリストを参照）は、連続する24ヶ月間またはエンジン使用200時間のどちらか早い方の期間適用されます。

排出ガス関連コンポーネント
スロットルポジションセンサー(TPS)
気温センサー(ATS)
気圧センサー(APS)

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます：

- 2009年モデルSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトとは、その販売が行われた国においてSea-Dooパーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されているBRPディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです(“BRPディーラー”);
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません;
- 2009 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトはBRP認定ディーラーによって正しく登録されなければなりません;
- 2009 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトは、購入者が居住する国で購入する必要があります;
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が現れた際はSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの使用をやめなければなりません。お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うBRPディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRP認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいSEA-DOO純正部品と交換することに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトのオーナーへの販売のキャンセルまたは撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

1. 旧所有者がBRP(下記の電話番号)またはBRP認定ディーラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる；
2. BRPまたは正規BRPディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

9. 消費者への支援

このBRP限定保証に関連して議論または論争が生じた場合、BRPはまず問題をディーラーレベルで解決すべく努力されることをお勧めします。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

それでも問題が解決されない場合は、ご不満の内容を書面で提出するか、下記の適切な番号までお電話ください：

カナダの場合

Bombardier Recreational Products Inc.
Customer Assistance Center
(消費者支援センター)
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, QC J1L 1W3
電話番号: 819 566-3366

米国の場合

BRP US Inc.
Customer Assistance Center
(消費者支援センター)
7575 Bombardier Court
Wausau WI 54401
電話番号: 715 848-4957

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2008 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社の登録商標。

4-TEC®エンジン搭載の2009年モデル SEA-DOO®パーソナル・ウォータークラフト に対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定

カリフォルニア州では、Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトにはカリフォルニア大気資源委員会が規定した特別な環境ラベルを貼ります。ラベルには、1、2、3、4スターがあります。パーソナル・ウォータークラフトの品質表示票にはスター等級システムの意味が説明されています。

スターラベルは、クリーンな船舶用エンジンを意味します
クリーンな船舶用エンジンの記号：



F18L3CQ

クリーンな空気と水
より健康的なライフスタイルと環境。

燃料節約

燃料節約 従来の気化2ストロークエンジンと比べてガソリンとオイルの燃焼を30-40パーセント減らし、資金と資源を節約します。

排気ガス保証の延長

消費者が心配なく操業できるよう保護します。

1スター-低排出

1スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2001年排気物質基準を満たしていることを示します。この基準を満たすエンジンは、従来の気化2ストロークエンジンより排気物質を75%削減します。これらのエンジンは、船舶用エンジンのU.S. EPAの2006基準と同等です。

2スター-超低排出

2スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2004年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を20%削減します。

3スター-極超低排出

3スターラベルは、エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2008年排気物質基準または船尾と船内船舶用エンジン2003年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を65%削減します。

4 スター-スーパー極超低排出

4 スターラベルは、エンジンが大気資源委員会の船尾と船内船舶用エンジン2009年排気物質基準を満たしていることを示します。パーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジンもこれらの基準に準拠します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター低排出エンジンより排気物質を90%削減します。

詳細: CLEANER WATERCRAFT - GET THE FACTS (クリーンなウォータークラフト-次で確認してください。)
1 800 END-SMOG
WWW.ARB.CA.GOV

排出ガス制御保証権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会、ニューヨーク州環境保護局、および Bombardier Recreational Products Inc. を代表して BRP US Inc. (以下“BRP”)* は、2009年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御システム保証について説明いたします。カリフォルニア州とニューヨーク州では、新規のパーソナル・ウォータークラフトのエンジンを州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備しなければなりません。BRPは、貴方のパーソナル・ウォータークラフトを酷使、不注意、不適切なメンテナンスがない限り下記の期間パーソナル・ウォータークラフトのエンジンの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、キャブレタまたは噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバータ等の部分が含まれます。またホース、ベルト、コネクタ、その他の排出関連のアクセサリーが含まれます。

保証可能な条件が存在する場合、BRPは、BRP認定ディーラーによってなされる場合に限り、診断、部品代および工賃を含めて、貴方の2009 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトのエンジンを無償で修理します。

製造業者'の限定補償範囲

この排出ガス保証は、カリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図してBRPによって認証そして製造された2009年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトに適用され、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はカリフォルニア州およびニューヨーク州の住民に登録されます。Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフト用のBRP 限定保証条件は、必要な改変を加えたこれらのモデルに適用可能です。

2009 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御パーツに関して、最初に購入した消費者に納入された日から4年間または250使用時間のうちどちらか先に訪れた保証時期を選択してください。しかし、時間に基づく保証適用は適切な時間メーターまたは同等品を装備したパーソナル・ウォータークラフトにのみ可能です。エンジンの排出関連の部品が異常な場合、保証の元にBRPが修理または交換します。

4-TEC®エンジン搭載の2009年モデルSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトで適用される部品:

デジタルリニアアクチュエータ(低アイドル制御)	スーパーチャージャー
スロットルポジションセンサー	すべての燃料システムコンポーネント
吸気マニホールド気温センサー	イグニッションコイル
吸気マニホールド気圧センサー	ピストンとリング
エンジン温度センサー	インテークおよびエキゾーストバルブギア/トレイン
ノッキングセンサー	クランクケースベンチレーションバルブ
排出ガス制御ユニット	配線ハーネスとコネクタ
インジェクター	排出ガス関連シール、ガスケット、ホース
燃圧レギュレータ	エキゾーストマニホールド
吸気マニホールド	バルブ、バルブガイド、バルブガイドシーリング
インタークーラー	

排出ガス保証は、保証部分の異常によって引き起こされる他のエンジンコンポーネントの損傷に適用されます。

BRPオペレーターズガイドは、パーソナル・ウォータークラフトの正しいメンテナンスと使用に関する指示を記載しています。すべての排出ガス保証部品は、『オペレーターズガイド』のメンテナンスで要求されている部品交換を予定していない限りパーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体で保証されます。

メンテナンスを必要とする、交換を予定している排出ガス保証部品は、部品の最初の交換予定日までの期間の間BRPにより保証されます。定期的な交換ではなく、通常点検を予定している排出ガス保証部品は、パーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体でBRPにより保証されます。この保証規定の条項の元で修理または交換された排出ガス保証部品は、本来の部品の保証期間の残りの間BRPにより保証されます。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

メンテナンスの受け入れと記録は、パーソナル・ウォータークラフトの次の各所有者に移転されます。

オーナーの保証責任

パーソナル・ウォータークラフトの所有者として、『オペレーターズガイド』に記載の要求されているメンテナンスを実施する責任があります。パーソナル・ウォータークラフトのエンジンに関係する全受領書を保持することをBRPは推奨しますが、受領書の紛失またはすべての予定メンテナンスの不履行だけを理由にしてBRPは保証適用を拒否できません。

パーソナル・ウォータークラフトの所有者として、BRPが酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変によりパーソナル・ウォータークラフトのエンジンまたは部品に対する保証適用を拒否できることに留意してください。

問題が発生した場合、パーソナル・ウォータークラフトのエンジンをBRP認定ディーラーにできるだけ早く見せます。保証修理は、30日を超えない合理的な長さの期間内に完了します。

保証の権利と責任、または最寄のBRP認定ディーラーの名前と場所に関して質問がある場合、Customer Services Groupまでお問い合わせください(1 715 848-4957)。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2008 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc. および子会社の登録商標および™登録商標です。

BRP 国際限定保証: 2009 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト

1. 適用範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下“BRP”とします)* は、米国50州、カナダおよび欧州経済地域の加盟国(欧州連合にノルウェー、アイスランドとリヒテンシュタインを加えて構成される)以外のBRP認定ディストリビューター/ディーラー(以下に定義します)によって販売されたモデル年 2009 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトについて、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります: (1) Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合; または (2) Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトを、変えられたか、その動作、パフォーマンスまたは耐久性に悪影響を与えるような方法で改変、修正した場合; (3) または、意図された使用を変えるために改変、修正した場合。

この 2009 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトが納入される際に、BRP 認定ディストリビューター/ディーラーによって取り付けられたすべてのBRP 純正部品およびアクセサリは、パーソナル・ウォータークラフト本体と同じ保証を受けるものとします。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されません。明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみ限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

BRPディストリビューター、BRP正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3. 除外規定

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;

- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーターズガイド』を参照);
- 水の吸入による損傷;
- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、プリスター (ふくれ) またはプリスターに起因するファイバークラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび; および
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらのみには限定されないその種の損害。

4. 保証適用期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です:

1. 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する12カ月間。
2. 業務用使用の所有者の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます:

- 2009 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトとは、その販売が行われた国において Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されている BRP ディストリビューター/ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです ("BRP ディストリビューター/ディーラー");
- BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません;
- 2009 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトは BRP 認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません;
- 2009年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトは、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が現れた際はSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの使用をやめなければなりません。お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRP認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいSEA-DOO純正部品と交換することに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトのオーナーへの販売のキャンセルまたは撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

BRPまたはBRP認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。次にディストリビューターがこの情報をBRPに直接転送します。

9. 消費者への支援

1. 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
2. さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターのサービス部門にご相談ください。
3. それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび **CIS** の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP EUROPE N.V.

Customer Assistance Center(消費者支援センター)
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
電話: + 32-9-218-26-00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP FINLAND OY

Service Department
Isoaavantie 7
Fin-96320 Rovaniemi
Finland
電話.: + 358 16 3208 111

上記以外の国の方々は、地元のディストリビューターか、北米オフィスまでご連絡ください:

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Customer Assistance Center(消費者支援センター)
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, QC J1L 1W3
電話: 819 566-3366

* この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスはBombardier Recreational Products Inc.または子会社が行います。

© 2008 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社の登録商標。

欧州経済地域向け BRP 限定保証: 2009 SEA-DOO® パーソナル ウォータークラフト

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下“BRP”とします)* は、欧州経済地域の加盟国 (“EEA”) (欧州連合にノルウェー、アイスランドとリヒテンシュタインを加えて構成される) の BRP 認定 (ディストリビューター/ディーラー) によって販売されたモデル年 2009® Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトについて、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります: (1) Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトを、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合; または (2) Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトを、変えられたか、その動作、パフォーマンスまたは耐久性に悪影響を与えるような方法で改変、修正した場合; (3) または、意図された使用を変えるために改変、修正した場合。

2009 年モデル Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトが納入される際に、BRP 認定ディストリビューター/ディーラーによって取り付けられたすべての Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフト純正部品およびアクセサリーは、パーソナル・ウォータークラフト本体と同じ保証を受けるものとします。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP ディストリビューター/ディーラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行う BRP 認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 誤用、乱用、過失、または 『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;

- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷；
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）；
- 水の吸入による損傷；
- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、プリスター（ふくれ）またはプリスターに起因するファイバークラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび；および
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらのみには限定されないその種の損害。

4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

1. 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する24カ月間。
2. 業務用使用の所有者の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、ユーザーの国で適用される関連する法令に従います。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます：

- 2009年モデルSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトとは、その販売が行われた国においてSea-Dooパーソナル・ウォータークラフト製品の販売を許可されているBRPディストリビューター/ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです；
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません；
- 製品は、認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません；
- 2009 Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトはEEA域内でEEA居住者によって購入されなければなりません。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が現れた際はSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの使用をやめなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はユーザーの国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRP認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいSEA-DOO純正部品と交換することに限定されます。保証の不履行に対する請求は、Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフトのオーナーへの販売のキャンセルまたは撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRPまたはBRP認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9. 消費者への支援

1. 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
2. さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターやサービス部門にご相談ください。
3. それでも問題が解決しない場合、下記の住所のBRPに連絡をとってください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよびCISの方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP EUROPE N.V.

Customer Assistance Center(消費者支援センター)
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
電話: + 32-9-218-26-00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP FINLAND OY

Service Department
Isoaavantie 7
Fin-96320 Rovaniemi
Finland
電話: + 358 16 3208 111

上記以外の国の方々は、地元のディストリビューターか、北米オフィスまでご連絡ください:

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Customer Assistance Center(消費者支援センター)
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, QC J1L 1W3
電話: 819 566-3366

ディストリビューターの連絡先はwww.brp.comでご覧になれます。

* この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスはBombardier Recreational Products Inc.または子会社が行います。

© 2008 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® は Bombardier Recreational Products Inc. および子会社の登録商標および™登録商標です。

顧客情報

プライバシー保護に関する情報/放棄

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証のために使わせていただきます。お客様のご連絡先情報を利用して、当社製品のご案内やご提供情報を送らせていただくことがあります。このような当社製品、サービス、ご提供に関する情報を希望されない場合は、下記まで書面にてお知らせください。

また、厳選された信頼できる企業に対して、品質の高い製品とサービスの販売促進に役立てるため、お客様のご連絡先情報の利用を許可することがあります。あなたのお名前やご住所の開示を拒否される場合は、下記まで書面にてお知らせください。

カナダ:

Bombardier Recreational Products Inc.
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax 番号 :819 566-3590
Warranty Department (保証部門)

米国:

BRP US Inc.
Warranty Department (保証部門)
7575 Bombardier Court
Wausau WI 54401
電話 : 715 848-4957

スκανジナビア諸国:

BRP Finland OY
Service Department (サービス部門)
Isoaavantie 7
Fin-96320 Rovaniemi
Finland
電話 : + 358 16 3208 111

他の国々:

BRP European Distribution
Warranty Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne Switzerland
Fax 番号 : + 41213187801

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合またはボートの新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 以下の宛先にカードを郵送する;
- 北米のみ: 715 848-4957 (米国) または 819 566-3366 (カナダ)へ電話;
- BRP認定ディストリビューター/ディーラーに問い合わせる。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じてボートの所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: あなたのスポーツボートが盗まれた場合は、お住まいの地域を管轄するディストリビューターの保証部門までご連絡ください。お客様のお名前、ご住所、電話番号、船体識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

北米

Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department (保証部門)
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Canada

スカンジナビア諸国

BRP Finland OY
Service Department (サービス部門)
Isoaavantie 7
Fin-96320 Rovaniemi
Finland

他の国々

BRP European Distribution
Warranty Department (保証部門)
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne
Switzerland

住所変更 所有権の移転

スポーツボート識別番号

モデル番号

車両登録番号(V.I.N.)

旧住所：

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

国

電話

新住所：

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

国

電話

V00A2F

住所変更 所有権の移転

スポーツボート識別番号

モデル番号

車両登録番号(V.I.N.)

旧住所：

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

国

電話

新住所：

名前

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

国

電話

V00A2F

ウォータークラフト モデル No. _____

船体識別番号 (H.I.N.) _____

エンジン識別番号 (E.I.N.) _____

所有者: _____

名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 県 _____ ZIP/郵便番号 _____

購入日 _____ | _____ | _____ | _____

年 月 日

保証有効期限 _____ | _____ | _____ | _____

年 月 日

販売日に Sea-Doo 認定ディーラーが記入します。

ディーラー印欄



オペレーターズガイド
RXT iS 255, GTX Limited iS 255
2009
219 701 451

® ™ は BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. または子会社の商標です。
† CASTROL LIMITED の商標です。許諾のもとに使用されています。

© 2009 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. 全権保留。印刷国カナダ。